

FUJIFILM

DIGITAL FILMMAKING CAMERA

GFX ETERNA 55

FF250002

使用説明書

はじめに

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。ご使用の前に、この使用説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。お読みになったあとは、いつでも見られるよう に大切に保管してください。

最新情報について

本製品の最新の使用説明書はこちらをご覧ください。

<https://fujifilm-dsc.com/ja/manual/>



上記ウェブサイトでは、最新情報の使用説明書が用意されており、カラーの作例などもご用意しています。また、スマートフォンやタブレットからのアクセスも可能となっていますので、是非アクセスしてみてください。ソフトウェアのライセンスに関する情報も記載しています。



本製品のファームウエア更新情報はこちらをご覧ください。

<https://fujifilm-x.com/ja-jp/support/download/firmware/cameras/>



章目次

メニュー一覧

iv

1 このカメラの概要	1
2 撮影の準備	31
3 基本的な撮影と再生	61
4 撮影に関する設定	69
5 再生と再生メニュー	89
6 ネットワーク接続	97
7 メニューの詳細	117
8 ショートカット機能	179
9 オプション品・外部機器	189
10 資料	203

メニュー一覧

このカメラで使用できるメニューの一覧です。

HOME

HOME 画面でスクリーンボタンに割り当てられるメニューです。

HOME	
撮影フレームレート	70
ISO 感度	71
シャッター	72
ND フィルター	73
LOOK	74
ホワイトバランス	76

USER

USER 画面でスクリーンボタンに割り当てられるメニューです。

USER	
User1	
User2	
User3	
User4	187
User5	
User6	

PLAY

PLAY 画面で設定(スクリーンボタン 5)を押すと表示されるメニューです。

PLAY	
SDI/HDMI 出力設定	95
再生音量	96
4ch 音声再生	96
再生時デスクイーズ表示	96

MENU

MENU ボタンを押すと表示されるメニューです。

プロジェクト		フォーカス																																																																			
動画フォーマット	118	AF モード	134																																																																		
解像度	119	フォーカスエリア選択	134																																																																		
プロジェクト FPS	119	フォーカスポイント循環	134																																																																		
F-Log/HLG/RAW	120	AF-C カスタム設定	135																																																																		
フィルムシミュレーション	122	被写体検出 AF 設定	136																																																																		
LUT 選択	124	AF + MF	138																																																																		
メディア記録設定	124	ワンプッシュ時の AF 動作	138																																																																		
クリップ名設定	126	フォーカスリミッター	138																																																																		
レコーディング		フォーカスチェック	140																																																																		
絞り	127	フォーカスチェックロック	140																																																																		
シネマレンズ使用時の絞り 単位	127	タッチパネルモード	141																																																																		
露出補正	127	オーディオ																																																																			
測光	127	セルフタイマー	128	内蔵マイク設定	142	ブレ防止設定	128	外部マイク設定	142	周辺光量補正	129	マイク端子設定	143	マウントアダプター設定	129	マイクレベルリミッター	143	GENLOCK	130	風音低減	143	画質		トーンカーブ	131	ローカットフィルター	144	カラー	131	シャープネス	131	ヘッドホン音量	144	ノイズリダクション	132	フレーム間 ノイズリダクション	132	XLR マイクアダプター設定	144	モノクローム カラー	133	タイムコード		F-Log2/CD レンジ優先	133	開始時間設定	146					カウントアップ設定	146			ドロップフレーム	146			SDI/HDMI タイムコード出力	146			タイムコード端子設定	147			タイムコード同期設定	147
セルフタイマー	128	内蔵マイク設定	142																																																																		
ブレ防止設定	128	外部マイク設定	142																																																																		
周辺光量補正	129	マイク端子設定	143																																																																		
マウントアダプター設定	129	マイクレベルリミッター	143																																																																		
GENLOCK	130	風音低減	143																																																																		
画質		トーンカーブ	131	ローカットフィルター	144	カラー	131	シャープネス	131	ヘッドホン音量	144	ノイズリダクション	132	フレーム間 ノイズリダクション	132	XLR マイクアダプター設定	144	モノクローム カラー	133	タイムコード		F-Log2/CD レンジ優先	133	開始時間設定	146					カウントアップ設定	146			ドロップフレーム	146			SDI/HDMI タイムコード出力	146			タイムコード端子設定	147			タイムコード同期設定	147																						
トーンカーブ	131	ローカットフィルター	144																																																																		
カラー	131	シャープネス	131	ヘッドホン音量	144	ノイズリダクション	132	フレーム間 ノイズリダクション	132	XLR マイクアダプター設定	144	モノクローム カラー	133	タイムコード		F-Log2/CD レンジ優先	133	開始時間設定	146					カウントアップ設定	146			ドロップフレーム	146			SDI/HDMI タイムコード出力	146			タイムコード端子設定	147			タイムコード同期設定	147																												
シャープネス	131	ヘッドホン音量	144																																																																		
ノイズリダクション	132	フレーム間 ノイズリダクション	132	XLR マイクアダプター設定	144	モノクローム カラー	133	タイムコード		F-Log2/CD レンジ優先	133	開始時間設定	146					カウントアップ設定	146			ドロップフレーム	146			SDI/HDMI タイムコード出力	146			タイムコード端子設定	147			タイムコード同期設定	147																																		
フレーム間 ノイズリダクション	132	XLR マイクアダプター設定	144																																																																		
モノクローム カラー	133	タイムコード																																																																			
F-Log2/CD レンジ優先	133	開始時間設定	146					カウントアップ設定	146			ドロップフレーム	146			SDI/HDMI タイムコード出力	146			タイムコード端子設定	147			タイムコード同期設定	147																																												
開始時間設定	146																																																																				
		カウントアップ設定	146																																																																		
		ドロップフレーム	146																																																																		
		SDI/HDMI タイムコード出力	146																																																																		
		タイムコード端子設定	147																																																																		
		タイムコード同期設定	147																																																																		

モニター		
SDI/HDMI 出力設定	148	
ウェーブフォーム / ベクトルスコープ	151	
フォーカスピーキング	152	
ゼブラ設定	153	
フレーミングガイド	153	
電子水準器設定	157	
REC 枠表示	157	
画面のカスタマイズ	158	
距離指標の単位	159	
LCD モニター表示反転設定	159	
ユーザー ボタン		
ファンクション (Fn) 設定	160	
レンズズーム / フォーカス設定	160	
フォーカスレバー設定	162	
タッチパネル設定	162	
ネットワーク		
無線 LAN 設定	164	
有線 LAN 設定	164	
Frame.io Camera to Cloud	165	
リモート録画機能	168	
Bluetooth 設定	169	
エラー情報	170	
ハードウェア情報	170	
ネットワーク設定初期化	170	
セットアップ		
言語/LANG.	171	
日時設定	171	
ネットワーク設定以外を初期化	172	
フォーマット	172	
メンテナンス	173	
冷却ファン設定	174	
電力設定	175	
LED・音設定	176	
LCD 設定	177	
ファームウェアアップデート	178	
認証	178	



目次

はじめに	ii
最新情報について	ii
メニュー一覧	iv
HOME	iv
USER	iv
PLAY	iv
MENU	v
付属品一覧	xvi
本書について	xvii
本書で使われている記号について	xvii
画面のイラストや写真について	xvii
表記について	xvii

1 このカメラの概要

1

各部名称と機能	2
カメラ本体	2
LCD モニター	6
ハンドル	7
側面モニターについて	8
REC ボタン	13
GRAB ボタン	13
フォーカスマード切換レバー	13
マルチファンクションダイヤル	14
ロックスイッチ	15
インジケーターランプ	16
アクセサリー取り付けネジ穴 / 三脚プレート取り付け穴	17
LCD ケーブル接続端子カバー（着脱可）	19
メジャーフック	20
吸気口 / 排気口	20
Wi-Fi アンテナ（内部）	21
ハンドルについて	21
LCD モニターについて	23
銘板プレート	25

撮影時の表示画面	26
LCD モニターの表示画面	26
側面モニターの表示画面	28

2 撮影の準備

31

同梱バッテリーを充電する	32
同梱バッテリーを充電する	32
AC パワーアダプターを使用する	37
メモリーカードを入れる	39
2 枚のメモリーカードを使用する場合	41
使用可能なメモリーカード	42
メモリーカードの代わりに外付け SSD を使用する	44
レンズを取り付ける	45
G マウント対応レンズ	45
PL マウント対応レンズ	47
ハンドルを取り付ける	52
LCD モニターを取り付ける	54
電源をオンにする / オフにする	56
同梱バッテリー残量の表示	57
初期設定を行う	58
言語を変更する	60
日時を変更する	60

3 基本的な撮影と再生

61

動画を撮影する	62
動画を再生する	64
静止画を保存する	66
保存した静止画を再生する	67

4 撮影に関する設定**69**

撮影フレームレート	70
ISO 感度	71
シャッター	72
ND フィルター	73
ND フィルターの使い方	73
LOOK	74
LUT の選択	74
映像への反映	75
ホワイトバランス	76
オートホワイトバランス	76
カスタムホワイトバランス	77
プリセットホワイトバランス	78
オートフォーカス撮影	80
AF モード	80
フォーカスエリア選択	81
マニュアルフォーカス撮影	82
フォーカスリング	82
マルチファンクションダイヤル / ファンクションボタン	82
アイリス	83
絞りリング	83
レコーディング設定	83
マルチファンクションダイヤル	83
ファンクションボタン	83
ズーム	84
ズームリング	84
電動ズーム	84
測光モード	85
タッチ操作	86
LCD モニターのタッチ操作	86
フォーカスエリアの選択	87
拡大表示	87

5 再生と再生メニュー

89

再生時の表示画面	90
側面モニター	90
LCD モニター	92
再生メニュー	95
SDI/HDMI 設定	95
再生音量	96
4ch 音声再生	96
再生時デスクイーズ表示	96

6 ネットワーク接続

97

ネットワーク /USB 機能の概要	98
このカメラでできること	98
ネットワークに接続する	99
無線 LAN で接続	99
有線 LAN で接続	102
Frame.io にファイル転送する	103
Frame.io に接続する	103
Frame.io へファイルを転送する	104
ブラウザーからリモートで動画を撮影する	105
カメラの設定をする	106
パーソナルコンピューターやタブレットからカメラに接続する	107
リモート録画機能の表示画面	110
リモート録画機能で録画する	114
撮影した動画を確認する	114
カメラの設定の保存や読み込みをする	115

7 メニューの詳細

117

プロジェクト	118
動画フォーマット	118
解像度	119
プロジェクト FPS	119
F-Log/HLG/Raw	120
フィルムシミュレーション	122

LUT 選択.....	124
メディア記録設定.....	124
クリップ名設定.....	126
レコーディング	127
絞り	127
シネマレンズ使用時の絞り単位.....	127
露出補正	127
測光.....	127
セルフタイマー.....	128
ブレ防止設定.....	128
周辺光量補正	129
マウントアダプター設定	129
GENLOCK.....	130
画質	131
トーンカーブ	131
カラー	131
シャープネス	131
ノイズリダクション	132
フレーム間ノイズリダクション	132
モノクローム カラー.....	133
F-Log2/C D レンジ優先.....	133
フォーカス	134
AF モード.....	134
フォーカスエリア選択.....	134
フォーカスポイント循環	134
AF-C カスタム設定.....	135
被写体検出 AF 設定	136
AF + MF.....	138
ワンプッシュ時の AF 動作.....	138
フォーカスリミッター	138
フォーカスチェック	140
フォーカスチェックロック	140
タッチパネルモード	141

オーディオ	142
内蔵マイク設定	142
外部マイク設定	142
マイク端子設定	143
マイクレベルリミッター	143
風音低減	143
ローカットフィルター	144
ヘッドホン音量	144
XLR マイクアダプター設定	144
タイムコード	146
開始時間設定	146
カウントアップ設定	146
ドロップフレーム	146
SDI/HDMI タイムコード出力	146
タイムコード端子設定	147
タイムコード同期設定	147
モニター	148
SDI/HDMI 出力設定	148
ウェーブフォーム / ベクトルスコープ	151
フォーカスピーキング	152
ゼブラ設定	153
フレーミングガイド	153
電子水準器設定	157
REC 枠表示	157
画面のカスタマイズ	158
距離指標の単位	159
LCD モニター表示反転設定	159
ユーザーボタン	160
ファンクション (Fn) 設定	160
レンズズーム / フォーカス設定	160
フォーカスレバー設定	162
タッチパネル設定	162

ネットワーク	164
無線 LAN 設定	164
有線 LAN 設定	164
Frame.io Camera to Cloud	165
リモート録画機能	168
Bluetooth 設定	169
エラー情報	170
ハードウェア情報	170
ネットワーク設定初期化	170
セットアップ	171
<i>■ 言語/LANG.</i>	171
日時設定	171
ネットワーク設定以外を初期化	172
フォーマット	172
メンテナンス	173
冷却ファン設定	174
電力設定	175
LED・音設定	176
LCD 設定	177
ファームウェアアップデート	178
認証	178

8 ショートカット機能 179

ショートカット機能について	180
ファンクション機能	181
ファンクションボタン	181
USER 機能	187
スクリーンボタンの割り当て変更	188

交換レンズ	190
レンズの各部名称	190
PL マウントアダプター	192
PL マウントアダプターのシム交換	192
PL マウントレンズの最大寸法	195
外部機器との接続	196
レンズ接続用 12 ピン端子	196
SDI OUT 端子 (BNC 型)	196
HDMI OUT 端子 (Type A)	196
TC IN/TC OUT 端子 (BNC 型)	196
LAN 端子	197
Genlock 端子 (BNC 型)	197
DC OUT 12V 端子	197
V マウントバッテリー	198
使用できる V マウントバッテリー	198
V マウントバッテリーを取り付ける	199
サポートロッドへの取り付け方	200

10 資料

203

カメラで使えるアクセサリー	204
カメラで使えるソフトウェア・サービス	206
Frame.io Camera to Cloud	206
お取り扱いにご注意ください	207
お手入れについて	222
ファームウェアの更新	223
ファームウェアのダウンロード	223
ファームウェアの更新方法	223
トラブルシューティング /FAQ	225
電源とバッテリー	225
撮影時	226
再生時	227
無線通信	227
その他	228
警告表示	229
エラー表示	232
標準撮影時間	234
主な仕様	235
外形寸法	242
索引	251
ソフトウェアのお問い合わせ	254
アフターサービスについて	255

付属品一覧

ご使用の前に箱の中の付属品がすべてそろっているかを確認してください。

- 充電式バッテリー NP-W235 (1 個)

! 安全上の理由から、ご購入時にはバッテリーは充電されていません。充電しないとカメラは作動しませんので、必ずカメラをお使いになる前にバッテリーを充電してください (☞ 32)。

- AC パワーアダプター AC-15VS (1 個)
- AC ケーブル (1 本)
- ボディキャップ (1 個) (本体に装着)
- ハンドル (1 個)
- ホットシューカバー (1 個) (端子保護用、ハンドルに装着)
- LCD モニター (1 個)
- LCD モニターフード (1 個)
- LCD アタッチメント (1 個)
- LCD ケーブル接続端子蓋 (3 個) (端子保護用、本体に装着、予備 2 個)
- PL マウントアダプター (1 個)
- PL マウントキャップ (1 個) (PL マウントアダプターに装着)
- レンズリアキャップ (1 個) (PL マウントアダプターに装着)
- PL マウントアダプターカバー (1 個)
- シム (一式)
- 六角レンチ (一式)
- 使用説明書 (本書)
- 保証書 (1 部)

 このカメラで使用できるソフトウェアについては、☞ 206 をご覧ください。

本書について

この説明書には、富士フイルムデジタルフィルムメイキングカメラ GFX ETERNA 55 の使い方がまとめられています。内容をご理解の上、正しくご使用ください。

本書で使われている記号について

-  カメラを使用するときに、故障などを防ぐために注意していただきたいことを記載しています。
-  カメラを使用するにあたって知っておくと便利なこと、参考になることを記載しています。
-  参照ページを記載しています。

画面のイラストや写真について

- 本書では、画面の表示を簡略化して記載しています。
- 本書に掲載している写真は、機能を説明するためのもので、実際の機種で撮影したものとは限りません。

表記について

- このカメラでは、市販の SD メモリーカード、SDHC メモリーカード、SDXC メモリーカード、CFexpress Type B カードをお使いになれます。本書では、これらのカードを総称して「**メモリーカード**」と表記します。
- メニューなどのカメラの表示は**太字**で表記しています。
- 本書では、スマートフォンとタブレットを併せて「**スマートフォン**」と表記する場合があります。

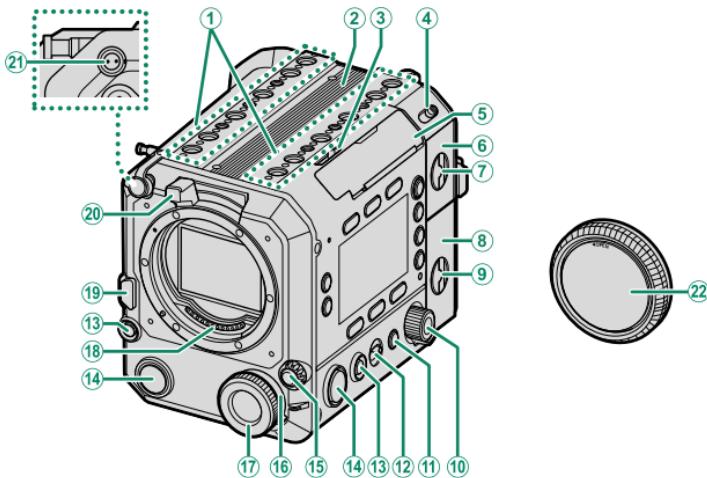
MEMO

このカメラの概要

各部名称と機能

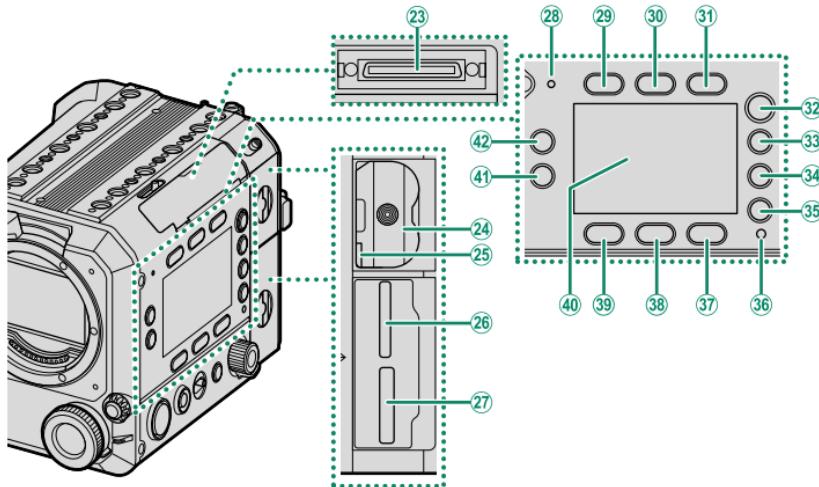
カメラ本体

天面 / 正面 / インサイド



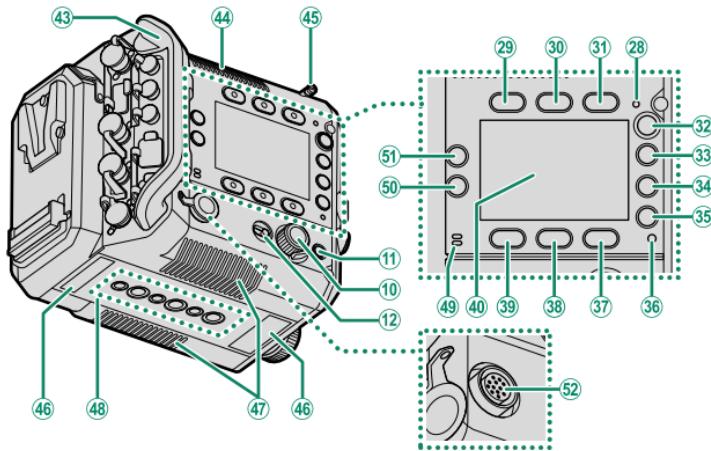
① アクセサリー取り付けネジ穴	11
.....	17, 54
② ハンドル取り付け部	52
③ LCD ケーブル取り外しレバー	55
④ 電源スイッチ	56
⑤ LCD ケーブル接続端子カバー (着脱可)	19, 54
⑥ バッテリーカバー	32
⑦ バッテリーカバーロック	32
⑧ メモリーカードスロットカバー	39
⑨ メモリーカードスロットカバー ロック	39
⑩ セレクターダイヤル	11
⑪ BACK ボタン	11
⑫ ロックスイッチ	15
⑬ GRAB ボタン	13
⑭ REC ボタン	13
⑮ フォーカスマード切換レバー	13
⑯ マルチファンクション切替ダイヤル	14
⑰ マルチファンクションダイヤル	14
⑱ レンズ信号接点	
⑲ レンズ取り外しボタン	46
⑳ レンズロックレバー	45, 47
㉑ DC OUT 12V 端子	197
㉒ ボディキャップ	

天面 / 正面 / インサイド 続き



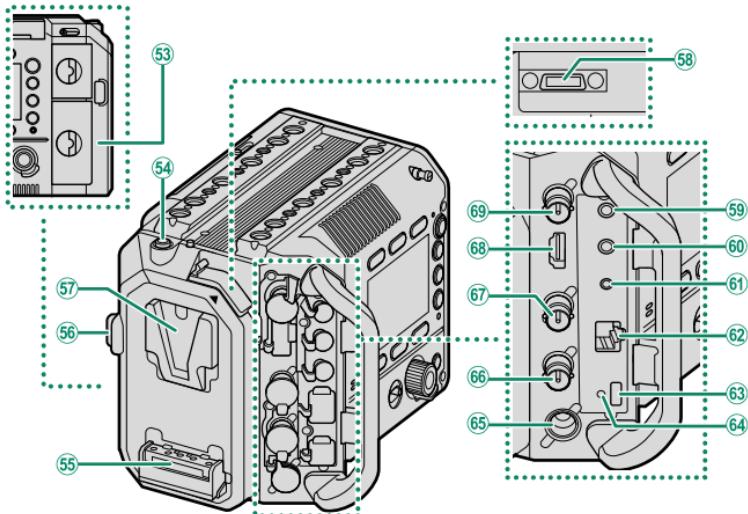
②③ LCD ケーブル接続端子	54	③② HOME ボタン	9
②④ バッテリー挿入部	32	③③ USER ボタン	9
②⑤ バッテリー取り外しつまみ	35	③④ PLAY ボタン	9
②⑥ メモリーカードスロット 2 (SD メモリーカード用)	39	③⑤ MENU ボタン	9
②⑦ メモリーカードスロット 1 (CFexpress Type B カード用)	39	③⑥ インジケーター・ランプ	16, 176
②⑧ マイク	62	③⑦ スクリーンボタン 6	10, 76
②⑨ スクリーンボタン 1	10, 70	③⑧ スクリーンボタン 5	10, 74
②⑩ スクリーンボタン 2	10, 71	③⑨ スクリーンボタン 4	10, 73
②⑪ スクリーンボタン 3	10, 72	③⑩ 側面モニター	8
		③⑪ Fn2 ボタン	181
		③⑫ Fn1 ボタン	181

アウトサイド / 底面



- | | | |
|--------------------|-------------------|-------|
| ④₃ ケーブルプロテクター（着脱可） | ④₈ 三脚プレート取り付け穴 | 17 |
| ④₄ 排気口 | ④₉ スピーカー | 64、96 |
| ④₅ メジャーフック | ⑤₀ Fn4 ボタン | 181 |
| ④₆ 銘板プレート | ⑤₁ Fn3 ボタン | 181 |
| ④₇ 吸気口 | ⑤₂ レンズ接続用 12 ピン端子 | 196 |

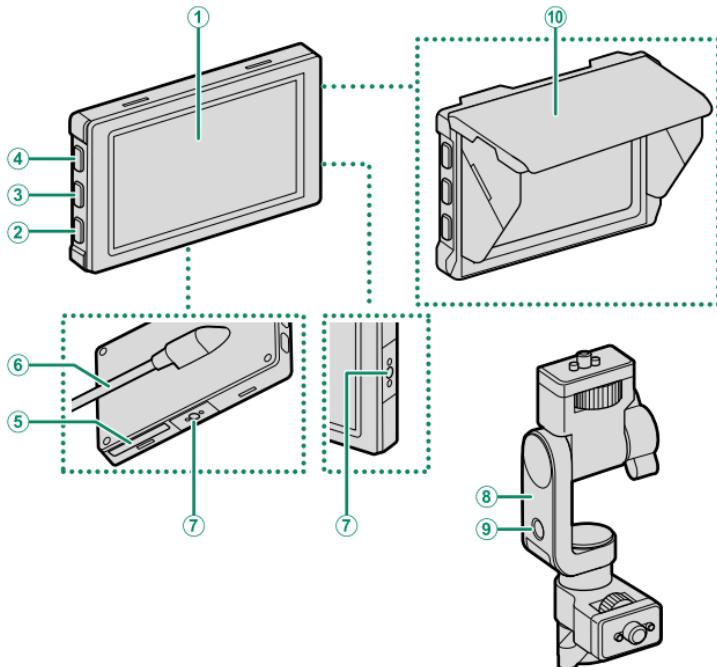
背面



- | | | | |
|---------------------------------|-----|----------------------------------|---------|
| ⑤₃ Wi-Fi アンテナ (内部) | 21 | ⑥₁ リモートリリーズ端子 (Φ 2.5mm) | |
| ⑤₄ ハンドルリリースボタン | 53 | ⑥₂ LAN 端子 | 102 |
| ⑤₅ V マウントバッテリー取り付け端子 | 198 | ⑥₃ USB 端子 (Type-C) | |
| ⑤₆ V マウントバッテリー取り外し
ボタン | 198 | ⑥₄ USB ケーブル固定ネジ穴 | |
| ⑤₇ V マウントバッテリー取り付け部 | 198 | ⑥₅ DC IN 端子 | 37 |
| ⑤₈ ハンドル接続端子 | 52 | ⑥₆ Genlock 端子 (BNC 型) | |
| ⑤₉ マイク端子 (Φ 3.5mm) | 63 | ⑥₇ TC IN/TC OUT 端子 (BNC 型) | 147、196 |
| ⑥₀ ヘッドホン端子 (Φ 3.5mm) | | ⑥₈ HDMI OUT 端子 (Type A) | 196 |
| | | ⑥₉ SDI OUT 端子 (BNC 型) | 196 |

LCD モニター

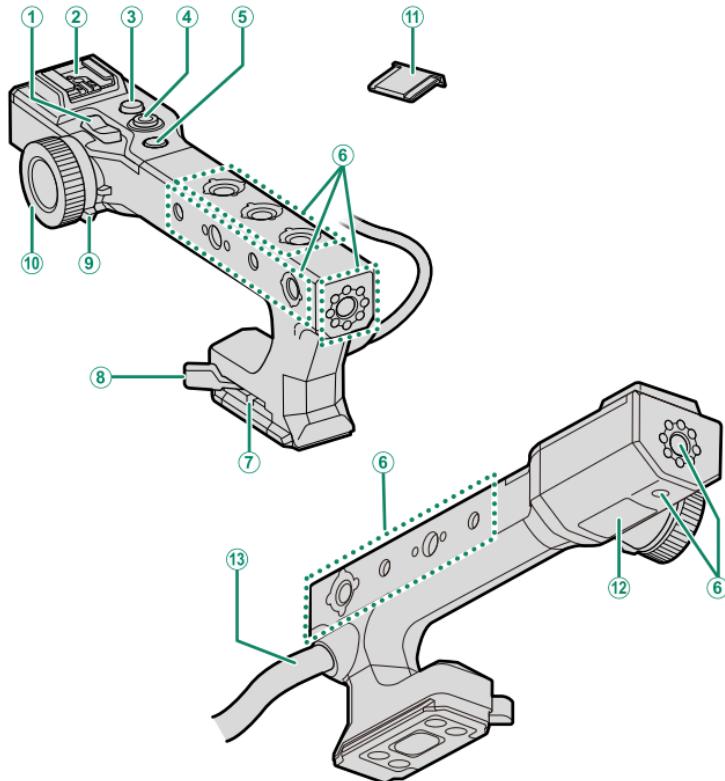
LCD モニターと LCD アタッチメントの取り付け方やカメラ本体への取り付け方は [図 54](#) をご覧ください。



① LCD モニター	26, 92	⑦ アクセサリー取り付けネジ穴	24
タッチパネル	23, 86		
② DISP (表示) ボタン	23	⑧ LCD アタッチメント	
③ Fn7 ボタン	181	⑨ アクセサリー取り付けネジ穴	
④ Fn6 ボタン	181		24
⑤ 銘板プレート	25	⑩ LCD モニターフード	
⑥ LCD ケーブル	54		

ハンドル

■ カメラ本体への取り付け方は [52](#) をご覧ください。

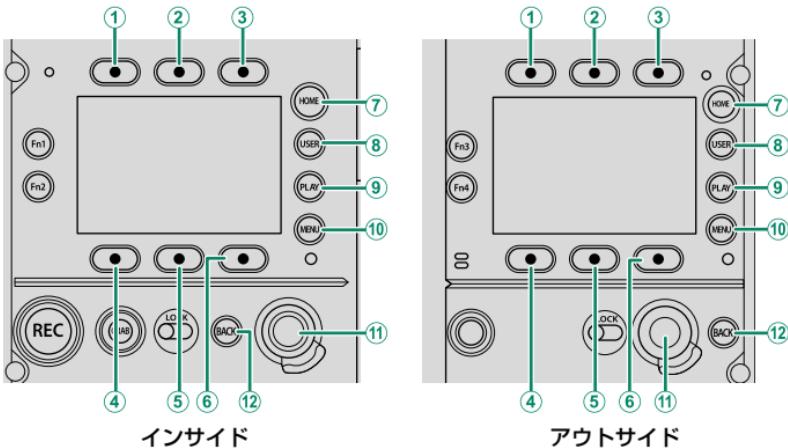


- | | | | |
|------------------|--------|--------------------|----|
| ① ズームレバー | 22, 84 | ⑧ 取り付けロックレバー | 52 |
| ② ホットシュー | | ⑨ マルチファンクション切替ダイヤル | 14 |
| ③ REC ボタン | 13 | ⑩ マルチファンクションダイヤル | 14 |
| ④ フォーカスレバー | 21, 80 | ⑪ ホットシューカバー | |
| ⑤ Fn5 ボタン | 181 | ⑫ 銘板プレート | 25 |
| ⑥ アクセサリー取り付けネジ穴 | 22, 54 | ⑬ ハンドルケーブル | 52 |
| ⑦ 取り付けロックレバー調整ネジ | 52 | | |

側面モニターについて

側面モニターで撮影の設定を確認したり、再生するファイルを選んだりすることができます。画面表示の切り替えや設定の変更、メニュー画面の操作は、モニターの周囲にあるボタンやダイヤルで行います。

- 側面モニターはカメラ本体のインサイドとアウトサイドの両方にあります。左右の側面モニターやボタン、ダイヤルはそれぞれ同じものです。どちらか片方のボタンやダイヤルを操作すると、両方のモニターの表示が変更されます。
- セットアップの **LCD 設定** > **側面モニター明るさ**で側面モニターの明るさを調整できます。



- | | |
|--------------|-------------|
| ① スクリーンボタン 1 | ⑦ HOME ボタン |
| ② スクリーンボタン 2 | ⑧ USER ボタン |
| ③ スクリーンボタン 3 | ⑨ PLAY ボタン |
| ④ スクリーンボタン 4 | ⑩ MENU ボタン |
| ⑤ スクリーンボタン 5 | ⑪ セレクターダイヤル |
| ⑥ スクリーンボタン 6 | ⑫ BACK ボタン |

HOME ボタン

HOME ボタンを押すと、側面モニターに撮影の主な設定が表示されます（図 70）。



USER ボタン

USER ボタンを押すと、側面モニターにあらかじめ割り当てた機能が表示されます（図 187）。



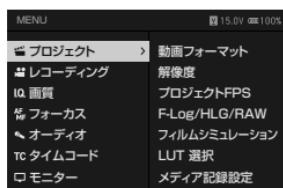
PLAY ボタン

PLAY ボタンを押すと、側面モニターに再生の設定画面が表示されます。LCD モニターに再生表示するファイルを選んだり、再生の設定をしたりできます（図 90）。



MENU ボタン

MENU ボタンを押すと、側面モニターにメニュー画面が表示されます。撮影の設定やカメラの設定ができます（図 118）。



スクリーンボタン

スクリーンボタン（1～6）を押すと、ボタンの上下に表示されている機能を使用したり、割り当てられた設定を変更したりできます。

スクリーンボタン1　スクリーンボタン2　スクリーンボタン3



スクリーンボタン4

スクリーンボタン5

スクリーンボタン6

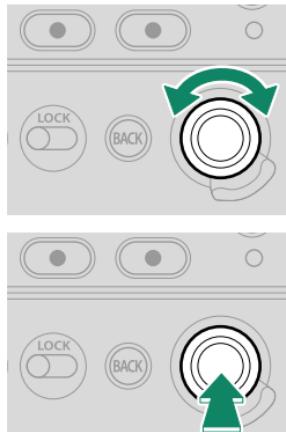
セレクターダイヤル

セレクターダイヤルでメニュー画面や再生の設定画面の操作ができます。

- 左右に回すとカーソルを移動できます。

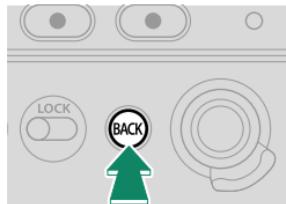


- 中央を押すと項目を選択できます。



BACK ボタン

再生の設定画面やメニュー画面で **BACK** ボタンを押すと、設定をキャンセルして前の画面に戻ります。



側面モニターのタッチ操作

パスワードなど文字を入力するときは、側面モニターにキーボード画面が表示されます。画面をタッチしたり、スクリーンボタンを押したりして、文字の入力操作ができます。



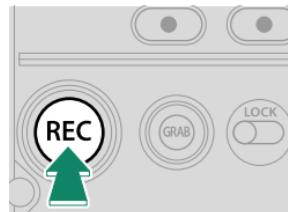
スクリーンボタンの機能は次のとおりです。

ボタン	機能
← 左に移動 (スクリーンボタン 1)	カーソルを左に 1 文字分移動します。
→ 右に移動 (スクリーンボタン 2)	カーソルを右に 1 文字分移動します。
✖ 削除 (スクリーンボタン 3)	カーソルの手前にある文字を 1 文字削除します。
キャンセル (スクリーンボタン 4)	内容を保存せずに文字の入力を終了します。
A / a / @ 文字種の切り替え (スクリーンボタン 5)	押すごとに入力する文字の種類を大文字と小文字、記号で切り替えます。
完了 (スクリーンボタン 6)	内容を保存して文字の入力を終了します。

 画面のキーの配列や種類は入力する項目によって異なります。

REC ボタン

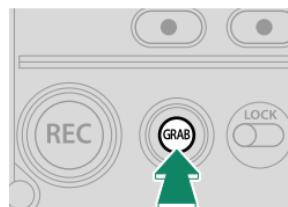
REC ボタンを押すと赤く点灯して動画の撮影を開始します。もう一度押すと消灯して撮影を終了します。



 再生時はボタンを押しても撮影を開始しません。

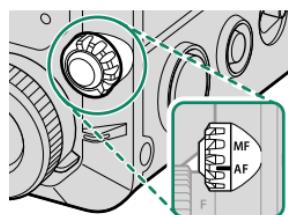
GRAB ボタン

GRAB ボタンを押すと動画から静止画を切り出せます (図 66)。



フォーカスモード切換レバー

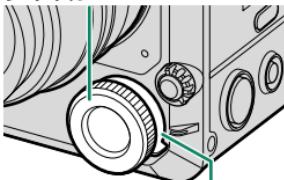
フォーカスモード切換レバーでフォーカスモードを切り替えることができます (図 80)。



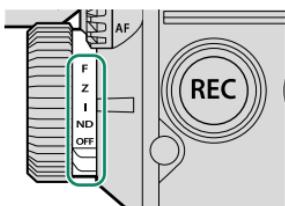
マルチファンクションダイヤル

マルチファンクションダイヤルを回すと、マルチファンクション切替ダイヤルで選んだ機能の設定を変更できます。

マルチファンクション
ダイヤル



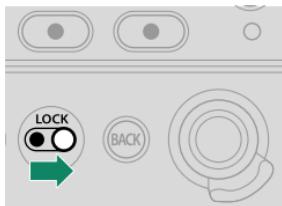
マルチファンクションダイヤルで変更できる機能は次のとおりです。



マルチファンクション 切替ダイヤル	説明	82
F (フォーカス)	マニュアルフォーカスのときにピントを調整できます。	82
Z (ズーム)	電動ズームに対応したレンズを使用しているときはズーム操作ができます。	84
I (アイリス)	レコーディング > 絞りが AUTO 以外に設定されていて、絞りリングなしレンズを使用しているときや、レンズの絞りリングが C の位置のときにアイリスを調整できます。	83
ND (ND フィルター)	ND フィルターが ON のときに、ND フィルターの濃度を調整できます。	73
OFF	マルチファンクションダイヤルの操作が無効になります。	—

ロックスイッチ

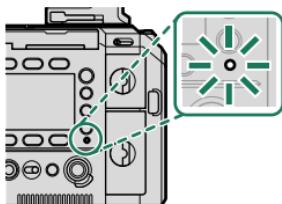
ロックスイッチでボタンやダイヤルをロックできます。



- インサイドのロックスイッチではインサイドのボタンやダイヤル、フォーカスマード切換レバー、マルチファンクションダイヤルをロックできます。
- アウトサイドのロックスイッチではアウトサイドのボタンやダイヤル、正面の **REC** ボタンと **GRAB** ボタンをロックできます。

インジケーターランプ

インジケーターランプの色や点滅 / 点滅で、カメラの状態がわかります。



インジケーターランプ	カメラの状態
緑と橙色の交互点滅	カメラの電源がオフのときに、転送予約したファイルをネットワークで転送しています。
橙色点灯	メモリーカードにファイルを記録しています（続けて撮影できません）。
赤色点滅	ファイル記録異常、またはレンズ異常です。

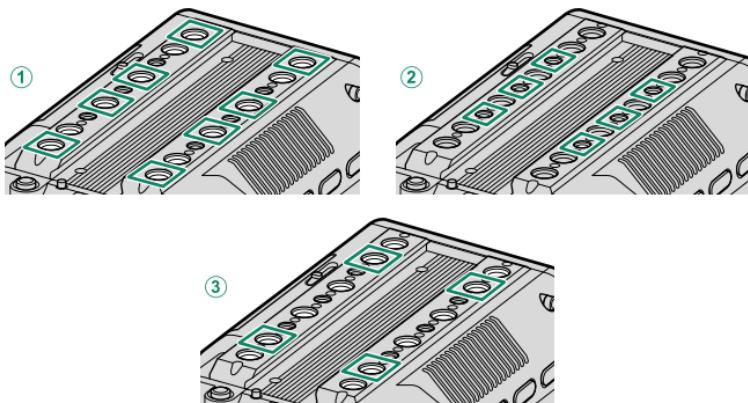


- 画面にも、警告表示が表示されます。
- パーソナルコンピューターや Frame.io などとの接続状態も確認できます（図 98）。
- AF-ON** を割り当てたファンクションボタンを押しているときは、緑色に点灯または点滅します。

アクセサリー取り付けネジ穴 / 三脚プレート取り付け穴

アクセサリー取り付けネジ穴（カメラ本体）

カメラ天面のアクセサリー取り付けネジ穴には同梱のLCDアタッチメントや市販のアクセサリーを取り付けることができます（図54）。寸法は次のとおりです。

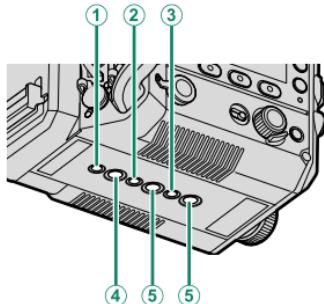


- ① アクセサリー取り付けネジ穴
ネジ種：3/8-16UNC(x8)
ネジ穴深さ：6mm
- ② アクセサリー取り付けネジ穴
ネジ種：1/4-20UNC(x6)
ネジ穴深さ：6mm

- ③ アクセサリー取り付けネジ穴
ネジ種：3/8-16UNC(x4)
ネジ穴深さ：10.5 mm

三脚プレート取り付け穴

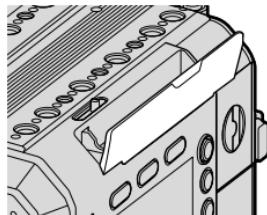
カメラ底面の三脚プレート取り付け穴には市販の三脚プレートやブリッジプレートを取り付けることができます。寸法は次のとおりです。



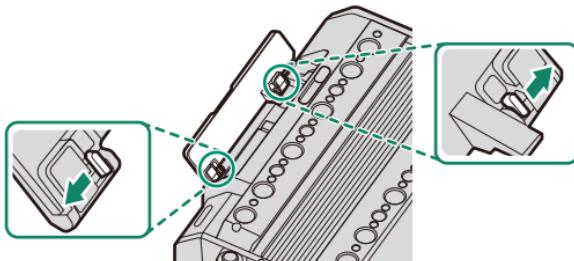
- ① 三脚プレート取り付け穴
ネジ種：1/4-20UNC(x1)
ネジ穴深さ：8mm
- ② 三脚プレート取り付け穴
ネジ種：1/4-20UNC(x1)
ネジ穴深さ：12mm
- ③ 三脚プレート取り付け穴
ネジ種：1/4-20UNC(x1)
ネジ穴深さ：11mm
- ④ 三脚プレート取り付け穴
ネジ種：3/8-16UNC(x1)
ネジ穴深さ：12mm
- ⑤ 三脚プレート取り付け穴
ネジ種：3/8-16UNC(x2)
ネジ穴深さ：11mm

LCD ケーブル接続端子カバー（着脱可）

リグやアクセサリーを取り付けるときなどに LCD ケーブル接続端子カバーが干渉する場合は、カバーを取り外すことができます。



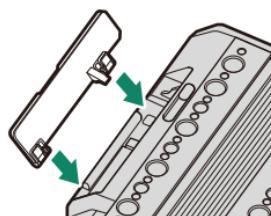
LCD ケーブル接続端子カバーを取り外すときは、内側にある橙色のつまみを図の矢印のように引いてください。



 LCD モニターを使わないときは LCD ケーブル接続端子蓋を取り付けてください。

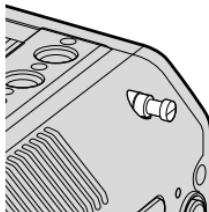
LCD ケーブル接続端子カバーの取り付け方

LCD ケーブル接続端子カバーを取り付けるときは、図のようにカバーを押し込んでください。



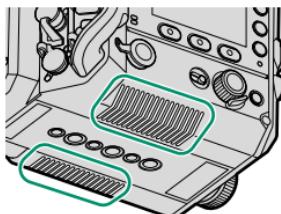
メジャーフック

撮像素子の位置を示しています。メジャー フックにメジャーの先端を取り付けると、撮像素子と被写体の間の正確な距離を計測できます。

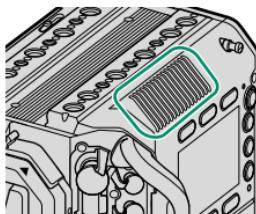


吸気口 / 排気口

吸気口や排気口をテープなどでふさいだり、遮蔽物をそばに置いたりしないでください。冷却性能の低下やカメラが故障するおそれがあります。



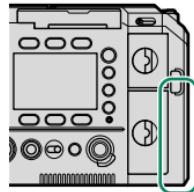
吸気口



排気口

Wi-Fi アンテナ（内部）

カメラ内部に Wi-Fi アンテナがあるため、手で押さえたり金属などで覆ったりすると、Wi-Fi 通信が遮断することがあります。



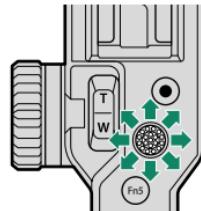
ハンドルについて

ハンドルをカメラ本体に取り付けると、フォーカスレバーでフォーカスエリアの設定をしたり、ズームレバーでズーム操作をしたりできます。

 ハンドルはカメラ本体上部のハンドル取り付け部に取り付けます（図 52）。

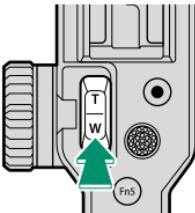
フォーカスレバー

フォーカスレバーを 8 方向に動かしたり、中央を押したりしてフォーカスエリアを設定できます。メニューを表示しているときは、メニュー項目の選択に使用できます。



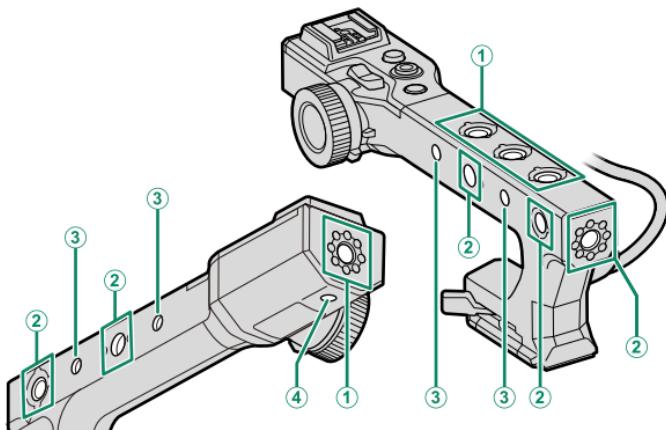
ズームレバー

電動ズームに対応したレンズを使用しているときは、ズームレバーでズーム操作ができます。ズームレバーの押す量によってズームの速度が変わります（図 84）。



アクセサリー取り付けネジ穴（ハンドル）

同梱の LCD アタッチメントや市販のアクセサリーを取り付けることができます。寸法は次のとおりです。



- ① アクセサリー取り付けネジ穴
ネジ種：3/8-16UNC(x4)
ネジ穴深さ：12.5 mm
- ② アクセサリー取り付けネジ穴
ネジ種：3/8-16UNC(x5)
ネジ穴深さ：12 mm

- ③ アクセサリー取り付けネジ穴
ネジ種：1/4-20UNC(x4)
ネジ穴深さ：8 mm
- ④ アクセサリー取り付けネジ穴
ネジ種：1/4-20UNC(x1)
ネジ穴深さ：7 mm

LCD モニターについて

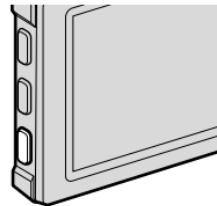
LCD モニターをカメラに接続すると、撮影画面を確認したり、撮影した動画を再生したりすることができます。撮影時や再生時にタッチパネルとして使用することもできます（図 86）。



LCD モニターはカメラ本体天面やハンドルのアクセサリー取り付けネジ穴に取り付けます（図 54）。

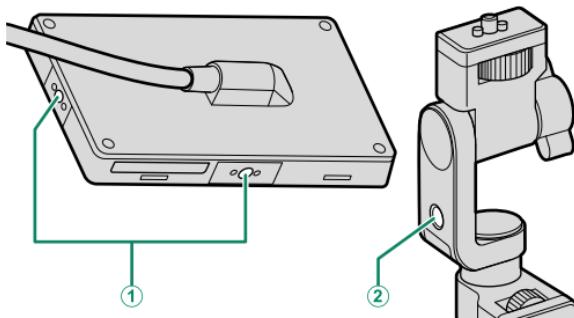
DISP ボタン

DISP ボタンを押すと、LCD モニターの情報表示のオンとオフを切り替えることができます。長押しすると、LCD モニターの表示を上下や左右で反転することができます。



アクセサリー取り付けネジ穴 (LCD モニター)

市販のアクセサリーを取り付けることができます。寸法は次のとおりです。

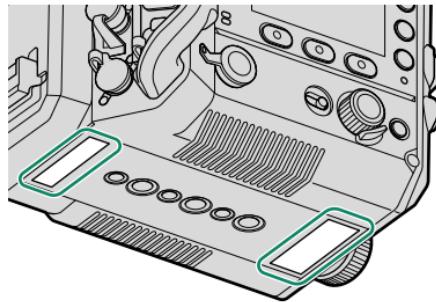


- ① アクセサリー取り付けネジ穴
ネジ種：1/4-20UNC(x2)
ネジ穴深さ：7.5 mm

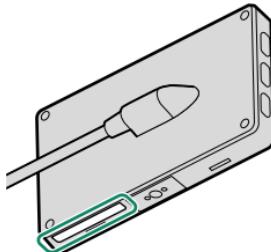
- ② アクセサリー取り付けネジ穴
ネジ種：1/4-20UNC(x1)

銘板プレート

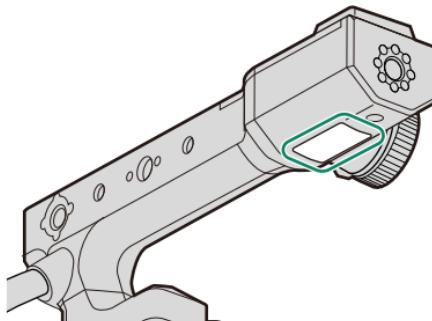
銘板プレートには CMIIT ID、シリアル番号などが印刷されているので取り外さないでください。



カメラ本体



LCD モニター



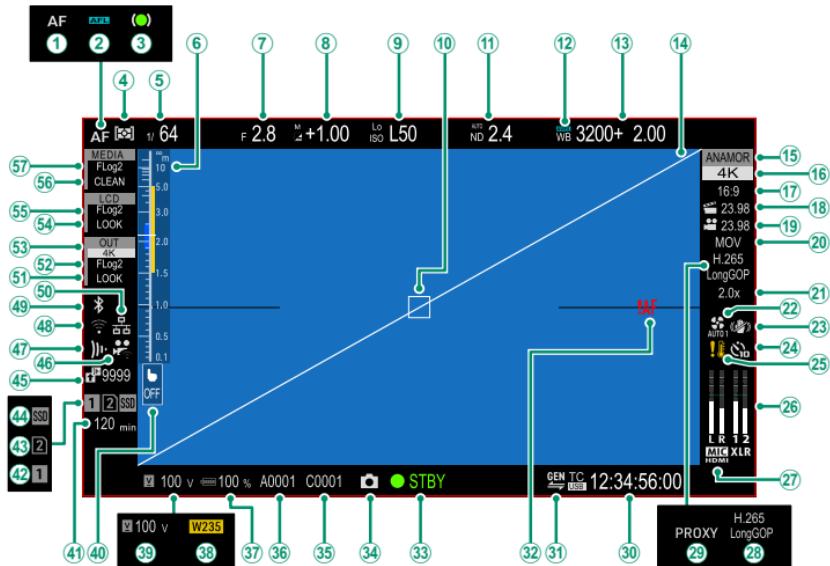
ハンドル

撮影時の表示画面

撮影時は、LCD モニターや側面モニターに次の情報が表示されます。

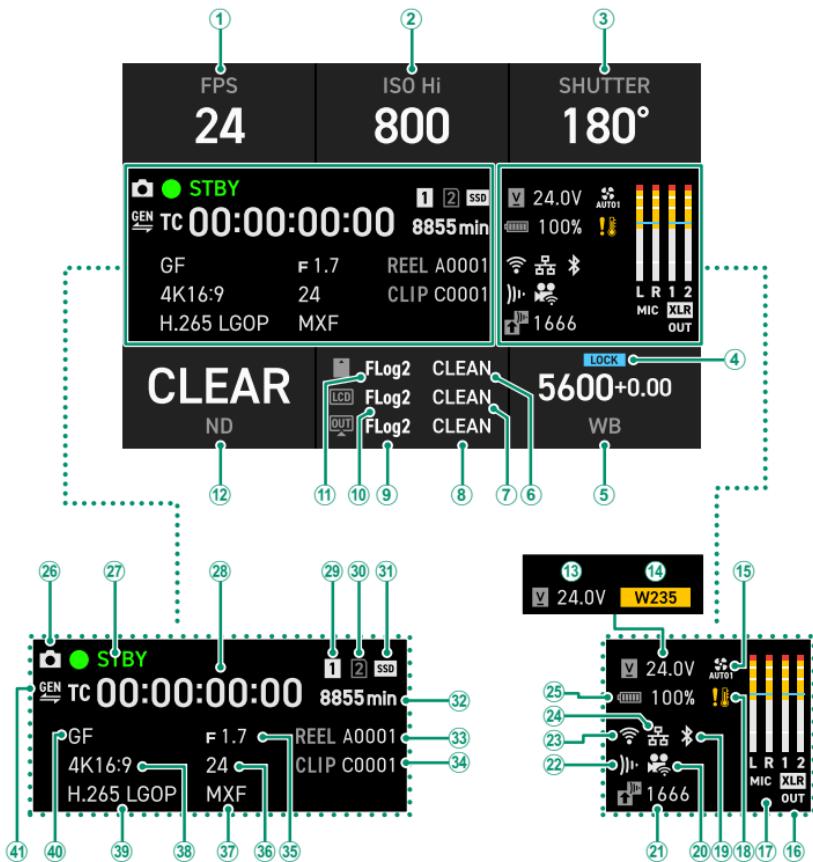
(!) 説明のため情報はすべて表示しています。

LCD モニターの表示画面



① フォーカスモード	13	⑩ Genlock	130
② AF-L	186	⑪ AF 警告	229
③ 合焦マーク		⑫ カメラ状態 ● STBY/REC	62
④ 測光モード	85	⑬ Grab	66
⑤ シャッタースピード	72	⑭ クリップ No.	
⑥ 距離指標バー		⑮ リール No.	126
⑦ 絞り値	83	⑯ NP-W235 電池残量	57
⑧ 露出補正	127	⑰ W235 撮影モード	34
⑨ ISO 感度	71	⑱ 外部電源	37
⑩ フォーカスエリア	81	⑲ タッチ AF-OFF ボタン	
⑪ ND フィルター	73	⑳ メディア記録可能時間	
⑫ AWB ロック		㉑ 記録メディア CF	124
⑬ ホワイトバランス	76	㉒ 記録メディア SD	124
⑭ 電子水準器	157	㉓ 記録メディア SSD	124
⑮ 動画フォーマット	118	㉔ Frame.io 転送状況	103
⑯ 解像度	119	㉕ リモート録画機能接続状態	
⑰ アスペクト比	119	㉖ Frame.io 接続状態	104
⑱ プロジェクトフレームレート	119	㉗ 無線 LAN 接続	
⑲ 撮影フレームレート	70	㉘ Bluetooth ON/OFF	
⑳ ファイル形式	124	㉙ 有線 LAN 接続	
㉑ クロップ倍率		㉚ LOOK SDI/HDMI	
㉒ 冷却ファン設定	174	㉛ LOOK CLEAN 状態	75
㉓ ブレ防止	128	㉜ LOOK SDI/HDMI	
㉔ セルフタイマー	128	㉝ FS/F-Log/HLG/Raw	120
㉕ 温度警告	40, 231	㉞ LOOK SDI/HDMI 出力解像度	149
㉖ マイクレベル	142	㉟ LOOK LCD LOOK/CLEAN 状態	75
㉗ XLR マイクレベル	142	㉟ LOOK LCD FS/F-Log/HLG	120
㉘ コーデック	125	㉟ LOOK 内部記録	
㉙ プロキシ (ProRes 記録時のみ)	125	㉛ LOOK CLEAN 状態	75
㉚ タイムコード	146	㉜ LOOK 内部記録 FS/F-Log/HLG	120

側面モニターの表示画面



① 撮影フレームレート	70	㉑ Frame.io 転送状況.....	103
② ISO 感度	71	㉒ Frame.io 接続状態.....	104
③ シャッタースピード	72	㉓ 無線 LAN 接続	
④ AWB LOCK		㉔ 有線 LAN 接続	
⑤ ホワイトバランス	76	㉕ NP-W235 電池残量.....	57
⑥ LOOK 内部記録		㉖ Grab.....	66
LOOK/CLEAN 状態	75	㉗ カメラ状態 ● STBY/REC	62
⑦ LOOK LCD LOOK/CLEAN 状態.....	75	㉘ タイムコード.....	146
⑧ LOOK SDI/HDMI		㉙ 記録メディア CF.....	124
LOOK/CLEAN 状態	75	㉚ 記録メディア SD	124
⑨ LOOK SDI/HDMI		㉛ 記録メディア SSD.....	124
FS/F-Log/HLG/RAW	120	㉜ メディア記録可能時間	
⑩ LOOK LCD FS/F-Log/HLG.....	120	㉝ リール No.....	126
⑪ LOOK 内部記録 FS/F-Log/HLG.....	120	㉞ クリップ No.	
⑫ ND フィルター	73	㉟ 絞り値.....	83
⑬ 外部電源	37	㉟ プロジェクトフレームレート	119
⑭ W235 撮影モード	34	㉟ ファイル形式.....	124
⑮ 冷却ファン設定	174	㉟ 解像度.....	119
⑯ XLR マイクレベル	142	㉟ メディア記録設定	125
⑰ マイクレベル	142	㉟ 動画フォーマット	118
⑱ 温度警告	40、231	㉟ Genlock.....	130
⑲ Bluetooth ON/OFF			
⑳ リモート録画機能接続状態			

MEMO

撮影の準備

同梱バッテリーを充電する

同梱バッテリーを充電します。

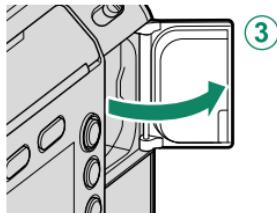
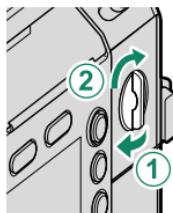
同梱バッテリーを充電する

同梱バッテリーを使用すると、カメラの基本的な機能を使用した撮影ができます。またカメラの電源をオフにすることなく、Vマウントバッテリーの交換ができます。

- ①
- 安全上の理由から、ご購入時には同梱バッテリーは充電されていません。充電しないとカメラは作動しませんので、必ずカメラをお使いになる前に同梱バッテリーを充電してください。
 - 充電時間は約 180 分です。
 - 充電中にカメラの電源をオンにすると、電源がオフのときよりも充電時間が長くなることがあります。

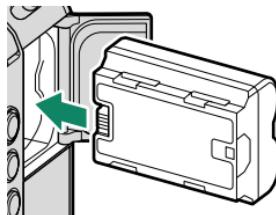
- 1 バッテリーカバーのつまみを起こし (①)、図のように回して (②)、バッテリーカバーを開けます (③)。

- ①
- カメラの電源がオンになっているときは、バッテリーカバーを開けないでください。ファイルやメモリーカードが壊れることがあります。
 - バッテリーカバーに無理な力を加えないでください。



2 同梱バッテリーを図のように入れます。

- !
 - 同梱バッテリーの向きを間違えるとカメラが破損するおそれがあります。正しい向きで挿入してください。
 - 同梱バッテリーがしっかりと固定されていることを確認してください。



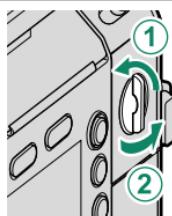
3 バッテリーカバーを閉めます。

- !

バッテリーカバーが閉まらないときは、無理に閉めずに同梱バッテリーの挿入方向を確認してください。



4 バッテリーカバーのつまみを図のよう回して (①)、つまみを倒します (②)。



5 付属の AC パワーアダプターを取り付けて充電をします (図 37)。

W235 撮影モード

カメラの電源が同梱バッテリーのみのときに電源をオンにすると W235 撮影モードになります。

W235 撮影モードでは次の制限があります。

- レンズ接続用 12 ピン端子、SDI OUT 端子、HDMI OUT 端子、DC OUT 12V 端子は使用できません。
- 外付け SSD は使用できません。
- 無線 LAN 接続、有線 LAN 接続、Bluetooth 接続はできません。
- 解像度で 8K は選べません。

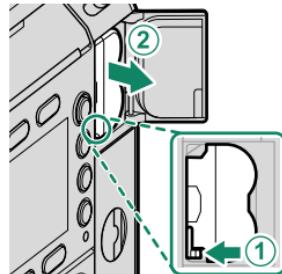


AC パワーアダプターや V マウントバッテリーを取り付けると W235 撮影モードを終了します。

同梱バッテリーを取り出すときは

カメラの電源をオフにしてからバッテリーカバーを開けてください。

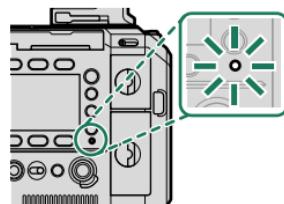
同梱バッテリーを取り出すときは、バッテリー取り外しつまみを指で動かしてロックを外してから（①）、同梱バッテリーを取り出してください（②）。



! カメラ使用後は同梱バッテリーが熱くなっている場合があります。取り出すときは注意してください。

充電状態の表示

- カメラの電源がオフのときは、インジケーターランプで同梱バッテリーの充電状態を示します。



インジケーターランプ

同梱バッテリーの状態	
緑色点灯	充電中
消灯	充電完了
緑色点滅	充電異常

- カメラの電源がオンのときは、画面のアイコンで同梱バッテリーの充電状態を示します。

アイコン

同梱バッテリーの状態	
	充電中
	充電完了
	充電異常

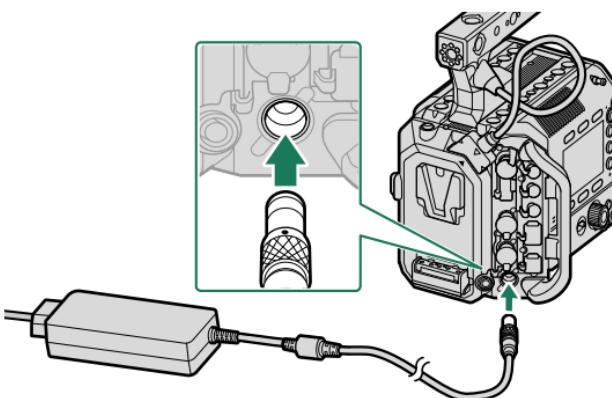


- ・同梱バッテリーにラベルなどをはらないでください。カメラから取り出せなくなることがあります。
- ・同梱バッテリーの端子同士を接触（ショート）させないでください。発熱して危険です。
- ・同梱バッテリーについてのご注意は「お取り扱いにご注意ください」を参照してください。
- ・必ず専用の充電式バッテリーをお使いください。弊社専用品以外の充電式バッテリーをお使いになると故障の原因になることがあります。
- ・外装ラベルを破ったり、はがしたりしないでください。
- ・同梱バッテリーは使わなくても少しずつ放電しています。撮影の直前（1～2日前）には、同梱バッテリーを充電してください。
- ・使用できる時間が著しく短くなったときは、同梱バッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。
- ・ACパワーアダプターを使用しないときは、コンセントからACパワーアダプターを抜いてください。
- ・同梱バッテリーを長期間充電しないと同梱バッテリーの品質が保持できなくなり、充電できなくなるおそれがあります。定期的に充電することをおすすめします。
- ・充電前に、同梱バッテリーの端子の汚れを乾いたきれいな布などで拭いてください。端子が汚れていると、充電できないことがあります。
- ・低温時および高温時は充電時間が長くなることがあります。

AC パワーアダプターを使用する

付属の AC パワーアダプターを使用すると、同梱バッテリーを使用せずにカメラを使用したり、カメラに入れた同梱バッテリーを充電したりすることができます。

プラグの赤マークを図のように向けて AC パワーアダプターのケーブルをカメラの DC IN 端子に接続してから、AC ケーブルを屋内の電源コンセントに差し込みます。





- 付属の AC パワーアダプターは 100 ~ 240V まで対応しており、海外でもご使用いただけます（変換プラグアダプターや AC ケーブルが必要な場合があります）。
- AC パワーアダプターは、他の機器に使用しないでください。故障の原因になります。
- カメラに同梱バッテリーが入っているときに AC パワーアダプターを取り外すと、画面表示や端子の出力がオフになり、カメラの電源をオフにする以外の操作ができなくなります（図 199）。
- 同梱バッテリーの残量が少ないときや低温環境下で使用しているときに AC パワーアダプターを取り外すと、カメラに同梱バッテリーが入っていてもカメラの動作が停止する場合があります。
- DC IN 端子には付属の AC パワーアダプターのみを使用してください。付属のアダプター以外を使用した場合は保証いたしかねます。



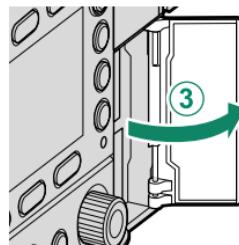
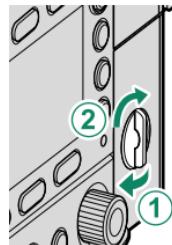
- AC パワーアダプターのかわりに V マウントバッテリーで同梱バッテリーを充電することもできます（図 198）。
- AC パワーアダプターと V マウントバッテリーの両方が取り付けられているときは、AC パワーアダプターの電力を優先して消費します。

メモリーカードを入れる

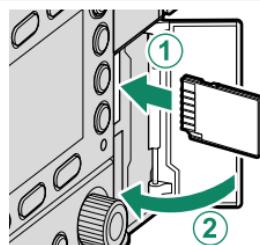
撮影したクリップは、市販のメモリーカードに記録します。

 このカメラには2つのメモリーカードスロットがあります。スロット1はCFexpressカード用、スロット2はSD/SDHC/SDXCメモリーカード用です。

- 1 メモリーカードスロットカバーのつまみを起こし(①)、図のように回して(②)、カバーを開けます(③)。



- 2 メモリーカードを入れ(①)、メモリーカードスロットカバーを閉めます(②)。

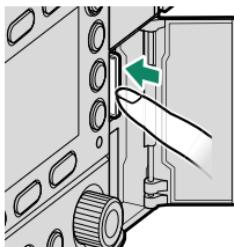


- 3 メモリーカードスロットカバーのつまみを図のように回してロックし（①）、つまみをたおします（②）。



メモリーカードを取り出すときは

カメラの電源をオフにしてからメモリーカードスロットカバーを開けます。メモリーカードを指で押し込み、ゆっくり指を離すと、ロックが外れて取り出せます。



- ! • メモリーカードを取り出すときは、カードの中央を押してください。
 • メモリーカードを取り出すときに、押し込んだ指を急に離すと、メモリーカードが飛び出することがあります。指は静かに離してください。
 • 画面に ! が表示されたときは、メモリーカードが熱くなっていることがあります。しばらくたってからメモリーカードを取り出してください。

2枚のメモリーカードを使用する場合

このカメラには2つのメモリーカードスロットがあるため、2枚のメモリーカードを使用できます。メモリーカードへの記録方法は、**プロジェクトのメディア記録設定** > **記録先メディア**で変更できます。

設定	説明	画面表示
順次記録	スロット1のメモリーカードの空きがなくなったら、スロット2のメモリーカードに自動的に切り替えて保存します。	
バックアップ記録	2枚のメモリーカードに同時に保存します。	

使用可能なメモリーカード

- このカメラは、CFexpress Type B カードおよび SD/SDHC/SDXC メモリーカードに対応しています。また、バスインターフェースは UHS-I/UHS-II に対応しています。
- プロジェクト > メディア記録設定**の設定によって使用できるメモリーカードが異なります。
 - ProRes 撮影の場合は CFexpress カードをご使用ください。
 - ビットレートが 720Mbps の場合は CFexpress カードまたはビデオスピードクラス V90 以上のメモリーカードをご使用ください。
 - ビットレートが 360Mbps の場合は CFexpress カードまたはビデオスピードクラス V60 以上のメモリーカードをご使用ください。
 - ビットレートが 100Mbps または 200Mbps の場合は CFexpress カードまたはビデオスピードクラス V30 以上のメモリーカードをご使用ください。
- 対応メモリーカードについては、富士フイルムのホームページに掲載しています。詳しくは <https://fujifilm-x.com/ja-jp/support/compatibility/cameras/> を参照してください。



- メモリーカードのフォーマット中やデータの記録中は、カメラの電源をオフにしたり、メモリーカードを取り出したりしないでください。カード損傷の原因になることがあります。
- メモリーカードにデータを記録するときは、書き込み禁止スイッチのロックを解除してください。書き込み禁止スイッチをLOCK側へスライドさせると、クリップの記録やカードのフォーマットができなくなります。
- メモリーカードは小さいため、乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万が一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
- 外形寸法がSDメモリーカード規格から外れているminiSDアダプター やmicroSDアダプターを使うと、まれに抜けなくなることがあります。その場合、無理に抜こうとすると故障につながりますので、富士フイルムデジタルカメラサポートセンターにご相談ください。
- メモリーカードにラベルなどをはらないでください。はがれたラベルが、カメラの誤動作の原因になることがあります。
- メモリーカードの種類によっては、動画の記録が中断されることがあります。
- カメラでメモリーカードをフォーマットすると、初回撮影時にファイルを保存するフォルダが作られます。このフォルダの名前を変更したり、削除したりしないでください。また、パソコンやその他の機器で、ファイルの編集 / 削除または名前変更をしないでください。ファイル名を変更すると、カメラでの再生時に支障をきたす場合があります。



メモリーカードの代わりに外付け SSD を使用する

このカメラでは SSD に静止画や動画を記録することができます。USB 端子に SSD を接続してから、**プロジェクトのメディア記録設定 > 記録先メディア**で SSD を選びます。SSD を取り外すときは、カメラの電源をオフにしてから取り外してください。

 再生時は **1/2/SSD** (スクリーンボタン 6) を押して、再生する SSD やメモリーカードを選択できます。

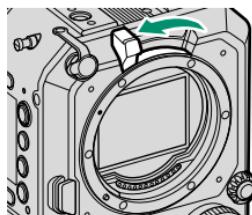
レンズを取り付ける

このカメラでは、富士フィルム製の FUJIFILM G マウント対応のレンズや PL マウント対応のレンズが使用できます。

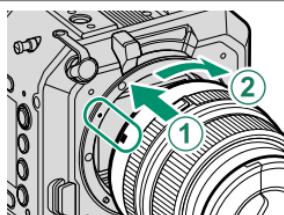
- !
① レンズを取り付けたり取り外したりするとき（レンズ交換）は、以下のことにご注意ください。
- ・ゴミやほこりの付着に注意してください。
 - ・直射日光など強い光源が当たらないところで行ってください。光源がカメラ内部に入り込むと、カメラ内部で焦点を結んで故障の原因になります。
 - ・レンズキャップを取り付けて行ってください。
 - ・絞りリングなど、可動する部分を持ってレンズを回さないでください。
 - ・レンズの使い方については、レンズの説明書をご覧ください。
 - ・カメラ内部には触れないでください。

G マウント対応レンズ

- 1 レンズロックレバーを図のように倒します。



- 2 カメラのボディキャップとレンズのリアキャップを外してカメラとレンズの指標に合わせて（①）、矢印の方向にレンズをゆっくり回しながら（②）カメラにレンズを取り付けます。



- !
① • 「カチッ」とはまるまで、レンズを回してください。
• レンズを取り付けるときは、レンズ取り外しボタンを押さないでください。

- 3 レンズロックレバーを図のように動かしてロックします。

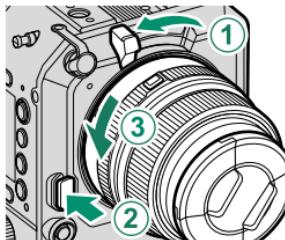


(!) レンズロックレバーは端まで動かないので、強く押さないでください。

レンズの取り外し方

カメラの電源をオフにしてからレンズロックレバーを図のように倒し (①)、レンズ取り外しボタンを押しながら (②)、矢印の方向にレンズをゆっくり回してください (③)。

(!) レンズを取り外してカメラを保管するときは、ゴミやほこりの付着を防ぐためにボディキャップとレンズキャップを取り付けてください。



別売アクセサリーについて

このカメラでは、富士フィルム製の FUJIFILM G マウント対応のアクセサリーが使用できます。

PL マウント対応レンズ

PL マウント対応のレンズを使用するときは、付属の PL マウントアダプターをカメラに取り付けます。別売の弊社製 PL マウント対応レンズの対応情報については以下をご覧ください。

<https://fujifilm-x.com/ja-jp/support/compatibility/cameras/>

! 上記以外の PL マウント対応レンズを使用する場合は以下に注意してください。

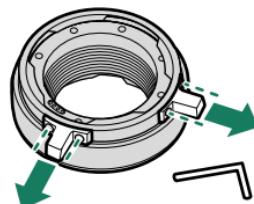
- 全ての PL マウント対応レンズの動作を保証するものではありません。
- カメラやレンズの損傷などを防ぐため、指定の寸法を超えないレンズを使用してください (☞ 195)。
- フランジバックを調整したいときは、同梱されているシムを使用してください (☞ 192)。

PL マウントアダプターの取り付け

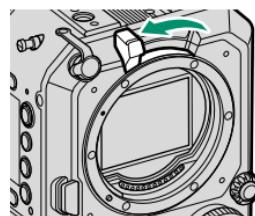
カメラに PL マウントアダプターを取り付けます。

1 バヨネットリングから PL ロックレバーを取り外します。

付属の六角レンチ (2 mm) を使用してください。



2 レンズロックレバーを図のように倒してロックを解除します。



- 3 カメラと PL マウントアダプターの赤い指標を合わせて (①)、矢印の方向に PL マウントアダプターをゆっくり回して取り付けます (②)。

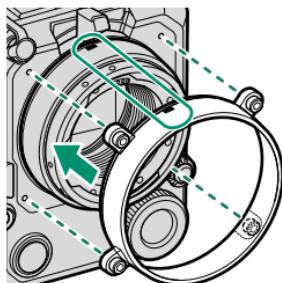


- 4 レンズロックレバーを図のように動かしてロックします。



! レンズロックレバーは端まで動かないので、強く押さないでください。

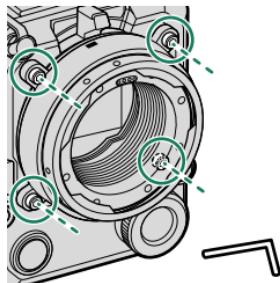
- 5 PL マウントアダプターカバーと PL マウントアダプターの赤い指標を合わせて、PL マウントアダプターカバーを取り付けます。



! PL マウントアダプターカバーは、他の GFX シリーズには使用できません。

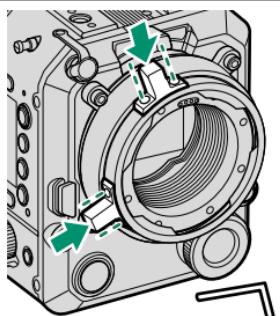
- 6 PL マウントアダプターカバーのボルトを回してカメラに固定します。

付属の六角レンチ (3 mm) で締めてください。トルクレンチを使用する場合は、トルクを 0.36N・m に設定してください。



- 7 PL ロックレバーをバヨネットリングに取り付けます。

付属の六角レンチ (2 mm) を使用してください。

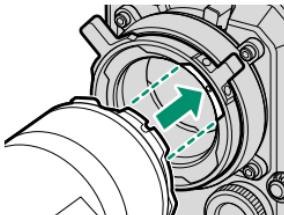


PL マウント対応レンズの取り付け

PL マウントアダプターにレンズを取り付けます。

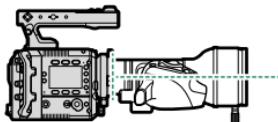
- ① 重いレンズ（2kg 以上）を取り付けるときは市販のレンズサポートを使用してください。レンズサポートを使用することで、レンズの重量がフランジバックに影響を与えなくなり、またレンズマウントへの負担を軽減することができます（[図 200](#)）。

- 1 PL マウントアダプターのピンと、レンズの切り欠きの位置が合うように、レンズをカメラにまっすぐ取り付けてください。



- ① レンズを斜めに押し付けたり、レンズを PL マウントアダプターに取り付けたりしたまま、レンズを回さないでください。信号接点が破損するおそれがあります。

- 2 横から見てレンズが水平になっていることを確認し、PL ロックレバーを図のようご回してロックします。

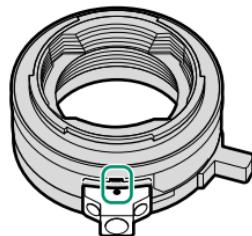


支持枠の取り付け方

PLマウントアダプターカバーの支持枠を取り外し
たあと、再度PLマウントアダプターカバーに取り
付けるときは、支持枠の指標とPLマウントアダプ
ターカバーのくぼみを合わせて、付属の六角レン
チ（2mm）で締めてください。トルクレンチを使
用する場合は、トルクを0.36N・mに設定してく
ださい。



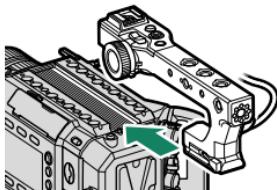
支持枠をマウントアダプターに取り付けるときは、
支持枠の指標とマウントアダプターのくぼみを合
わせて、付属の六角レンチ（2mm）で締めてくだ
さい。トルクレンチを使用する場合は、トルクを
0.36N・mに設定してください。



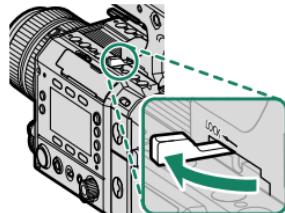
ハンドルを取り付ける

付属のハンドルをカメラに取り付けます。

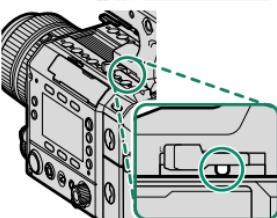
- 1 ハンドル取り付け部の溝にハンドルをスライドさせてカメラに取り付けます。



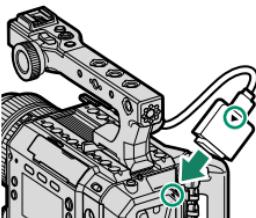
- 2 取り付けロックレバーを **LOCK** の方向に動かしてロックします。



取り付けロックレバーを動かしてもハンドルがしっかりと固定されない場合は、取り付けロックレバー調整ネジを回して調整してください。

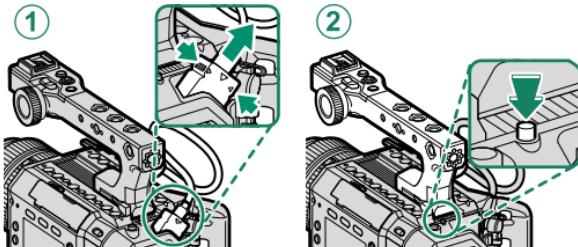


- 3 ハンドルケーブルをカメラのハンドル接続端子に指標を合わせて取り付けます。



ハンドルの取り外し方

ハンドルケーブル端子の両側を押しながら、ハンドルケーブル端子をハンドル接続端子から取り外します（①）。取り付けロックレバーのロックを解除したあと、ハンドルリリースボタンを押しながらハンドルをスライドさせます（②）。



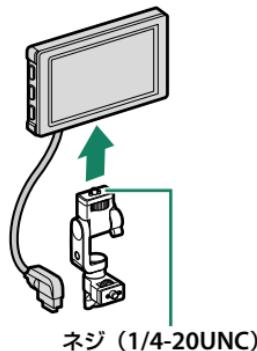
LCD モニターを取り付ける

付属の LCD モニターをカメラに取り付けます。

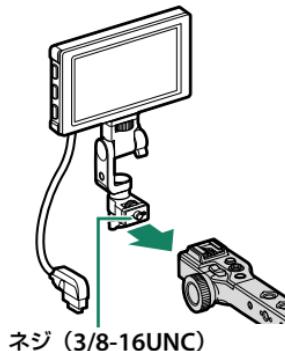
2

撮影の準備

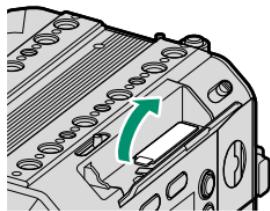
- 1 LCD モニターのアクセサリー取り付けネジ穴 (1/4-20UNC) に LCD アタッチメントを取り付けます。



- 2 LCD アタッチメントをカメラやハンドルのアクセサリー取り付けネジ穴 (3/8-16UNC) に取り付けます。

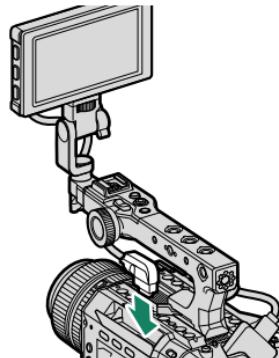


3 LCD ケーブル接続端子蓋を取り外します。



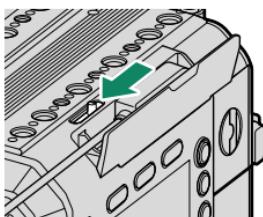
取り外した端子蓋は端子保護のため保管してください。紛失したときは、付属の予備をご使用ください。

4 LCD ケーブルをカメラの LCD ケーブル接続端子に取り付けます。



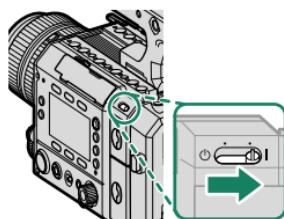
LCD モニターの取り外し方

LCD ケーブル取り外しレバーをスライドさせて LCD ケーブルを取り外してから、LCD モニターを取り外してください。



電源をオンにする / オフにする

電源スイッチを I 側にスライドすると、電源がオンになります。O 側にスライドすると電源がオフになります。



同梱バッテリー残量の表示

画面の表示で、同梱バッテリー残量を確認できます。

画面に表示される同梱バッテリー残量表示の目盛りで同梱バッテリー残量を表します。

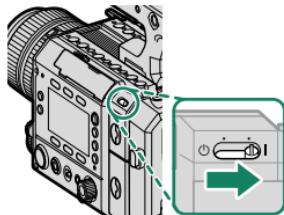
表示	意味
	残量は十分にあります。
	残量は約 80%です。
	残量は約 60%です。
	残量は約 40%です。
	残量は約 20%です。
	残量が不足しています。できるだけ早く充電してください。
	残量がありません。カメラの電源をオフにして、同梱バッテリーを交換してください。

初期設定を行う

ご購入後初めて電源をオンにすると、言語や日時を初期設定として設定できます。以下の手順で初期設定を行ってください。

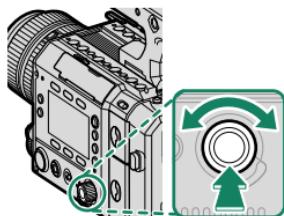
1 電源をオンにします。

言語設定画面が表示されます。



2 言語を設定します。

セレクターダイヤルを回して使用する言語を選び、セレクターダイヤルの中央を押します。



3 地域の設定画面が表示されます。

セレクターダイヤルを回してお住まいの地域の設定をして、セレクターダイヤルの中央を押します。



ON/OFF (スクリーンボタン 6) を押すとサマータイムの設定ができます。

4 日時を設定します。

セレクターダイヤルの中央を押すと次の設定項目に移動します。最後の項目でセレクターダイヤルの中央を押すか、**Done** (スクリーンボタン 6) を押すと、側面モニターには **HOME** 画面が、LCD モニターには撮影画面が表示されます。



同梱バッテリーを取り外してしばらく保管すると、設定した内容がクリアされる場合があります。その場合は、初期設定の設定画面が表示されますので、再設定してください。

言語を変更する

言語を変更するときは、以下の手順で変更します。

1 セットアップ >  言語/LANG. を選びます。

2 言語を設定します。

セレクターダイヤルで使用する言語を選びます。

3 セレクターダイヤルの中央を押します。

設定した言語表示になります。

日時を変更する

日時設定を変更するときは、以下の手順で変更します。

1 セットアップ > 日時設定 を選びます。

2 日時を設定します。

表示する順序（年、月、日）と日付、時刻をそれぞれ設定します。

3 最後の項目でセレクターダイヤルの中央を押すか、Done（スクリーンボタン 6）を押すと日時が設定されます。

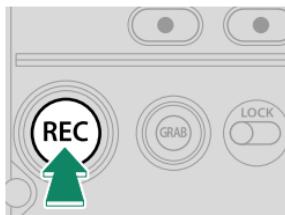
3

基本的な撮影と再生

動画を撮影する

1 カメラの電源をオンにします (図 56)。

2 REC ボタンを押すと REC ボタンが赤く点灯して動画撮影が開始されます。



3 もう一度 REC ボタンを押すと REC ボタンが消灯して動画撮影が終了します。

- ①
- 音声も同時に記録されるので、撮影中に指などでマイクをふさがないようご注意ください (図 3、4)。
 - カメラの動作音が録音されることがあります。
 - 高輝度の被写体を撮影すると、縦スジや横スジが入ることがあります but 故障ではありません。

温度保護機能について

カメラや同梱バッテリーの温度が上昇すると、カメラを保護するために自動的に電源がオフになる場合があります。温度警告が表示された場合は、クリップにノイズが多くなる可能性があります。一度、電源をオフにし、しばらくたってからご使用ください。

外部マイクについて

このカメラでは、外部マイクを使用できます。外部マイクはΦ 3.5mm ピンで取り付けるものをご使用ください。プラグインパワーが必要なマイクの場合は動作電圧が 2 V 以内のものをご使用ください。詳しくは外部マイクの使用説明書をご覧ください。

XLR マイクアダプターについて

このカメラではティアック株式会社製 XLR マイクアダプター (TASCAM CA-XLR2d-F) を使用できます。詳しくは以下の TASCAM のウェブサイトをご覧ください。

<https://tascam.jp/jp/product/ca-xlr2d/>

動画を再生する

1 PLAY ボタンを押します。

- 側面モニターにファイルの一覧が表示されます。
- LCD モニターにファイルのプレビューが表示されます。



2 セレクターダイヤルを回して再生したいクリップを選びます。

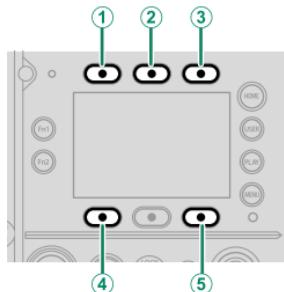
セレクターダイヤルを左に回すとカーソルが上方向に移動します。右に回すと下方向に移動します。

 **1/2** (スクリーンボタン 6) を押すと、再生するメモリーカードを切り替えることができます。

3 セレクターダイヤルの中央を押すと、クリップが再生されます。

BACK ボタンで停止できます。

クリップ再生中にスクリーンボタンを押すと操作が行えます。



再生中

ボタン	意味
① ◀◀ 早戻し (スクリーンボタン 1)	早戻しを行います。早戻し中に再度ボタンを押すと速度が変わります。
② ▶⏸ 再生 / 一時停止 (スクリーンボタン 2)	再生中に画面を一時停止できます。再度押すと、再生に戻ります。
③ ▶▶ 早送り (スクリーンボタン 3)	早送りを行います。早送り中に再度ボタンを押すと速度が変わります。
④ ◀◀ 前ファイル送り (スクリーンボタン 4)	前のファイルまたは次のファイルを表示します。
⑤ ▶▶ 次ファイル送り (スクリーンボタン 6)	

一時停止中

セレクターダイヤル	意味
右回転	次コマ送り (1 コマ進む)
左回転	前コマ送り (1 秒戻る)

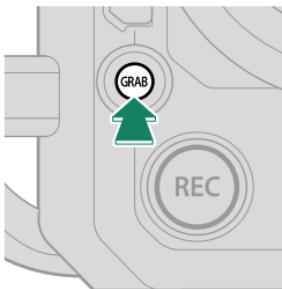
!
スピーカーを指などでふさがないでください。音が聞き取りにくくなります。

■ 静止画を保存する

動画のフレームを切り出して、静止画として保存できます。

動画撮影中やスルー画の表示中、動画の再生中に **GRAB** ボタンを押します。

スルー画の保存中は LCD モニターが非表示になります。



3

基本的な撮影と再生



- 再生画面でクリップを再生しているときは、再生している動画の静止画が保存されます。再生するクリップがないときや静止画を表示しているときは静止画は保存されません。
- スルー画の表示中や動画の再生中に保存した静止画のサイズはプロジェクト > 解像度で設定したサイズになります。動画撮影中に保存した場合は FHD 相当のサイズになります。
- 動画撮影中に **GRAB** ボタンを押しても、動画の撮影は継続されます。

保存した静止画を再生する

1 PLAY ボタンを押します。

側面モニターにファイルの一覧が表示されます。



2 動画 / 静止画（スクリーンボタン 4）を押すと、LCD モニターに静止画が表示されます。

側面モニターに静止画の一覧が表示されます。セレクターダイヤルを回して表示する静止画を選択します。



1/2 (スクリーンボタン 6) を押すと、再生するメモリーカードを切り替えることができます。

MEMO

4

撮影に関する設定

撮影フレームレート

- 1 撮影時に **HOME** ボタンを押します。
側面モニターに **HOME** 画面が表示されます。



- 2 **FPS** (スクリーンボタン 1) を押します。
撮影フレームレートの設定画面が表示されます。

- 3 セレクターダイヤルを回してフレームレートを選び、中央を押して決定します。

プロジェクトのフレームレートより速いフレームレートを選ぶと
スローモーションの動画が撮影できます。遅いフレームレートを選ぶ
とクイックモーションの動画が撮影できます。



SDI/HDMI (スクリーンボタン 6) を押すと、SDI 端子や HDMI 端子に出力
する映像のフレームレートをプロジェクト FPS にするか、撮影フレームレー
トにするかを選べます。

ISO 感度

- 1 撮影時に **HOME** ボタンを押します。
側面モニターに **HOME** 画面が表示されます。
- 2 感度（スクリーンボタン 2）を押します。
感度の設定画面が表示されます。
- 3 セレクターダイヤルを回して感度を選び、中央を押して決定します。
AUTO を選ぶとカメラが自動で感度を設定します。

シャッター

1 撮影時に **HOME** ボタンを押します。

側面モニターに **HOME** 画面が表示されます。

2 シャッター (スクリーンボタン 3) を押します。

シャッターアングルの設定画面が表示されます。

3 セレクターダイヤルを回してシャッターアングルを選び、中央を押して決定します。



- **角度 / 速度** (スクリーンボタン 4) を押すと、シャッターアングルとシャッタースピードを切り替えることができます。
- **通常 / 拡張** (スクリーンボタン 6) を押すと、シャッターの調整量を通常と拡張で切り替えることができます。拡張にすると、LED 照明などで発生するフリッカー現象の影響を低減するために、通常よりもシャッターを細かく設定することができます。

ND フィルター

ND フィルターの使い方

ND フィルターをオンにして、ND フィルターの濃度を設定します。

1 撮影時に **HOME** ボタンを押します。

側面モニターに **HOME** 画面が表示されます。

2 **ND** (スクリーンボタン 4) を押します。

ND フィルターの設定画面が表示されます。

3 **ON/CLEAR** (スクリーンボタン 4) を押します。

ND フィルターが **ON** になります。もう一度押すと **CLEAR** になります。

4 セレクターダイヤルを回して濃度を選び、中央を押して決定します。



- **DENSITY/FACTOR** (スクリーンボタン 6) を押すと、ND フィルターの濃度表示をフィルターファクターに変更できます。
- マルチファンクションダイヤルでも濃度を設定できます (図 14)。

LOOK

メモリーカード、LCD モニター、SDI/HDMI 出力のそれぞれの映像に LUT (Lookup Tables) を反映することができます。

LUT の選択

プロジェクト > LUT 選択で、各映像の種類に対して適用する LUT を選択します。メモリーカードに記録されている LUT をカメラに読み込んで使うこともできます。

 メモリーカードや LCD モニター、SDI OUT 端子や HDMI OUT 端子のそれぞれに出力する映像の種類は、プロジェクト > F-Log/HLG/Raw で変更できます。

映像への反映

設定した LUT をそれぞれの映像に反映するかどうかを設定できます。

1 撮影時に **HOME** ボタンを押します。

側面モニターに **HOME** 画面が表示されます。

2 スクリーンボタン 5 を押します。

それぞれの出力に LUT を反映するかどうかの組み合わせが表示されます。**LOOK** が設定された出力には LUT が反映されます。**CLEAN** が設定された出力には LUT は反映されません。

選べる組み合わせは次のとおりです。

設定	説明
A	LCD モニターの表示のみ LUT を反映します。
B	メモリーカード、LCD モニター、SDI/HDMI 出力すべてに LUT を反映します。
C	メモリーカード、LCD モニター、SDI/HDMI 出力のいずれにも LUT を反映しません。

3 セレクターダイヤルを回して設定の組み合わせを選び、中央を押して決定します。



- **LUT** (スクリーンボタン 4) を押すと、**LUT 選択**を変更できます。
- **確認** (スクリーンボタン 6) を押すと、**SDI/HDMI 出力情報表示**の設定を変更できます。**SDI/HDMI 出力情報表示**を **ON** にすると、選んだ組み合わせにかかわらず、SDI/HDMI の出力は LCD モニターと同じ設定になります。

ホワイトバランス

撮影する動画のホワイトバランスは、オートホワイトバランス、カスタムホワイトバランス、プリセットホワイトバランスのいずれかの方法で設定できます。

オートホワイトバランス

シーンの変動に合わせて、カメラが自動でホワイトバランスを調整します。

1 撮影時に HOME ボタンを押します。

側面モニターに HOME 画面が表示されます。

2 WB (スクリーンボタン 6) を押します。

ホワイトバランスの設定画面が表示されます。

3 AWB 設定 (スクリーンボタン 3) を押します。

オートホワイトバランスの設定画面が表示されます。

4 セレクターダイヤルを回して設定を選び、中央を押して決定します。

オートホワイトバランスの種類

選べるオートホワイトバランスの設定は次のとおりです。

設定	説明
ホワイト優先	白熱電球下で白色が再現されやすくなります。
AUTO	標準的なオートホワイトバランスです。
霧囲気優先	白熱電球下で、より温かみのある霧囲気を出します。

カスタムホワイトバランス

白い紙など、ホワイトバランスの基準となる被写体を撮影すると、カメラが自動でホワイトバランスを設定します。

1 撮影時に **HOME** ボタンを押します。

側面モニターに **HOME** 画面が表示されます。

2 **WB** (スクリーンボタン 6) を押します。

ホワイトバランスの設定画面が表示されます。

3 **CWB** 設定 (スクリーンボタン 1) を押します。

カスタムホワイトバランスの設定画面が表示されます。

4 白い紙などの被写体を画面内に表示します。



カスタムホワイトバランスを取得するエリアのサイズや位置を変更することもできます。

5 **REC** ボタンを押します。

- ホワイトバランスが正しく設定されたときは**成功**と表示されます。
- **OVER** と表示されたときはマイナス側に露出補正をしてください。
- **UNDER** と表示されたときはプラス側に露出補正をしてください。

プリセットホワイトバランス

あらかじめ設定した色温度を選んで、手動でホワイトバランスを設定できます。

1 プリセットホワイトバランスを追加または編集する

プリセットホワイトバランスを新規に追加したり、既存のプリセットホワイトバランスを編集したりできます。

1 撮影時に **HOME** ボタンを押します。

側面モニターに **HOME** 画面が表示されます。

2 **WB** (スクリーンボタン 6) を押します。

ホワイトバランスの設定画面が表示されます。

3 追加 (スクリーンボタン 6) を押します。

色温度の設定画面が表示されます。



編集 (スクリーンボタン 5) を押すと、既存のプリセットホワイトバランスを編集できます。

4 セレクターダイヤルを回して色温度を設定します。

- セレクターダイヤルの中央を押すと次の桁に移動します。 **BACK** ボタンを押すと前の桁に戻ります。
- K/CC** (スクリーンボタン 5) を押すと **CC** の設定ができます。

5 完了 (スクリーンボタン 6) を押して決定します。

プリセットホワイトバランスを削除する

既存のプリセットホワイトバランスを削除します。

1 撮影時に **HOME** ボタンを押します。

側面モニターに **HOME** 画面が表示されます。

2 **WB** (スクリーンボタン 6) を押します。

ホワイトバランスの設定画面が表示されます。

3 削除したいプリセットを選んでから、**削除** (スクリーンボタン 4) を押します。

削除の確認画面が表示されます。

4 2つの削除 (スクリーンボタン 4 とスクリーンボタン 6) を同時に押します。

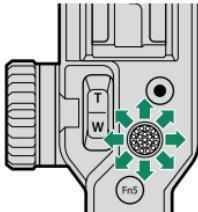
選んだプリセットが削除されます。

オートフォーカス撮影

フォーカスモード切換レバーを **AF** にすると、オートフォーカスで撮影できます。

AF モード

フォーカス > **AF モード** でピント合わせの方法を設定できます。ハンドルのフォーカスレバーでフォーカスエリアの位置や被写体を選びます。



オートエリア

ピントを合わせるエリアをカメラが自動的に選びます。

トラッキング

フォーカスレバーを中央に押すと、フォーカスエリアの被写体を自動で追尾します。もう一度押すと追尾を終了します。

エリア選択

ピントを合わせるエリアを選びます。



- LCD モニターをタッチしてフォーカスエリアの位置やピントを合わせる被写体を変更することもできます。
- レンズ側でフォーカス方法を設定できる交換レンズを使用している場合は、あらかじめレンズのフォーカスモードスイッチを **S** に設定してください。

フォーカスエリア選択

フォーカス > フォーカスエリア選択で、トラッキングやエリア選択のときのピントを合わせる位置を設定できます。BACKボタンを押してフォーカスエリアを中央に戻すこともできます。



LCDモニターをタッチしてフォーカスエリアの位置を変更することができます。

マニュアルフォーカス撮影

フォーカスモード切換レバーを **MF** にすると、マニュアルフォーカスで撮影できます。

マニュアルフォーカスのときは、次の方法でピントを合わせて撮影できます。

フォーカスリング

レンズのフォーカスリングを回してピントを調整できます。

マルチファンクションダイヤル / ファンクションボタン

マルチファンクションダイヤルやファンクションボタンを操作してピントを調整できます。

 レンズ側でフォーカス方法を設定できる交換レンズを使用している場合は、あらかじめレンズのフォーカスモードスイッチを **S** にしてください。

マルチファンクションダイヤル

マルチファンクション切替ダイヤルを **F** に合わせてからマルチファンクションダイヤルを回すと、ピントを調整できます (図 14)。

 **AF + MF** が **ON** のときもマルチファンクションダイヤルでピントを調整できます。

ファンクションボタン

MF 定速フォーカス (N) や **MF 定速フォーカス (F)** が割り当てられているファンクションボタンを押してピントを調整できます (図 181)。

アイリス

絞りリング

絞りリングのあるレンズを使用しているときは、絞りリングでアイリスを調整できます。

レコーディング設定

レコーディング > 絞りでアイリスを調整できます。AUTO を選ぶとカメラが自動でアイリスを調整します。

マルチファンクションダイヤル

レコーディング > 絞りが AUTO 以外に設定されていて、絞りリングなしレンズを使用しているときや、レンズの絞りリングが C の位置のときは、マルチファンクション切替ダイヤルを I に合わせてからマルチファンクションダイヤルを回すと、アイリスを調整できます (図 14)。

ファンクションボタン

絞り値 + や絞り値 - (開放) が割り当てられているファンクションボタンを押してアイリスを調整できます。絞り Auto が割り当てられているファンクションボタンを押すと、カメラが自動でアイリスを調整するかどうかを切り替えられます (図 181)。

ズーム

ズームリング

レンズのズームリングを回してズーム操作をします。

電動ズーム

対応する電動ズームレンズ使用時は、次の方法でズーム操作ができます。あらかじめレンズのズームモードスイッチを **S** にしてください。

マルチファンクションダイヤル

対応する電動ズームレンズ使用時は、マルチファンクション切替ダイヤルを **Z** に合わせてからマルチファンクションダイヤルを回して、ズーム操作ができます (図 14)。

ズームレバー

対応する電動ズームレンズ使用時は、ハンドルのズームレバーを押してズーム操作ができます。ズームレバーを押す量に応じてズームの速度が変わります。

ファンクションボタン

対応する電動ズームレンズ使用時は、**定速ズーム (T)** や**定速ズーム (W)** が割り当てられているファンクションボタンを押してズーム操作ができます (図 181)。

 ユーザーボタンのレンズ ズーム / フォーカス設定 > 定速ズーム (Fn) 速度で、ズーム速度を変更できます。

測光モード

レコーディング > 測光で使用する測光モードを設定します。

- (!) 測光モードを変更するときは、**フォーカス > 被写体検出 AF 設定**をオフにしてください。

設定	説明
[マルチ] マルチ	被写体の輝度分布や色、背景や構図などの情報を瞬時にカメラが判断し、さまざまな撮影状況で適正な露出が得られます。通常の撮影では、[マルチ] をおすすめします。
[中央部重点] 中央部重点	撮影画面の中央部を重点的に測光して露出値を決定します。
[スポット] スポット	画面の約 2% 部分の露出が最適になるように測光します。逆光時など、被写体と背景の明るさが大きく異なるときなどに使用します。
[アベレージ] アベレージ	画面全体を平均して測光します。構図や被写体により露出が変化しにくい特長があり、白や黒の服を着た人や風景の撮影などに使用します。

タッチ操作

このカメラでは、LCD モニターをタッチパネルとして使用できます。

LCD モニターのタッチ操作

ユーザーボタンのタッチパネル設定 > 撮影時タッチパネル (LCD) や再生時タッチパネル (LCD) が ON のときは、撮影時や再生時に以下のタッチ操作ができます。

 動画再生時はスワイプのみ行えます。

スワイプ

再生時に画面上を指で掃くように動かすと、前後のファイルを表示できます。



ダブルタップ

画面を 2 回タッチすると、ピントを合わせた位置を拡大表示できます。



 撮影時にダブルタップで拡大表示する場合は、ユーザーボタンのタッチパネル設定 > 撮影時ダブルタップ拡大 (LCD) をあらかじめオンにしておく必要があります。

フォーカスエリアの選択

フォーカス > タッチパネルモードが **AF** のときは、撮影時に LCD モニターをタッチすると、タッチした場所にフォーカスエリアが移動してピントを合わせます。

 フォーカス > タッチパネルモードが **エリア選択** のときはタッチした場所にフォーカスエリアが移動しますが、ピントは合わせません。

拡大表示

ユーザーボタンのタッチパネル設定 > 撮影時ダブルタップ拡大 (LCD) が **高倍率** のときは、画面の中央を 2 回タッチすると撮影画面の中央を 6 倍に拡大して表示します。 **低倍率** のときは 2.5 倍に拡大して表示します。もう一度中央を 2 回タッチすると元の表示に戻ります。

MEMO

5 再生と再生メニュー

再生時の表示画面

再生時は、側面モニターおよび LCD モニターに次の情報が表示されます。

① 説明のため情報はすべて表示しています。

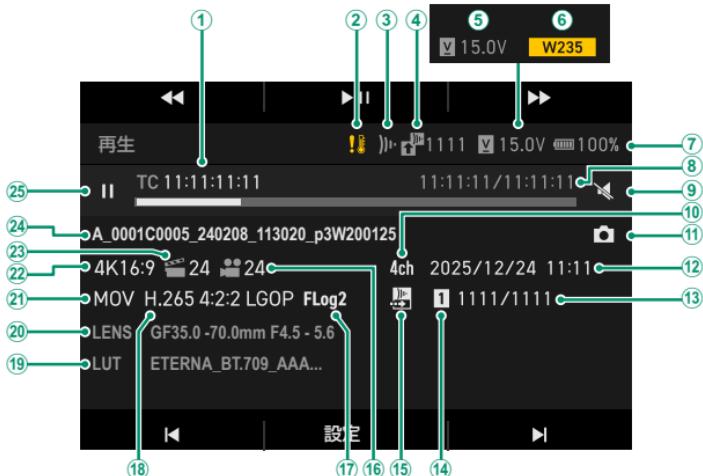
側面モニター

再生ファイル選択時の表示



- | | | | |
|-----------------|---------|-------------------|----------|
| ① 温度警告 | 40, 231 | ⑩ FS/F-Log/HLG | 120, 122 |
| ② Frame.io 接続状態 | 104 | ⑪ タイムコード | 146 |
| ③ Frame.io 転送状況 | 103 | ⑫ 録画時間 | |
| ④ 外部電源 | 37 | ⑬ 撮影日時 | 58, 171 |
| ⑤ W235 撮影モード | 34 | ⑭ ファイル番号 / ファイル総数 | |
| ⑥ NP-W235 電池残量 | 57 | ⑮ 再生メディア | |
| ⑦ 動画サイズ | 119 | ⑯ ファイル形式 | 124 |
| ⑧ 撮影フレームレート | 70 | ⑰ プロジェクトフレームレート | 119 |
| ⑨ コーデック | 125 | | |

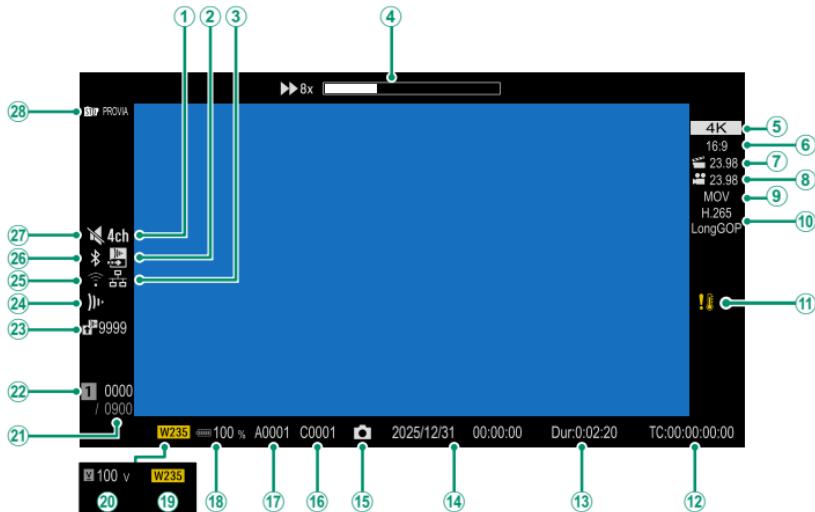
ファイル再生時の表示



- | | | | |
|-------------------|--------|-----------------|---------|
| ① タイムコード | 146 | ⑯ カードスロット | |
| ② 温度警告 | 40、231 | ⑯ Frame.io 転送予約 | |
| ③ Frame.io 接続状態 | 104 | ⑯ 撮影フレームレート | 70 |
| ④ Frame.io 転送状況 | 103 | ⑯ FS/F-Log/HLG | 120、122 |
| ⑤ 外部電源 | 37 | ⑯ コーデック | 125 |
| ⑥ W235 撮影モード | 34 | ⑯ LUT ファイル | |
| ⑦ NP-W235 電池残量 | 57 | ⑯ レンズ情報 | |
| ⑧ 再生時間 / 録画時間 | | ⑯ ファイル形式 | 124 |
| ⑨ ミュート | | ⑯ 動画サイズ | 119 |
| ⑩ 4ch 音声記録 | 144 | ⑯ プロジェクトフレームレート | 119 |
| ⑪ Grab | 66 | ⑯ クリップ名 | |
| ⑫ 撮影日時 | 58、171 | ⑯ 再生状態 | |
| ⑬ ファイル番号 / ファイル総数 | | | |

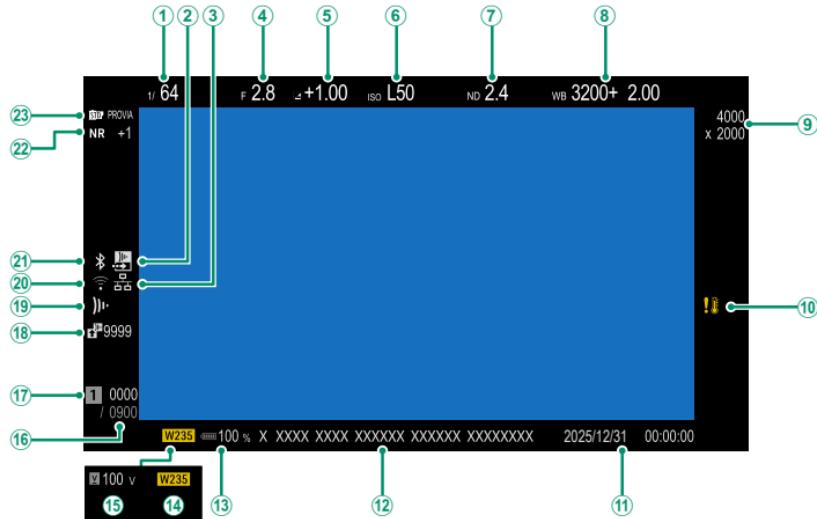
LCD モニター

動画再生時の表示



- | | | | |
|-----------------|---------|--------------------------|-----|
| ① 4ch 音声記録 | 144 | ⑯ クリップ No. | 66 |
| ② Frame.io 転送予約 | | ⑯ リール No. | 126 |
| ③ 有線 LAN 接続 | | ⑯ NP-W235 電池残量 | 57 |
| ④ 再生状態 | | ⑯ W235 撮影モード | 34 |
| ⑤ 動画サイズ 解像度 | 119 | ⑯ 外部電源 | 37 |
| ⑥ 動画サイズ アスペクト | 119 | ⑯ ファイル番号 / ファイル総数 | |
| ⑦ 撮影フレームレート | 70 | ⑯ カードスロット | |
| ⑧ プロジェクトフレームレート | 119 | ⑯ Frame.io 転送状況 | 103 |
| ⑨ ファイル形式 | 124 | ⑯ Frame.io 接続状態 | 104 |
| ⑩ コーデック | 125 | ⑯ 無線 LAN 接続 | |
| ⑪ 温度警告 | 40, 231 | ⑯ Bluetooth ON/OFF | |
| ⑫ タイムコード | 146 | ⑯ ミュート | |
| ⑬ 録画時間 | | ⑯ LOOK 内部記録 FS/F-Log/HLG | 120 |
| ⑭ 撮影日時 | 58, 171 | | |

静止画再生時の表示



- | | | | |
|-------------------------|---------|--|----------|
| ① シャッタースピード | 72 | ⑬ NP-W235 電池残量 | 57 |
| ② Frame.io 転送予約コマ | | ⑭ W235 撮影モード | 34 |
| ③ 有線 LAN 接続 | | ⑮ 外部電源 | 37 |
| ④ 絞り値 | 83 | ⑯ ファイル番号 / ファイル総数 | |
| ⑤ 露出補正 | 127 | ⑰ カードスロット | |
| ⑥ ISO 感度 | 71 | ⑱ Frame.io 転送状況 | 103 |
| ⑦ ND フィルター | 73 | ⑲ Frame.io 接続状態 | 104 |
| ⑧ ホワイトバランス | 76 | ⑳ 無線 LAN 接続 | |
| ⑨ 画像サイズ | | ㉑ Bluetooth ON/OFF | |
| ⑩ 温度警告 | 40, 231 | ㉒ ノイズリダクション設定値 | |
| ⑪ 撮影日時 | 58, 171 | ㉓ フィルム シミュレーション / F-Log / HLG 撮影 | 120, 122 |
| ⑫ ファイル名 | | | |

情報表示の切り替え

DISP ボタンを押すと情報表示のオンとオフを切り替えることができます。

再生メニュー

クリップの再生に関する機能を設定できます。

SDI/HDMI 設定

再生画面を外部出力端子へ出力するかどうかの設定ができます。

SDI 出力

再生画面を SDI OUT 端子へ出力するかどうかの設定ができます。

設定値	
ON	
	OFF

HDMI 出力

再生画面を HDMI OUT 端子へ出力するかどうかの設定ができます。

設定値	
ON	
	OFF

SDI/HDMI 出力解像度

SDI OUT 端子や HDMI OUT 端子に出力する映像の解像度を設定できます。

設定値			
8K	4K	4K DCI	FHD

 モニターの SDI/HDMI 設定 > SDI/HDMI 出力解像度と共に設定できます。

再生音量

動画再生時の音量を設定します。

設定	説明
0	音量をオフに設定します。
1 ~ 10	音量を1~10に設定します。

4ch 音声再生

XLRマイクアダプターを使用して、4ch録音で撮影されたクリップを再生するときの音声を選べます。

設定	説明
XLR	XLRマイクアダプターに取り付けられた外部マイクの音声を再生します。
カメラ	カメラの内蔵マイクまたはマイク端子に取り付けられた外部マイクの音声を再生します。

 再生画面で **Fn5** ボタンを押して設定を切り替えることもできます。

再生時デスクイーズ表示

アナモフィックレンズで撮影したクリップを再生するときにデスクイーズ表示するかどうかを選べます。

設定値	
ON	OFF

6 ネットワーク接続

ネットワーク/USB機能の概要

このカメラはパーソナルコンピューターやスマートフォンと接続して、撮影したクリップを転送したり、パーソナルコンピューターやスマートフォンでカメラを操作して撮影したりすることができます。

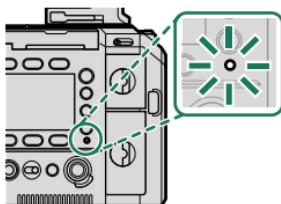
このカメラでできること

このカメラでできることは次のとおりです。

ネットワーク/USB機能	内容	目次
Frame.ioへファイル転送	Frame.ioに撮影したファイルを転送できます。	103
リモート録画機能	パーソナルコンピューターやタブレットのブラウザーからカメラをリモート操作して動画を撮影できます。	105

カメラのインジケーターランプの表示

カメラのインジケーターランプで、Frame.ioなどとの接続状態を確認できます。



インジケーターランプ	接続状態
赤色点滅	ネットワークに接続していません。
赤色点灯	ネットワークに接続していません。転送待ちのファイルがあります。
オレンジ点滅	ネットワークに接続していますが、Frame.ioや、リモート録画機能のパーソナルコンピューターやタブレットと接続していません。
オレンジと赤色の交互点灯	ネットワークに接続していますが、Frame.ioと接続していません。転送待ちのファイルがあります。
緑色点滅	Frame.ioへの転送やリモート録画ができます。
緑色と赤色の交互点灯	Frame.ioへの転送ができます。転送待ちのファイルがあります。

ネットワークに接続する

ネットワークの機能を使用するときは、あらかじめネットワーク接続の設定が必要です。

無線 LAN で接続

次のときはネットワークに接続できません。

- ・無線 LAN 機能がオフのとき
- ・カメラの電源が同梱バッテリーのみのとき

ネットワークを選んで接続する

カメラが自動検出したネットワークから選んで接続します。

1 ネットワーク>無線 LAN 設定を選びます。

2 自動検出されたネットワークのリストが表示されます。

接続したいネットワークを選びます。



- ・**ON/OFF** (スクリーンボタン 4) を押して無線 LAN 機能のオンとオフを切り替えることができます。
- ・**追加** (スクリーンボタン 6) を押して、表示されていないネットワークに接続することができます (図 100)。

3 ネットワークのパスワードを入力します。

4 カメラがネットワークに接続されます。

登録されたネットワークから選んで接続する

一度接続したネットワークはカメラに登録されます。登録されたネットワークを選んで接続したり、設定を変更したりできます。

1 ネットワーク>無線 LAN 設定を選びます。

2 自動検出されたネットワークのリストが表示されます。

登録済みのネットワークを選びます。

3 ネットワークに接続を選びます。



- ・ パスワードを選ぶと、登録されているパスワードを変更できます。
- ・ IP アドレス設定を選ぶと、IP アドレスの自動割り当てと手動割り当てを切り替えることができます。手動割り当てのときは、手動 IP アドレス設定で IP アドレスやサブネットマスク、ゲートウェイ、DNS サーバーの情報を入力してください。
- ・ ネットワークを削除を選ぶと、選んだネットワークの登録情報を削除します。

4 カメラがネットワークに接続されます。

ネットワークに手動で接続する

ネットワークの情報を手動で登録して、自動検出のリストに表示されないネットワークに接続できます。

1 ネットワーク>無線 LAN 設定を選びます。

2 自動検出されたネットワークのリストが表示されます。

3 追加（スクリーンボタン 6）を押します。

ON/OFF（スクリーンボタン 4）を押して無線 LAN 機能のオンとオフを切り替えることができます。

4 ネットワークの追加方法が表示されます。

SSID を入力して追加を選びます。



WPS ボタンで追加を選ぶと、無線 LAN ルーターの WPS ボタンを押してネットワークに接続できます。

5 SSID を選んで SSID を入力します。

入力画面でネットワークの SSID を入力します。

6 パスワードを選んでパスワードを入力します。

入力画面でネットワークのパスワードを入力します。

7 IP アドレスの割り当て方法を設定します。

- **自動** を選ぶと、カメラが IP アドレスを自動で取得します。
- **手動** を選んだときは、**手動 IP アドレス設定**で IP アドレスやサブネットマスク、ゲートウェイ、DNS サーバーの情報を入力してください。

8 完了を選びます。

カメラがネットワークに接続されます。

有線 LAN で接続

 カメラの電源が同梱バッテリーのみのときはネットワークに接続できません。

1 カメラとネットワークを LAN ケーブルで接続します。

2 ネットワーク>有線 LAN 設定を選びます。

3 IP アドレスの割り当て方法を設定します。

- IP アドレス設定で自動を選ぶと、カメラが IP アドレスを自動で取得します。
- IP アドレス設定で手動を選んだときは、手動 IP アドレス設定で IP アドレスやサブネットマスク、ゲートウェイ、DNS サーバーの情報を入力します。

4 カメラがネットワークに接続されます。

Frame.io にファイル転送する

撮影したファイルを Frame.io に転送できます (図 206)。



カメラの日付設定をしていない場合は正しい日付を事前に設定してください。

Frame.io に接続する

1 カメラをネットワークに接続します (図 99)。

2 ネットワーク > Frame.io Camera to Cloud を選びます。



初回起動時は Frame.io の機能を紹介する画面が表示されます。閉じる (スクリーンボタン 5) を押すと、次の画面へ進みます。

3 接続するを選びます。

4 接続すると切断するのうち、接続するを選びます。

5 接続コードを取得を選びます。

接続コードが表示されます。

6 パーソナルコンピューターなどから Frame.io へログインし、カメラに表示された接続コードを入力します。

Frame.io ヘファイルを転送する

撮影したファイルを自動転送する

Frame.io Camera to Cloud のアップロード設定 > 撮影時 自動画像転送を **ON** にすると、撮影したファイルを自動的に転送予約します。

再生画面でファイルを選んで転送する

再生画面で **Fn1** ボタンまたは **Fn3** ボタンを押して転送予約をしたり、キャンセルしたりできます。

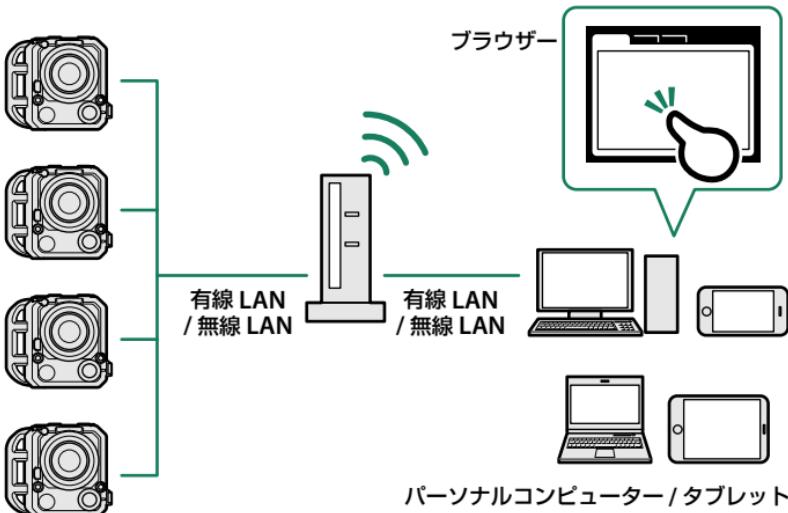
接続状態の確認

Frame.io との接続状態は側面モニターに表示されるアイコンで確認できます。

アイコン	接続状態
 (白)	Frame.io に接続しています。
 (グレー)	Frame.io に接続していません。
 (赤)	Frame.io サーバーのカメラステータスが paused に設定されています。接続を再開するには、パーソナルコンピューター側などで Frame.io の paused の設定を解除してください。

■ ブラウザーからリモートで動画を撮影する

このカメラにはリモート録画機能が搭載されています。パソコンコンピューターやタブレットのブラウザーからカメラに接続することにより、最大4台のカメラをブラウザーで操作して動画を撮影したり、設定を変更したりできます。



カメラの設定をする

パソコンやタブレットのブラウザからカメラに接続するための設定をします。

1 ネットワークのリモート録画機能 > ユーザー名でユーザー名を登録します。

2 リモート録画機能 > パスワードでパスワードを登録します。

3 リモート録画機能 > サーバータイプでサーバータイプを設定します。

 工場出荷時は **HTTPS** になっています。**HTTPS** は、パソコンやタブレットのブラウザにルート証明書をインポートする必要があります。

4 パソコンやタブレットからカメラに接続します (107)。

HTTPS で接続する場合

サーバータイプに **HTTPS** を選んだときは、お使いのパソコンやタブレットにルート証明書をインストールしてください。ルート証明書のダウンロードとインストールの方法は以下のサイトをご覧ください。

<https://fujifilm-dsc.com/ja/manual/rootcer/>



パソコンやタブレットからカメラに接続する

パソコンやタブレットのブラウザーからカメラに接続します。

 高速なアクセスポイント（5GHz帯など）の使用や接続をおすすめします。

1台目のカメラを接続する場合

ブラウザーを操作してIPアドレスを入力するか、カメラに表示されるQRコードをカメラアプリで読み込んで接続します。

IPアドレスを入力して接続する

- 1 パソコンやタブレットのブラウザーを起動し、アドレスバーにカメラのIPアドレスを入力します。

（例）カメラのIPアドレスが「192.168.0.11」の場合は、「<http://192.168.0.11>」と入力します。



 カメラのIPアドレスはネットワーク>リモート録画機能で確認できます。

- 2 ユーザー名とパスワードの入力画面が表示されたら、ユーザー名とパスワードを入力します。

ブラウザーにリモート録画機能の画面が表示されます。

QR コードを読み込んで接続する

- 1 ネットワークのリモート録画機能 > QR コードを選びます。
側面モニターに QR コードが表示されます。

- 2 タブレットのカメラアプリを起動して、QR コードを読み込みます。
ブラウザーが起動し、リモート録画機能の画面が表示されます。

2 台目以降のカメラを接続する場合

ブラウザーのリモート録画機能の画面で IP アドレスを入力するか、QR コードを読み込んで接続します。

 2 台目以降のカメラを接続するときは、あらかじめ 1 台目のカメラとサーバータイプを同じ設定にしてください (☞ 106)。

IP アドレスを入力して接続する

- 1 リモート録画機能の画面の「操作対象カメラ選択」で+マークのサムネイルをクリックまたはタップします。
- 2 入力画面が表示されたら、カメラの IP アドレスとユーザー名、パスワードを入力します。

ブラウザーにリモート録画機能の画面が表示されます。

 カメラの IP アドレスはネットワーク > リモート録画機能で確認できます。

QR コードを読み込んで接続する



2台目以降のカメラとの接続を QR コードを読み込んで接続したい場合は、あらかじめ 1台目のカメラと 2台目以降のカメラのサーバータイプを **HTTPS** に設定してください。

1 ネットワークのリモート録画機能 > QR コードを選びます。

側面モニターに QR コードが表示されます。

2 「操作対象カメラ選択」で+マークのサムネイルをタップします。

3 「QR コードで接続」をタップして、カメラに表示された QR コードを読み込みます。

ブラウザーにリモート録画機能の画面が表示されます。

2 台目以降のカメラの接続を解除する場合

2台目以降のカメラとの接続を解除したい場合は、「リモート録画機能メニュー」で接続機器の解除を選び、解除したいカメラのサムネイルをクリックまたはタップします。

リモート録画機能の表示画面

リモート録画機能の表示画面と各部の詳細については次のとおりです。

 画面のレイアウトはパーソナルコンピューターやタブレットの画面サイズなどによって異なります。

画面全体

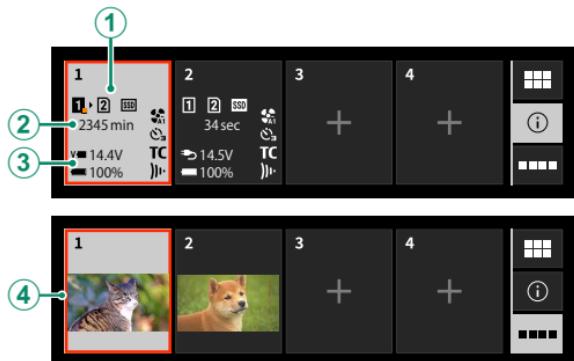


項目	内容
① リモート録画機能メニュー	リモート録画機能の設定を変更できます (図 113)。
② ロックボタン	選択しているカメラの操作や、リモート録画機能の画面の操作を有効にしたり、無効にしたりすることができます。
③ スクリーンボタン	カメラのライブビュー表示をマルチ画面に切り替えることができます。
④ 表示切り替えボタン	画面表示を切り替えることができます。
⑤ カード内動画確認ボタン	選択したカメラ内のメモリーカードに記録されているクリップを確認することができます。
⑥ カメラ設定メニュー (詳細)	選択しているカメラの設定(詳細)を変更できます。
⑦ REC-Hold ボタン	動画撮影の開始・停止操作をロックします。
⑧ REC ボタン	動画撮影を開始します。
⑨ REC/STOP 対象カメラ選択	録画を開始したり停止したりするカメラを選択できます。複数台を同時に選択することもできます。
⑩ STOP ボタン	動画撮影を停止します。
⑪ 操作対象カメラ選択	接続されているカメラのライブビューがサムネイル表示されます。選択すると、そのカメラを操作することができます。
⑫ GRAB ボタン	画像を保存します。
⑬ カメラ設定メニュー	選択しているカメラの設定を変更することができます。

 ロック中に接続を解除するとカメラの操作はロックされたままになります。その場合はカメラの電源をオフにしてください。

操作対象カメラ選択

接続されているカメラのライブビューとカメラの情報がサムネイル表示されます。選択すると、そのカメラを操作することができます。



項目	内容
① カードスロット設定	カメラのメディア記録設定が表示されます。記録中のスロットには橙色のマークが付きます。何らかの理由でカードが記録できない状態のときは赤色で表示されます。
② 動画の記録可能時間	動画撮影可能な残り時間が表示されます。残り時間が少なくなるとサムネイルが点滅し、表示時間が赤くなります。
③ 電源表示	電源の電圧や同梱バッテリーの残量が表示されます。同梱バッテリー残量が少なくなるとサムネイルが点滅します。
④ サムネイル枠	選択中は枠が表示されます。選択中でなくとも、記録中は赤色になります。ハイスピード動画での記録中は緑色になります。

リモート録画機能メニュー

リモート録画機能の設定を変更できます。

マイクレベルを表示

マイクレベルの表示を隠したり表示したりを切り替えることができます。

ツールバーを表示

ブラウザーのツールバーを隠したり表示したりを切り替えることができます。

クリーン表示モード

ライブビューのみを表示するクリーン表示モードに切り替えることができます。

画質優先で表示 / リアルタイム性優先で表示

ライブビューの表示方法を、画質優先 / リアルタイム性優先で切り替えることができます。



- 画質優先では、ライブビューの画質を最大にしますが、ライブビューに遅延が発生する場合があります。
- リアルタイム性優先では、ネットワーク環境によらずライブビュー表示の遅延を最小限にすることができます。

ライトモード / ダークモード

リモート録画機能画面のテーマカラーをライトモード / ダークモードで切り替えることができます。

カメラ接続を終了

「操作対象カメラ選択」で接続解除したいカメラのサムネイルをクリックまたはタップすると、接続を解除できます。

リモート録画機能で録画する

1台もしくは複数台のカメラを選んで録画を開始したり、録画中の一部のカメラのみ録画を停止したりすることができます。

1 録画を開始したいカメラを「REC/STOP 対象カメラ選択」で選びます。
「REC/STOP 対象カメラ選択」でカメラの番号をクリックまたはタップすると、番号の背景が反転表示され、選択されます。

2 「REC ボタン」を押します。
選んだカメラが録画を開始します。録画しているカメラのサムネイル枠に色が付きます。

3 録画を停止したいカメラを「REC/STOP 対象カメラ選択」で選びます。
「REC/STOP 対象カメラ選択」でカメラの番号をクリックまたはタップすると、番号の背景が反転表示され、選択されます。

4 「STOP ボタン」を押します。
選んだカメラが録画を停止します。

撮影した動画を確認する

カメラのメモリーカードに記録されているクリップを確認できます。

1 確認したいカメラを「操作対象カメラ選択」で選びます。

2 「カード内動画確認ボタン」を押します。
選んだカメラのメモリーカード内にあるファイルの一覧が表示されます。

カメラの設定の保存や読み込みをする

接続しているカメラの設定をパソコンコンピューターやタブレットに保存したり、保存した設定を読み込んだりできます。

1 カメラの設定を保存する

カメラの設定を設定ファイルとしてパソコンコンピューターやタブレットに保存します。

1 設定を保存したいカメラを「操作対象カメラ選択」で選びます。

2 「カメラ設定メニュー（詳細）」を選び、「設定保存」を選びます。

3 「設定保存」を押します。

パソコンコンピューターやタブレットに設定ファイルが保存されます。

2 保存した設定をカメラに読み込む

保存した設定ファイルをカメラに読み込みます。

1 設定を読み込みたいカメラを「操作対象カメラ選択」で選びます。

2 「カメラ設定メニュー（詳細）」を選び、「設定読込」を選びます。

3 読み込みたい設定のファイルを選び「設定読込」を押します。

選んだカメラに設定が読み込まれます。



- ファイルの場所や読み込む方法はパソコンコンピューターやタブレットによって異なります。
- 設定ファイルは同一の機種にのみ使用することができます。

【カメラの設定を他のカメラにコピーする

接続している複数のカメラ同士で設定をコピーします。

1 コピー元のカメラを「操作対象カメラ選択」で選びます。

2 「カメラ設定メニュー（詳細）」を選び、「コピー」を選びます。

3 コピー先のカメラのチェックボックスにチェックを入れ、「設定コピー」を押します。

コピー元のカメラの設定がコピー先のカメラにコピーされます。

 設定ファイルは同一の機種にのみ使用することができます。

7 メニューの詳細

プロジェクト

撮影する動画プロジェクトの設定を変更できます。

動画フォーマット

使用するレンズに応じて、撮影する動画のフォーマットを設定できます。

フォーマット選択

使用するレンズに応じて、撮影する動画のフォーマットを変更できます。
解像度やアスペクト比は解像度で設定します。

設定	説明
GF	GF シリーズのレンズに最適なフォーマットで撮影します。
Premista	Premista シリーズのレンズに最適なフォーマットで撮影します。
35mm	35mm フォーマットのレンズに最適なフォーマットで撮影します。
アナモフィック (35mm)	アナモフィックレンズに最適なフォーマットで撮影します。 倍率や撮影時デスクイーズ表示で、レンズの倍率や撮影時にデスクイーズ表示するかどうかを設定できます。
Super35	Super 35mm フォーマットのレンズに最適なフォーマットで撮影します。

倍率

アナモフィックレンズで撮影するときの、レンズの倍率を設定できます。

設定値				
2X	1.8X	1.5X	1.33X	1.3X

撮影時デスクイーズ表示

アナモフィックレンズで撮影するときにデスクイーズ表示するかどうかを選べます。

設定値	
ON	OFF
<p>!</p> <ul style="list-style-type: none"> アナモフィック (35mm) は設定された倍率に合わせて防振機能が動作します。アナモフィックレンズ以外のレンズを使用するときはアナモフィック (35mm) に設定しないでください。 アナモフィック (35mm) でデスクイーズ表示をオンにしていても、モニターの SDI/HDMI 出力設定 > SDI/HDMI 出力情報表示が OFF のときは、SDI 出力や HDMI 出力はデスクイーズ表示されません。 	

解像度

撮影する動画の解像度とアスペクト比の組み合わせを選べます。設定値はフォーマットによって異なります。

プロジェクト FPS

記録する動画ファイルのフレームレートを設定できます。

設定値			
23.98	24	25	29.97
47.95	48	50	59.94

F-Log/HLG/Raw

撮影する動画のガンマと色域や RAW 動画を出力するかを指定します。

メディア記録 /LCD 出力

メモリーカードや SSD に記録する動画と LCD モニターに表示する動画のガンマと色域を指定します。

設定値		
フィルム シミュレーション	F-Log2	F-Log2 C
F-Log	HLG	

SDI/HDMI 出力

SDI 端子や HDMI 端子から出力する動画のガンマと色域を指定します。

設定値		
フィルム シミュレーション	F-Log2	F-Log2 C
F-Log	HLG	



それぞれの設定値のガンマ / 色域は次のとおりです。

- **フィルム シミュレーション** : Film Simulation / Rec.709
- **F-Log** : F-Log / F-Gamut
- **F-Log2** : F-Log2 / F-Gamut
- **F-Log2 C** : F-Log2 / F-Gamut C
- **HLG** : BT.2100 (HLG)

SDI/HDMI 出力 RAW 設定

SDI 端子や HDMI 端子から外部レコーダー用に RAW 動画を出力するかどうかを選べます。

設定値		
ATOMOS RAW	Blackmagic RAW	OFF

フィルムシミュレーション

フィルムシミュレーションの種類を選べます。

設定	説明
PROVIA/スタンダード	標準的な発色と階調で人物・風景など幅広い被写体に適します。
Velvia/ビビッド	高彩度な発色とメリハリある階調表現で風景・自然写真に最適です。
ASTIA/ソフト	落ち着いた発色とソフトな階調でしっとりとした表現に適します。
クラシッククローム	発色をおさえ暗部のコントラストを高めることで落ち着いた表現に適します。
REALA ACE	標準的な発色とメリハリのある階調であらゆるシーンに適します。
PRO Neg. Hi	コントラストを高めたややメリハリのあるポートレート撮影に適します。
PRO Neg. Std	ニュートラルな階調で画像加工に最適です。肌色の質感を再現したいポートレート撮影に適します。
クラシックネガ	深い色とメリハリのある階調で、被写体をしっかりとした立体感で表現します。
ノスタルジックネガ	アンバーに味付けされたハイライトと色乗りの良いシャドウで、印刷された写真のような雰囲気を表現します。
ETERNA/シネマ	落ち着いた発色と豊かなシャドウトーンで動画に適します。
ETERNA ブリーチバイパス	低彩度かつ高コントラストの独特な発色で撮影できます。動画撮影にも適します。

設定	説明
 ACROS	<p>質感豊かでシャープな表現のモノクロです。さらに Ye、R、G のフィルターを選んでコントラストを調整します。</p> <ul style="list-style-type: none"> •  ACROS + Ye フィルター：コントラストをやや強調し、青空が少し濃くなります。 •  ACROS + R フィルター：コントラストを強調し、青空が濃くなります。 •  ACROS + G フィルター：唇、肌の調子を出し、ポートレートに適します。
 モノクロ	<p>モノクロで表現します。さらに Ye、R、G のフィルターを選んでコントラストを調整します。</p> <ul style="list-style-type: none"> •  モノクロ + Ye フィルター：コントラストをやや強調し、青空が少し濃くなります。 •  モノクロ + R フィルター：コントラストを強調し、青空が濃くなります。 •  モノクロ + G フィルター：唇、肌の調子を出し、ポートレートに適します。
 セピア	<p>セピア調で表現します。</p> <p> • フィルムシミュレーション設定時も、トーンやシャープネスなどの変更が可能です。</p> <p>• この設定はショートカット機能でも設定できます (図 180)。</p> <p>• フィルムシミュレーションについては、以下のウェブサイトも併せてご覧ください。</p> <p>https://fujifilm-x.com/products/film-simulation/</p>

LUT 選択

各映像の種類に対して適用する LUT を選択します。メモリーカードに記録されている LUT をカメラに読み込んで使うこともできます。

サブメニュー		
フィルム シミュレーション	F-Log2	F-Log2 C
F-Log	HLG	

メディア記録設定

内部記録するクリップの設定ができます。

記録先メディア

クリップの記録先が選べます。

設定値		
スロット 1	スロット 2	順次記録
バックアップ記録	SSD	SDI/HDMI 出力のみ

ファイル形式

記録するクリップのコンテナフォーマットが選べます。

設定値	
MOV	MXF

メディア記録設定

記録するクリップのコーデックが選べます。

設定値				
H.265 422 Long GOP	H.265 422 ALL-Intra	ProRes HQ	ProRes 422	ProRes LT

ProRes プロキシ

ProRes 撮影時にプロキシ動画を同時に記録するかどうかを設定できます。

設定値		
H.264	ProRes Proxy	OFF

ビットレート

記録するクリップのビットレートが選べます。

設定値				
50Mbps	100Mbps	200Mbps	360Mbps	720Mbps

-  • ビットレートはハイスピード動画や圧縮方式の設定によって選択できる設定値が異なります。映像によっては設定値より低い値となる場合があります。
- ProRes 撮影時のビットレートはフォーマットやフレームレート、ProRes の種類によって自動的に設定されます。詳細は Apple のウェブサイトをご確認ください。

クリップ名設定

撮影する動画に記録する情報を設定できます。

カメラ ID

カメラの名前を設定できます。

リール NO

ファイル名に付ける通し番号の開始番号を設定できます。

レコーディング

撮影の設定を変更できます。

絞り

絞りリングなしレンズを使用しているときや、レンズの絞りリングが \mathbb{C} の位置のときに、アイリスを設定できます。**AUTO** を選ぶとカメラが自動でアイリスを設定します。

シネマレンズ使用時の絞り単位

絞り値の表示方法を設定できます。

設定値

T 値

F 値

露出補正

露出補正ができます。-2段から+2段の間で1/4段ステップで設定できます。

測光

測光モードが選べます。

設定値

マルチ

中央部重点

スポット

アベレージ

セルフタイマー

セルフタイマーを使用するかどうかを選べます。RECボタンを押してから撮影を開始するまでの時間を設定できます。

設定値

OFF

3秒

5秒

10秒

ブレ防止設定

手ブレ補正のモードを設定できます。

ブレ防止モード

レンズの手ブレ補正機能（OIS）やカメラの電子式の手ブレ補正機能（DIS）を使用するかどうかを設定できます。

設定値

OIS

OIS+DIS

OFF

ブレ防止モードブースト

手ブレ補正の強さを設定できます。

設定値

ON

OFF



- レンズに手ブレ補正のスイッチ（OIS スイッチ）がある場合、レンズ側の設定が優先されます。
- 手ブレ補正機能が動作すると、振動や動作音を感じることがあります。

周辺光量補正

周辺光量を補正するかどうかを設定できます。

設定値

ON

OFF

マウントアダプター設定

マウントアダプターを使用するときの設定が変更できます。レンズ1～レンズ6にそれぞれレンズの設定を登録できます。**OFF**を選ぶとレンズの補正は行いません。

レンズ名編集

レンズ名を登録できます。

焦点距離設定

使用するレンズの実焦点距離を設定できます。

歪曲収差補正

映像の周辺部が歪んでしまう「歪曲収差」を補正できます。

設定値

タル型強	タル型中	タル型弱	OFF
糸巻き型弱	糸巻き型中	糸巻き型強	

色シェーディング補正

映像中央部と周辺部の色の違いなど(シェーディング)を映像の四隅(左上、右上、左下、右下)それぞれ個別に-9から+9の範囲で補正できます。

周辺光量補正

映像の周辺光量を補正できます。

設定値

-5 -4 -3 -2 -1 0 +1 +2 +3 +4 +5

GENLOCK

Genlock 端子に同期できる機器が接続されていて、プロジェクト FPS が同じ場合、ON にすると撮影する映像の位相を合わせることができます。

設定値

ON

OFF

同期状態の確認

ON のときは、画面に表示されるアイコンで同期状態を確認できます。

アイコン	同期状態
	他の機器と同期しています。
	同期処理中、または他の機器と同期していません。

画質

画質の設定を変更できます。

トーンカーブ

トーンカーブを参考にしながら、ハイライト部やシャドウ部の調子をそれぞれ設定できます。硬くしたいときは「+」側に、軟らかくしたいときは「-」側に設定します。

設定	設定値
ハイライト	-2 ~ +4
シャドウ	-2 ~ +4

カラー

映像の色の濃さを設定します。映像の色を濃くしたいときは「+」側に、薄くしたいときは「-」側に設定します。

設定値
-4
-3
-2
-1
0
+1
+2
+3
+4

シャープネス

映像の輪郭をソフトにしたり、強調したりできます。輪郭を強調したいときは大きな数値に、ソフトにしたいときは小さな数値に設定します。

設定値
0
+1
+2
+3
+4
+5
+6
+7
+8

ノイズリダクション

高い解像感を優先するかノイズの少なさを優先するか、撮影者が重視するポイントによって、高感度における質感描写の調整ができます。よりノイズを低減してなめらかにしたいときは大きな数値に、映像の輪郭を残したいときは小さな数値に設定します。

設定値

0 | +1 | +2 | +3 | +4 | +5 | +6 | +7 | +8

フレーム間ノイズリダクション

AUTO にすると、撮影条件に応じて自動的にフレーム間のノイズを軽減します。

設定値

AUTO

OFF



カメラを動かした場合や動いている被写体を撮影した場合は、残像が出ることがあります。

モノクローム カラー

フィルムシミュレーションの **ACROS** または **モノクロ** で撮影したモノクロの色調を、赤みがかった温かみのある温黒調（ウォームトーン）や、青みがかった冷たさを感じる冷黒調（クールトーン）に調整できます。**WARM** から **COOL**、または **G**（緑）から **M**（マゼンタ）の2つの軸で調整できます。

設定	設定値
MC	-18 ~ +18
MG	-18 ~ +18

F-Log2/C D レンジ優先

動画のフォーマットが **GF** または **Premista** で、解像度が **4K17:9** または **4K16:9**、フレームレートが 30fps 以下の F-Log2 や F-Log2 C 撮影をするときにダイナミックレンジをより広くするかどうかを設定できます。オンにするとローリングシャッター現象が発生する場合があります。

設定値
ON
OFF

フォーカス

フォーカスの設定を変更できます。

AF モード

動画撮影時のピント合わせの方法を変更できます。

設定	説明
オートエリア	ピントを合わせるエリアをカメラが自動的に選びます。
トラッキング	被写体を自動で追尾します。
エリア選択	ピントを合わせるエリアを選べます。

フォーカスエリア選択

オートフォーカスのときのピント合わせのエリアを変更できます(図 80)。マニュアルフォーカスのときは、ピントを合わせる位置や拡大表示する位置を変更できます。

フォーカスポイント循環

フォーカスエリアを画面の一番端まで移動したときに、画面端で止まるか、反対側の端に回り込むかを設定できます。

設定	説明
ON	フォーカスエリアが画面の一番端に移動すると、反対側の端に回り込みます。
OFF	フォーカスエリアが画面端で止まります。

AF-C カスタム設定

オートフォーカスのピントの追従性を設定できます。

被写体保持特性

フォーカスエリアに距離差のある被写体以外のものが入ってきた場合、それまで追っていた被写体を保持するかどうかを決める特性です。設定値が大きいほどピントを合わせようとしている被写体を長く捉えようとします。

設定値				
0	1	2	3	4

- ① • 数値が大きいほど、意図しない被写体にピントが合ってしまうと、ピントを合わせたい被写体になかなか切り替わらない場合があります。
- 数値が小さいほど、フォーカスエリアに入ってきた意図しない被写体に切り替わる場合があります。

AF 速度

ピントを合わせる速度を設定できます。

設定値											
-5	-4	-3	-2	-1	0	+1	+2	+3	+4	+5	

被写体検出 AF 設定

あらかじめ設定した被写体をカメラが自動的に検出してピントを合わせます。

被写体検出 AF

被写体検出のオンとオフを切り替えることができます。

設定値

ON

OFF

被写体選択

検出する被写体の種類を設定できます。

設定	説明
人物	人物の顔を検出して追尾します。
動物	犬、猫を検出して追尾します。
鳥	鳥、昆虫を検出して追尾します。
クルマ	主にモータースポーツの車両や、車両のフロント部分を検出して追尾します。
バイク & 自転車	バイクや自転車のライダーを検出して追尾します。
飛行機	飛行機のコクピットや機首、ボディ、ドローンを検出して追尾します。
電車	鉄道車両の運転室や車両前面を検出して追尾します。



- フォーカスエリア内やフォーカスエリアの近くに被写体を検出すると、被写体の上に白い枠が表示されます。
- フォーカスエリア内に複数の被写体を検出した場合は、カメラが自動で被写体を選択します。
- LCD モニターをタッチしてフォーカスエリアを移動すると、ピントを合わせる被写体を変更できます。
- ピントを合わせた被写体が撮影画面から外れると、被写体が撮影画面に戻ることを一定時間待つため、被写体以外の場所に白い枠が残ることがあります。
- この設定はショートカット機能でも設定できます (図 180)。

AF + MF

ON にすると、オートフォーカスで撮影中にマニュアルフォーカスで撮影できます。**AF-ON** を割り当てたファンクションボタンを押すと解除できます。

設定値	
ON	
	OFF

ワンプッシュ時の AF 動作

マニュアルフォーカスのときの AF ロックまたは **AF-ON** を割り当てたファンクションボタンによるピント合わせの方法を変更できます。

設定	説明
AF-S	ボタンを押すと、オートフォーカスでピントを合わせます。
AF-C	ボタンを押している間、オートフォーカスでピントを合わせ続けます。

フォーカスリミッター

ピントを合わせる距離を制限して、ピントを合わせるスピードを速くします。

リミッター選択

フォーカスリミッターのオンまたはオフや、ピントを合わせる範囲を設定できます。

設定	説明
プリセット 2	5m から無限遠の範囲でピントを合わせて撮影します。
プリセット 1	2m から無限遠の範囲でピントを合わせて撮影します。
カスタム	設定した最短距離と最長距離の範囲でピントを合わせて撮影します。
OFF	フォーカスリミッターを使用しません。

カスタム設定

リミッター選択でカスタムを選んだときの最短距離と最長距離を設定できます。



- ピントを合わせる範囲を、使用するレンズの最短撮影距離よりも手前に設定した場合、フォーカスリミッターは無効になります。
- フォーカスリミッターで設定、表示される距離は、実際の距離と異なる場合があります。
- 撮影距離範囲切り替えスイッチがあるレンズを使用すると、カメラとレンズの両方の設定が有効になります。それぞれのピントを合わせる範囲が重なるように設定してください。
- 被写体検出 AF 設定**がオンのときはフォーカスリミッターはオフになります。



カスタム設定時は次の操作もできます。

- LCD モニターで 2 つの対象物をタッチして指定することもできます。
- 対象物を選びかわりにフォーカスリングを回して無限遠に合わせると、最長距離を無限遠に設定できます。

フォーカスチェック

マニュアルフォーカス時にフォーカスリングを回すと自動的に拡大表示され、ピントの確認がしやすくなります。

設定値

ON 低倍率

ON 高倍率

OFF



- ・フォーカスレバーを中央に押すと通常表示に戻ります。
- ・拡大表示する位置は、フォーカスエリア選択で変更できます。

フォーカスチェックロック

拡大表示中に動画撮影を開始したときに、拡大表示を維持したまま撮影するかどうかを設定できます。

設定値

ON

OFF

タッチパネルモード

LCD モニターのタッチ操作で、ピント合わせやフォーカスエリア選択ができるように設定できます。

タッチパネルモード	意味
AF	<ul style="list-style-type: none"> オートフォーカスのときは、タッチした被写体にピントを合わせ続けます。ピント合わせの動作を解除するには、AF OFF アイコンをタッチします。 マニュアルフォーカスのときは、ワンプッシュ AF の動作になり、タッチした場所にピントを合わせます。
エリア選択	フォーカスエリアに設定したい場所をタッチすると、タッチした場所にフォーカスエリアが移動し、ピントを合わせる位置や拡大表示の位置が変更できます。
OFF	タッチパネルモードを無効にします。

 エリア選択のときはタッチした場所にフォーカスエリアが移動しますが、ピントは合わせません。

オーディオ

音声に関する設定を変更できます。

内蔵マイク設定

内蔵マイクの音量を調節できます。

内蔵マイクレベル設定

設定	説明
AUTO	カメラが自動的にマイクレベルを調節します。
マニュアル	マイクレベルを手動で設定できます。
OFF	マイクレベルをオフにします。

マニュアル設定

内蔵マイクレベル設定をマニュアルにしたときのマイクレベルを 20 段階から設定できます。-30dB から +6dB の間で 1.5dB ステップで設定できます。

外部マイク設定

外部マイクの音量を調節できます。

外部マイクレベル設定

設定	説明
AUTO	カメラが自動的にマイクレベルを調節します。
マニュアル	マイクレベルを手動で設定できます。
OFF	マイクレベルをオフにします。

マニュアル設定

外部マイクレベル設定をマニュアルにしたときのマイクレベルを 20 段階から設定できます。-30dB から +6dB の間で 1.5dB ステップで設定できます。

マイク端子設定

マイク端子に取り付ける機器を設定できます。

設定	説明
マイク	外部マイクを直接取り付けるときに選びます。
ライン	ライン出力する外部音声機器を取り付けるときに選びます。

マイクレベルリミッター

マイクへの音声信号の過大入力による音割れを抑制します。

設定値	
ON	
	OFF

風音低減

風音によるノイズを低減するかどうかを設定できます。

設定値	
ON	
	OFF

ローカットフィルター

動画撮影時に低域ノイズをカットして録音します。

設定値	
ON	
OFF	

ヘッドホン音量

ヘッドホンの音量を設定します。

設定	説明
0	音量をオフに設定します。
1 ~ 10	音量を1~10に設定します。

XLRマイクアダプター設定

XLRマイクアダプターを使用しているときに、マイク入力チャンネルなどを設定できます。

マイク入力チャンネル

カメラの内蔵マイクも使用して4ch録音をするか、XLRマイクアダプターのマイクのみで2ch録音をするかを設定できます。

設定	説明
4ch XLR+ カメラ	カメラの内蔵マイクも使用して、4ch録音をします。
2ch XLRのみ	XLRマイクアダプターに取り付けられた外部マイクのみで2ch録音をします。

4ch 音声モニタリング

動画撮影中にヘッドホンなどでモニタリングする音声を設定できます。

設定	説明
XLR	XLR マイクアダプターに取り付けられた外部マイクの音声をモニタリングします。
カメラ	カメラの内蔵マイクの音声をモニタリングします。

SDI/HDMI4ch 音声出力

HDMI 端子に取り付けられた外部レコーダーに出力する音声を設定できます。

設定	説明
XLR	XLR マイクアダプターに取り付けられた外部マイクの音声を出力します。
カメラ	カメラの内蔵マイクの音声を出力します。



- カメラのマイク端子に外部マイクが取り付けられているときは、内蔵マイクの代わりに外部マイクの音声を使用します。
- 4ch 録音は動画のコンテナフォーマットが MOV のときのみ行えます。

タイムコード

タイムコードの設定を変更できます。

開始時間設定

タイムコード値を調整できます。



- **リセット** (スクリーンボタン 1) を押すと、00 時間 00 分 00 秒にタイムコードをリセットします。
- **現在時刻** (スクリーンボタン 3) を押すと、現在のカメラの時間 / 分 / 秒がタイムコードの開始時間になります。

カウントアップ設定

タイムコードのカウントを動画撮影中のみ行うか、常時カウントを行いうかを選べます。

設定	説明
レックラン	動画撮影中のみ、タイムコードのカウントを行います。
フリーラン	常時タイムコードのカウントを行います。

ドロップフレーム

ドロップフレームを行うかどうかを設定できます。

設定値
ON
OFF

SDI/HDMI タイムコード出力

SDI 端子や HDMI 端子に出力する映像にタイムコードを付加するかどうかを設定できます。

設定値
ON
OFF

タイムコード端子設定

TC IN/TC OUT 端子のインとアウトを切り替えることができます。

設定値	
TC-IN	TC-OUT

タイムコード同期設定

外部機器とタイムコードを同期するかどうかを設定できます。

設定	説明
カメラ内タイムコードを使用	外部機器とタイムコードを同期しません。
TC 端子機器で同期	TC IN/TC OUT 端子に接続された外部機器とタイムコードを同期します。
Bluetooth 機器で同期	Bluetooth で接続された外部機器とタイムコードを同期します。ペアリングしている Bluetooth 機器がないときは、ペアリング（スクリーンボタン6）を押すと、ペアリング登録の画面が表示されます。
USB 機器で同期	USB 端子に接続された外部機器とタイムコードを同期します。

モニター

画面表示の設定を変更できます。

SDI/HDMI 出力設定

SDI OUT 端子や HDMI OUT 端子に出力する映像の設定ができます。

SDI 出力

SDI OUT 端子に映像を出力するかどうかを設定できます。

設定値

ON

OFF

SDI レックコントロール

REC ボタンと連動して動画の開始 / 停止制御信号を SDI OUT 端子から出力するかどうかを設定できます。

設定値

ON

OFF

HDMI 出力

HDMI OUT 端子に映像を出力するかどうかを設定できます。

設定値

ON

OFF

HDMI レックコントロール

REC ボタンと連動して動画の開始 / 停止制御信号を HDMI OUT 端子から出力するかどうかを設定できます。

設定値	
ON	
OFF	

SDI/HDMI 出力情報表示

LCD モニターに表示されている情報表示を SDI OUT 端子や HDMI OUT 端子に出力するかどうかを設定できます。

設定値	
ON	
OFF	

SDI/HDMI 出力解像度

SDI OUT 端子や HDMI OUT 端子に出力する映像の解像度を設定できます。

設定値			
8K	4K	4K DCI	FHD



- 再生メニューの **SDI/HDMI 設定** > **SDI/HDMI 出力解像度** と共に設定です。
- プロジェクト > 解像度が 8K で、プロジェクトのメディア記録設定 > 記録先メディアが **SDI/HDMI 出力** のみのときは、8K、4K、4K DCI、FHD が選べます。
- プロジェクト > 解像度が 4K のときは、4K、4K DCI、FHD が選べます。

SDI/HDMI 出力 FPS

SDI OUT 端子や HDMI OUT 端子に出力する映像のフレームレートを設定できます。

設定値
プロジェクト FPS
撮影 FPS

ウェーブフォーム / ベクトルスコープ

動画撮影時に色信号や輝度信号を表示できます。

ウェーブフォーム

ウェーブフォームを表示します。

パレード

RGB パレードを表示します。

ベクトルスコープ

ベクトルスコープを表示します。

RGB ヒストグラム

RGB ヒストグラムを表示します。

ヒストグラム

ヒストグラムを表示します。

OFF

ウェーブフォーム、パレード、ベクトルスコープ、ヒストグラムを表示しません。



表示設定 (スクリーンボタン 6) を押すと、それぞれの表示のパターンを変更できます。パレードを選んでいるときは、**表示設定** (スクリーンボタン 6) を押してから、さらに**カラー / モノクロ** (スクリーンボタン 6) を押すと、表示をカラーにするかグレーにするかを選べます。

フォーカスピーキング

マニュアルフォーカスのときにコントラストの高い輪郭部分を強調して表示できます。ピントが合っているかどうかを確認できます。

表示設定

輪郭部分を表示する色とピーキングレベルの組み合わせを選べます。

設定値				
ホワイト（弱）	ホワイト（強）	レッド（弱）	レッド（強）	ブルー（弱）
ブルー（強）	イエロー（弱）	イエロー（強）	OFF	

フォーカスリング運動

ON にすると、マニュアルフォーカス時にフォーカスリングを回したときのみ表示設定で設定した表示が表示されます。

設定値	
ON	OFF

ゼブラ設定

白とびが発生しそうな高輝度部分を縞状のパターン（ゼブラ）で表示するかどうかを設定できます。

表示設定

ゼブラを表示するかどうかを設定できます。

設定値		
ゼブラ右	ゼebra左	OFF

ゼブラレベル

ゼebraの輝度を設定できます。

設定値										
50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	100

フレーミングガイド

撮影時のフレーミングガイドの設定ができます。

フレーミングガイド表示

フレーミングガイドを表示するかどうかを設定できます。

設定値	
ON	OFF

フレーム 1 設定、フレーム 2 設定、フレーム 3 設定

3 種類の見た目のフレームをそれぞれ設定できます。

フレーム 1 表示、フレーム 2 表示、フレーム 3 表示

フレームを表示するかどうかを設定できます。

設定値	
ON	
OFF	

アスペクト比

フレームのアスペクト比を設定できます。

設定値				
カスタム	2.39:1	17:9	16:9	
5:4	4:3	3:2	1:1	

カスタムアスペクト比

フレームのアスペクト比をカスタマイズできます。

スケーリング

フレームの倍率を変更できます。1%から 100%の間で 1%ステップで設定できます。

カラー

フレームの色を設定できます。

設定値				
ブラック	ホワイト	イエロー	マゼンタ	シアン

線幅

フレームの線の太さを設定できます。

設定値				
1 (細)	2	3	4 (太)	

マスク設定

撮影されないエリアの表示方法を設定できます。

マスク表示

撮影されないエリアをマスク表示するかどうかを設定できます。

設定値	
ON	
	OFF

マスクフレーム選択

マスク表示の種類を選べます。

設定値		
フレーム 1		フレーム 2
		フレーム 3

マスク透過度

マスク表示の透過度を設定できます。10%から100%の間で10%ステップで設定できます。

センターマーカー設定

センターマーカーの設定ができます。

センターマーカー表示

センターマーカーを表示するかどうかを設定できます。

設定値

ON

OFF

マーカーパターン

センターマーカーの種類を設定できます。

設定値

パターン 1

パターン 2

パターン 3

パターン 4

カラー

センターマーカーの色を設定できます。

設定値

ブラック

ホワイト

イエロー

マゼンタ

シアン

線幅

センターマーカーの線の太さを設定できます。

設定値

1 (細)

2

3

4 (太)

電子水準器設定

撮影時の電子水準器の表示を設定できます。

設定	説明
2D	水平方向の傾きを白い線で表示します。カメラが水平になると、線が緑色で表示されます。カメラのレンズ面を上下に向けたときは、表示が消えることがあります。
3D	水平方向と垂直方向の傾きを表示します。
OFF	電子水準器を表示しません。

REC 枠表示

ON にすると、動画の撮影中であることを示す赤い枠を画面に表示します。

設定値	
ON	
	OFF

画面のカスタマイズ

撮影時に LCD モニターに表示する項目を選べます。

選べる項目は次のとおりです。

- AF 時のフォーカスフレーム
- MF 時のフォーカスフレーム
- AF 時の距離指標
- MF 時の距離指標
- フォーカスモード
- 合焦マーク
- 測光
- シャッター
- IRIS(絞り)
- 露出補正
- ISO
- ND
- ホワイトバランス
- 動画フォーマット
- 動画サイズ
- プロジェクト FPS
- 撮影 FPS
- ファイル形式
- メディア記録形式 & 動画圧縮形式
- クロップ倍率
- Look メディア
- Look LCD
- Look SDI/HDMI
- クリップ & リール
- カメラ状態
- 録画時間
- Genlock
- タイムコード
- 冷却ファン
- ブレ防止モード
- セルフタイマー
- マイクレベル
- Bluetooth 接続状態
- 無線 / 有線ネットワーク接続状態
- リモート録画機能接続状態
- Frame.io 接続状態
- 画像転送状況
- メディア記録時間
- 内部電池残量
- 外部電源情報
- タッチ AF-OFF ボタン
- 電動ズームゲージ
- ガイダンスメッセージ

距離指標の単位

表示される距離指標の単位を変更できます。

設定	説明
メートル	距離指標の単位をメートル (m) に設定します。
フィート	距離指標の単位をフィート (ft.) に設定します。

LCD モニター表示反転設定

LCD モニターの表示を上下左右に反転することができます。

設定	説明
通常表示	反転表示をしません。
反転表示 1	上下と左右の両方を反転して表示します。
反転表示 2	左右を反転して表示します。
反転表示 3	上下を反転して表示します。

ユーザーボタン

カメラのボタンやダイヤルに関する設定を変更できます。

ファンクション (Fn) 設定

ファンクションボタンに割り当てる機能を設定できます (図 181)。

レンズズーム / フォーカス設定

フォーカス操作やズーム操作の設定ができます。

フォーカスリング操作

フォーカスリングを操作したときのピントの移動について設定できます。

設定	説明
リニア	回転量に対してリニアにピント移動します。
ノンリニア	リング操作の回転速度に応じて、移動量可変でピント移動します。

フォーカスリング回転方向

マニュアルフォーカスのときに遠距離側にピントを合わせる場合の、フォーカスリングの回転方向を変更できます。

設定	説明
⌚ 時計回り	フォーカスリングの回転方向を ⌚ 時計回りに設定します。
⌚ 反時計回り	フォーカスリングの回転方向を ⌚ 反時計回りに設定します。

ズームリング回転方向

対応する電動ズームレンズのズームリングを操作するときの、ズームリングの回転方向を変更できます。

設定	説明
⌚ 時計回り	ズームリングの回転方向を ⌚ 時計回りに設定します。
⌚ 反時計回り	ズームリングの回転方向を ⌚ 反時計回りに設定します。

定速フォーカス (Fn) 速度

ファンクションボタンでマニュアルフォーカス撮影をするときの、ピントの変化速度を設定できます。数値が大きいほど変化する速度は速くなります。

設定値							
1(遅)	2	3	4	5	6	7	8(速)

定速ズーム (Fn) 速度

対応する電動ズームレンズ使用時に、ファンクションボタンでズーム操作をするときの動作速度を設定できます。数値が大きいほど速くなります。

設定値							
1(遅)	2	3	4	5	6	7	8(速)

定速ズーム / フォーカス (Fn) 操作

対応する電動ズームレンズ使用時に、ファンクションボタンで定速フォーカスや定速ズーム操作をするときの動作を設定できます。

設定	説明
スタート/ストップ	ファンクションボタンを押すとフォーカスやズームを行い、もう一度押すと止まります。
押下中のみ	ファンクションボタンを押している間、フォーカスやズームを行います。

フォーカスレバー設定

フォーカスレバーの設定を変更できます。

設定	説明
OFF (ロック)	撮影中はフォーカスレバーは使用できません。
◎ ボタンで ON	フォーカスレバーの中央を押すとフォーカスエリア選択画面が表示され、フォーカスレバーでフォーカスエリアを選択できます。
ON	フォーカスレバーを動かすとフォーカスエリア選択画面が表示され、フォーカスレバーでフォーカスエリアを選択できます。

タッチパネル設定

LCD モニターや側面モニターをタッチパネルとして使用するときの設定ができます。

撮影時タッチパネル (LCD)

撮影時に LCD モニターをタッチパネルとして使用するかどうかを設定できます。

設定値
ON
OFF

撮影時ダブルタップ拡大 (LCD)

撮影時に LCD モニターを 2 回タッチすると、映像を拡大できます。拡大する倍率を設定できます。

設定値
ON 高倍率
ON 低倍率
OFF

再生時タッチパネル (LCD)

再生時に LCD モニターをタッチパネルとして使用するかどうかを設定できます。

設定値	
ON	
	OFF

側面モニター

ON になると、側面モニターをタッチパネルとしてパスワードなどを入力できます (図 12)。

設定値	
ON	
	OFF

ネットワーク

外部機器との接続の設定を変更できます。

無線 LAN 設定

カメラを無線 LAN のネットワークに接続できます (図 99)。

有線 LAN 設定

カメラを LAN ケーブルでネットワークに接続できます (図 102)。

IP アドレス設定

カメラの IP アドレスをネットワークから取得するか、手動で設定するかを選べます。

設定値

自動

手動

手動 IP アドレス設定

IP アドレス設定を手動にしたときの IP アドレスなどの設定ができます。

サブメニュー

IP アドレス

サブネットマスク

ゲートウェイ

DNS サーバー

Frame.io Camera to Cloud

接続する

接続する

Frame.io プロジェクトに接続できます。

切断する

Frame.io プロジェクトとのペアリングをしたまま、接続を解除できます。

接続コードを取得

Frame.io プロジェクトにペアリングするための接続コードを確認できます。

プロジェクトを離脱

Frame.io プロジェクトとのペアリングを解除できます。

ファイル形式選択

転送するファイル形式を選択できます。ファイル形式ごとに ON と OFF を設定できます。

サブメニュー

MOV/MXF -
PROXY

MOV/MXF -
ProRes

MOV/MXF -
OTHER

JPEG

アップロード設定

Frame.io でファイルを転送するときの設定ができます。

撮影時 自動画像転送

ON にすると、撮影したファイルを自動的に転送予約します。

設定値	
ON	
	OFF

転送 / 一時停止

Frame.io への転送を一時停止したり、再開したりすることができます。

設定値	
転送	
	一時停止

電源 OFF 中の画像転送

ON にすると、カメラの電源をオフにしたときにファイルを Frame.io に転送します。

設定値	
ON	
	OFF

ルート証明書

Frame.io への接続に必要なルート証明書をカメラに設定できます。

サブメニュー	説明
読み込	メモリーカード内にあるルート証明書を読み込んで設定できます。
削除	設定されているルート証明書を削除できます。

アップロード状況

Frame.io へのファイルの転送状況を確認できます。

転送予約リスト

転送待ちのファイルを確認できます。

転送予約リセット

Frame.io へのすべての転送予約を解除できます。

機能紹介

Frame.io Camera to Cloud の機能を紹介する画面を確認できます。

リモート録画機能

パソコン用コンピューターやタブレットからカメラに接続して、リモート録画を行うための設定ができます。

機能の使用

リモート録画機能を使用するかどうかを設定できます。

設定値

使用する

使用しない

ユーザー名

カメラに接続するためのユーザー名を登録できます。

パスワード

カメラに接続するためのパスワードを登録できます。

サーバータイプ

カメラに接続するときのサーバータイプを設定できます。

設定値

HTTP

HTTPS

 **HTTPS** を選ぶと、パソコン用コンピューターやタブレットのブラウザーにルート証明書をインポートする必要があります (図 106)。

QR コード

カメラに接続するための QR コードを表示できます。

Bluetooth 設定

Bluetooth 機器と接続するときの設定ができます。

ATOMOS AirGlu BT と接続

ATOMOS AirGlu BT とカメラをペアリングしたり、ペアリングを解除したりできます。

サブメニュー

ペアリング登録

ペアリング削除

その他のデバイスと接続

Bluetooth 機器とカメラをペアリングしたり、ペアリングを解除したりできます。

サブメニュー

ペアリング登録

ペアリング削除

Bluetooth ON/OFF

ON にすると、ペアリング登録した Bluetooth 機器と自動的に接続します。

設定値

ON

OFF

カメラ名

Bluetooth 接続で使用するカメラの名前を変更できます。工場出荷時は、カメラ固有の名前になっています。

エラー情報

画面に  が表示されたときにエラーの内容を確認できます (図 232)。

ハードウェア情報

カメラの無線 LAN および有線 LAN の MAC アドレスおよび IP アドレス、Bluetooth の MAC アドレスを確認することができます。

ネットワーク設定初期化

ネットワークを工場出荷時の設定にすることができます。

 2 つの初期化 (スクリーンボタン 4 とスクリーンボタン 6) を同時に押して初期化します。

セットアップ

カメラの設定を変更できます。

言語/LANG.

メニューなどを表示する言語を設定できます。

日時設定

日付や時刻の設定ができます。

ホームエリア

世界地図からお住まいの地域を選択できます。

 **ON/OFF** (スクリーンボタン 6) を押すと、サマータイムのオンとオフを切り替えることができます。

日時

日付と時刻を設定できます。

世界時計

旅行先で、簡単にカメラの時計を現地時間に合わせることができます。

設定	説明
ホーム	現在設定されている日時を表示します。
現地	旅行先の日時を表示します。

 **現地**を選ぶときは、あらかじめ**現地エリア**でお住まいの地域を設定してください。

現地エリア

世界地図から旅行先の地域を選択できます。

ネットワーク設定以外を初期化

ネットワークの内容以外とホワイトバランスのカスタムの内容以外の設定を工場出荷時の設定にすることができます。

 2つの初期化（スクリーンボタン4とスクリーンボタン6）を同時に押して初期化します。

フォーマット

メモリーカードやUSB接続したSSDを選んで初期化できます。

サブメニュー

スロット1

スロット2

SSD

 初期化するメディアを選んでから、2つのフォーマット（スクリーンボタン4とスクリーンボタン6）を同時に押して初期化します。

メンテナンス

センサーのメンテナンスや同梱バッテリーの状態の確認ができます。

ピクセルマッピング

撮影した動画の輝点が気になってきたときなどに実行すると、輝点が軽減されます。



- 実行しても、思うように軽減されないことがあります。
- 十分に充電されたバッテリーをご使用ください。
- カメラの温度が高いときはピクセルマッピングは実行できません。
- 処理には数十秒程度かかることがあります。

センサークリーニング

センサーのほこりなどをふるい落とすことができます。

設定	説明
今すぐ実行	すぐにセンサークリーニングを実行します。
実行タイミング	カメラの電源をオンにしたときやオフにしたときにセンサークリーニングを実行するように設定できます。



- センサークリーニングを実行してもセンサーのほこりを完全にふるい落とすことはできません。
- ほこりが取れない場合は富士フィルムデジタルカメラサポートセンターにご相談ください。

バッテリー劣化度

同梱バッテリーの劣化状態をチェックできます。同梱バッテリーの劣化状態を0~4の目盛りの位置で表示します。数値が大きいほど同梱バッテリーの劣化が進んでいることを示します。



- 同梱バッテリーが劣化すると、同梱バッテリーの消耗が早くなります。新しいバッテリーをお買い求めいただくことをおすすめします。

冷却ファン設定

カメラの冷却ファンの設定ができます。

ファンモード

冷却ファンの動作を設定できます。

設定	説明
AUTO1	カメラの温度が上昇したとき、自動的に低速でファンが動作します。
AUTO2	カメラの温度が上昇したとき、自動的に低速から高速の順にファンが動作します。動作音が大きくなり、動画に記録されることがあります。
低速	低速でファンが動作します。
高速	高速でファンが動作します。動作音が大きくなり、動画に記録されることがあります。

高速ファン設定

ファンが高速で動作するときのファンの速度を設定できます。

低速ファン設定

ファンが低速で動作するときのファンの速度を設定できます。

REC 時ファン設定

動画撮影を始めたときに冷却ファンの動作を止めるかどうかを設定できます。

設定値	
継続	
	停止

 停止を選ぶと、撮影待機中はファンが自動的に高速で動作します。

電力設定

カメラの電源についての設定ができます。

V バッテリー残量警告 (%)

V マウントバッテリーの残量警告を表示するバッテリー残量を設定できます。0%から100%の間で1%ステップで設定できます。

 バッテリー残量が%表示されるバッテリーのときはのみ有効です。

V バッテリー残量警告 (V)

V マウントバッテリーの残量警告を表示するバッテリー電圧を設定できます。11.5Vから17.0Vの間で0.1Vステップで設定できます。

 バッテリー残量が%表示されるバッテリーのときは無効です。

LED・音設定

タリーライト設定

動画撮影中に **REC** ボタンを点灯させるかどうかの設定ができます。**ON** になると点灯します。

サブメニュー	説明
前面 LED	正面の REC ボタンを点灯させるかどうかを設定できます。
側面 LED	側面の REC ボタンを点灯させるかどうかを設定できます。

REC 開始終了音

動画撮影を開始するときと終了するときの音量を設定します。

設定	説明
■ ↑	音量「大」に設定します。
■ ↑↓	音量「中」に設定します。
■ ↓	音量「小」に設定します。
■ OFF	消音に設定します。

LCD 設定

LCD モニターや側面モニターの表示の設定ができます。

LCD モニター明るさ

LCD モニターの明るさを調整できます。

設定値											
-5	-4	-3	-2	-1	0	+1	+2	+3	+4	+5	

LCD モニター鮮やかさ

LCD モニターの鮮やかさを調整できます。

設定値											
-5	-4	-3	-2	-1	0	+1	+2	+3	+4	+5	

LCD モニター色調整

LCD モニターの色調を調整できます。R と B の 2 つの軸で調整できます。

設定値											
-5	-4	-3	-2	-1	0	+1	+2	+3	+4	+5	

側面モニター明るさ

側面モニターの明るさを調整できます。

設定値											
-5	-4	-3	-2	-1	0	+1	+2	+3	+4	+5	

側面モニター背景色

側面モニターの背景色を変えることができます。

設定値											
ライト						ダーク					

ファームウェアアップデート

ファームウェアのアップデートができます（図223）。

ボディ

カメラ本体のファームウェアのアップデートができます。

レンズ

カメラに取り付けたレンズのファームウェアのアップデートができます。

LCDモニター

LCDモニターのファームウェアのアップデートができます。

マウントアダプタ

マウントアダプターのファームウェアのアップデートができます。

認証

セットアップ>認証を選ぶと、製品型番などの認証情報が電子形式で表示されます。

8 ショートカット機能

ショートカット機能について

用途や場面に合わせてショートカット機能を使い分けると便利です。

このカメラでは、ファンクションボタンやスクリーンボタンに機能を割り当てて呼び出すことができます。

ショートカット機能	内容	図
ファンクション機能	あらかじめ割り当てられている機能のファンクションボタンを押すと、ダイレクトで割り当てた機能を呼び出すことができます。	181
USER 機能	USER ボタンを押してからスクリーンボタンを押して、あらかじめ割り当てられている機能を呼び出すことができます。	187

ファンクション機能

ファンクションボタンにそれぞれ機能を1つ割り当てられます。

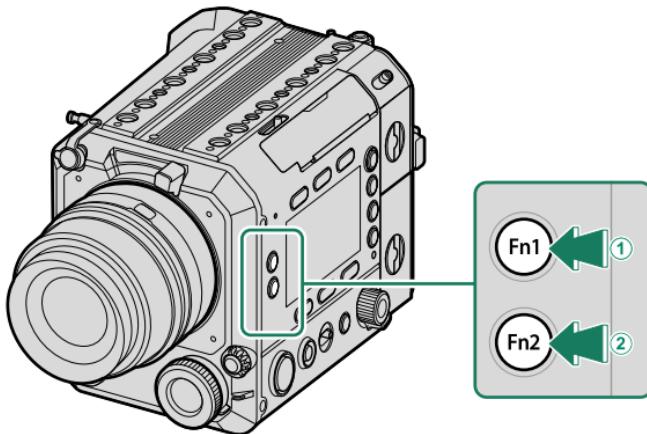
ファンクションボタン

ファンクションボタンを押すだけで機能を切り替えたり、設定画面を呼び出したりできます。

ファンクションボタンの工場出荷時設定

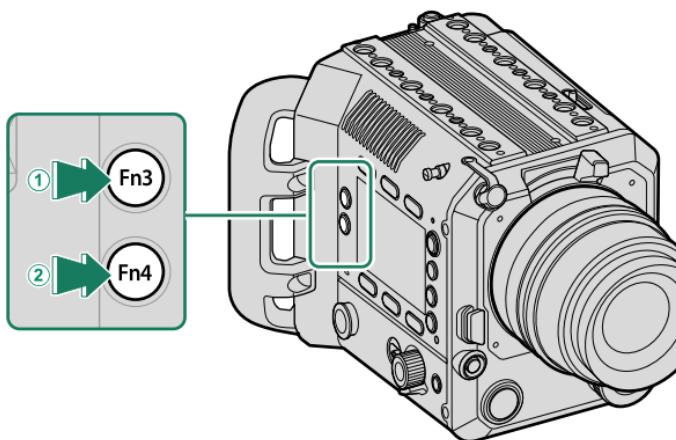
工場出荷時に割り当てられている機能とボタンの位置は次のとおりです。

カメララインサイドのファンクションボタン



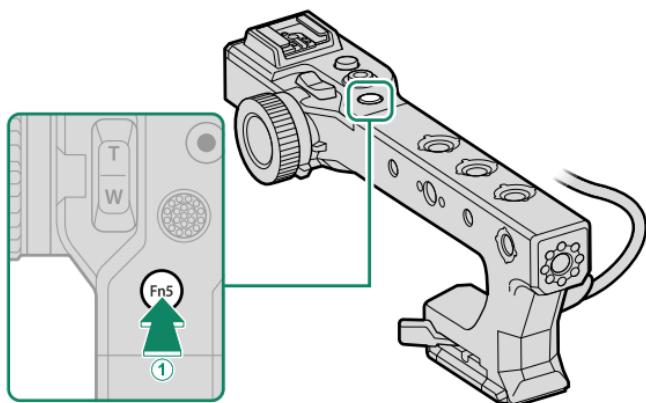
ファンクションボタン	割り当てられている機能
① Fn1 ボタン	ND ON/CLEAR
② Fn2 ボタン	SDI/HDMI 出力情報表示

カメラアウトサイドのファンクションボタン



ファンクションボタン	割り当てられている機能
① Fn3 ボタン	ND ON/CLEAR
② Fn4 ボタン	SDI/HDMI 出力情報表示

ハンドルのファンクションボタン



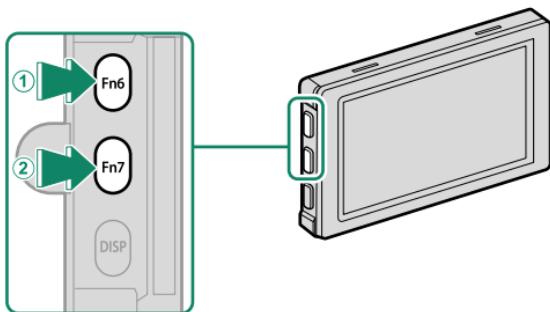
ファンクションボタン

① Fn5 ボタン

割り当てられている機能

AF-ON

LCD モニターのファンクションボタン



ファンクションボタン	割り当てられている機能
① Fn6 ボタン	ウェーブフォーム / ベクトルスコープ
② Fn7 ボタン	ピーキング

ファンクションボタンの割り当て変更

ファンクションボタンの割り当ては、**ユーザーボタン** > **ファンクション (Fn)** 設定で設定できます。割り当てられる機能は次のとおりです。

- ND ON/CLEAR
- LOOK 設定 A/C 切替
- AWB LOCK 押下切替
- AWB LOCK 押下中のみ
- 絞り値 +
- 絞り値 - (開放)
- 絞り Auto
- 露出補正 +1/4
- 露出補正 -1/4
- 測光
- ブレ防止モード
- ブレ防止モードブースト
- セルフタイマー
- フォーカスエリア選択
- フォーカスチェック 低倍率
- フォーカスチェック 高倍率
- フォーカスチェック 低倍率 / 高倍率
- AF モード
- 被写体検出 ON/OFF
- フォーカスリミッター
- フォーカスチェックロック
- AF LOCK 押下切替
- AF LOCK 押下中のみ
- AF-ON
- 内蔵 / 外部マイクレベル設定
- 4ch 音声再生
- SDI/HDMI 出力情報表示
- ウェーブフォーム / ベクトルスコープ
- ピーキング
- ゼブラ設定
- フレーミングガイド
- 電子水準器切替
- LCD 表示反転
- 定速ズーム (T)
- 定速ズーム (W)
- **MF** 定速フォーカス (N)
- **MF** 定速フォーカス (F)
- Bluetooth ON/OFF
- 冷却ファン設定
- LCD 明るさ
- 再生モード
- なし



なしを選ぶと、ファンクションボタンの割り当てはなくなります。

ファンクションボタンによるAFロック

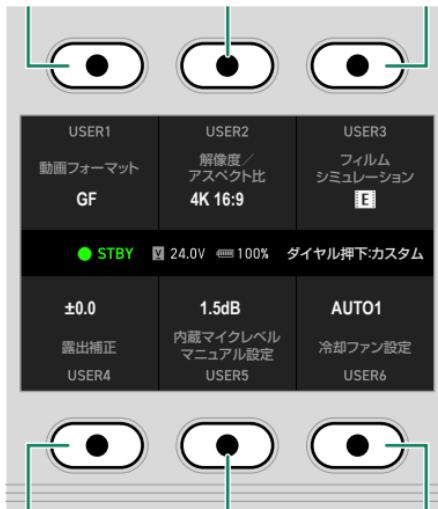
ファンクションボタンでオートフォーカス撮影時にピントを固定（AFロック）したり、ピント合わせを行ったりできます。

- **AF LOCK 押下切替**を割り当てたファンクションボタンを押すとピントを固定できます。もう一度押すとピントの固定を解除できます。
- **AF LOCK 押下中のみ**を割り当てたファンクションボタンを押すと、ボタンを押している間ピントを固定できます。ボタンから指を離すとピントの固定を解除できます。
- **AF-ON**を割り当てたファンクションボタンを押すと再度ピント合わせを行います。

USER 機能

撮影時に **USER** ボタンを押したときの、スクリーンボタンの機能を設定できます。

スクリーンボタン1 スクリーンボタン2 スクリーンボタン3



スクリーンボタン4 スクリーンボタン5 スクリーンボタン6

スクリーンボタン	割り当てられている機能
スクリーンボタン1	動画フォーマット
スクリーンボタン2	解像度／アスペクト比
スクリーンボタン3	フィルム シミュレーション
スクリーンボタン4	露出補正
スクリーンボタン5	内蔵 / 外部マイクレベル マニュアル設定
スクリーンボタン6	冷却ファン設定

スクリーンボタンの割り当て変更

USER 画面でセレクターダイヤルの中央を押すと、それぞれのスクリーンボタンに割り当てられている機能を変更できます。割り当てられる機能は次のとおりです。

- 動画フォーマット
- 解像度 / アスペクト比
- プロジェクト FPS
- ビットレート
- フィルム シミュレーション
- 絞り
- 露出補正
- 測光
- セルフタイマー
- ブレ防止モード
- ブレ防止モードブースト
- トーンカーブ
- カラー
- シャープネス
- ノイズリダクション
- 被写体検出 AF 設定
- タッチパネルモード
- 内蔵 / 外部マイクレベル設定
- 内蔵 / 外部マイクレベル マニュアル設定
- ウエーブフォーム / ベクトルスコープ
- フォーカスピーキング
- 冷却ファン設定
- LCD 明るさ
- LCD 鮮やかさ
- なし

 なしを選ぶと、スクリーンボタンの割り当てはなくなります。

9

オプション品・外部機器

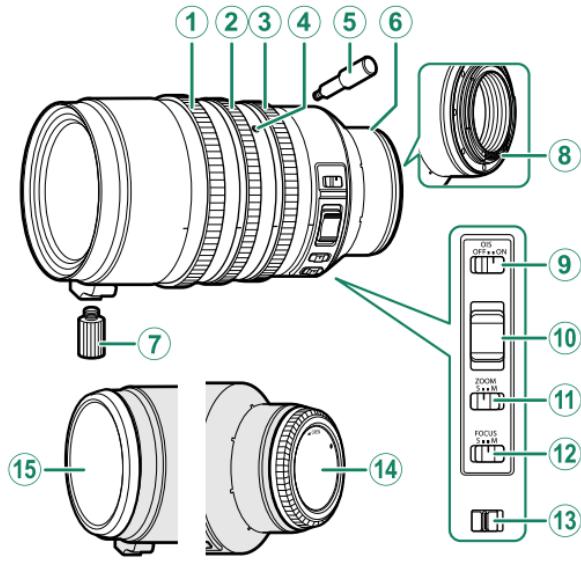
交換レンズ

このカメラでは、富士フイルム製のFUJIFILM Gマウント対応の交換レンズが使用できます。

 交換レンズの使用方法はレンズの説明書をご覧ください。

レンズの各部名称

GF32-90mmT3.5 PZ OIS WR の例



① フォーカスリング

② ズームリング

③ 絞り（アイリス）リング

④ ズームレバー取り付け穴

⑤ ズームレバー

⑥ 取り付け指標

⑦ サポートフット

⑧ レンズ信号接点

⑨ OIS スイッチ

⑩ ズームレバー

⑪ ズームモードスイッチ

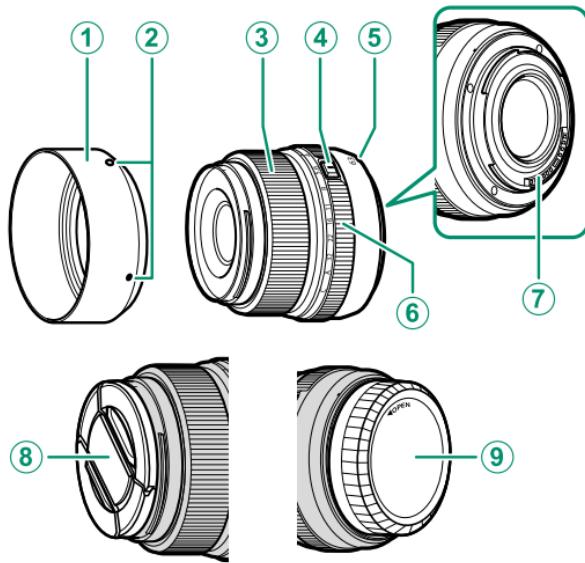
⑫ フォーカスモードスイッチ

⑬ 絞り（アイリス）リングロックスイッチ

⑭ レンズリアキャップ

⑮ レンズフロントキャップ

GF63mmF2.8 R WR の例



- ① レンズフード
- ② 取り付け指標
- ③ フォーカスリング
- ④ 絞りリングロック解除ボタン
- ⑤ 取り付け指標（焦点距離）

- ⑥ 絞りリング
- ⑦ レンズ信号接点
- ⑧ レンズフロントキャップ
- ⑨ レンズリアキャップ

PL マウントアダプター

PL マウントアダプターのシム交換

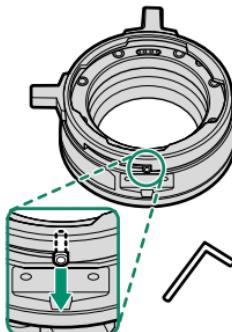
使用するレンズに適したシムに交換できます。

! シムは手で触れないようにしてください。

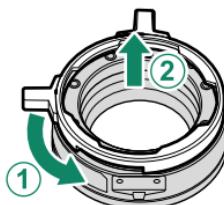
-
- 以下の厚みのシムが同梱されています。
0.01 mm / 0.025 mm / 0.038 mm / 0.05 mm / 0.075 mm / 0.125 mm
PL マウントアダプターには、工場出荷時に厚み 0.1 mm のシムが組み込まれています。
 - 以下の寸法の六角レンチが同梱されています。
1.5 mm / 2 mm / 3 mm

1 バヨネットリングを取り外します。

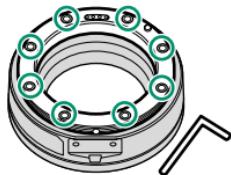
ストッパーのネジを付属の六角レンチ (1.5 mm) を使用して取り外します。



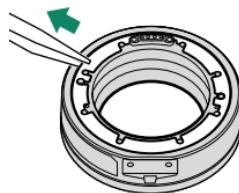
2 バヨネットリングを反時計回りに回して (①)、取り外します (②)。



- 3** ネジ 8 力所を付属の六角レンチ (2 mm) を使用して取り外します。

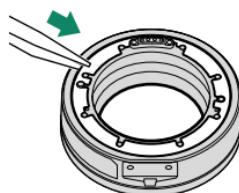


- 4** レンズマウントを取り外しシムをピンセットで取り除きます。



- 5** 使用するレンズに適応したシムを選んでピンセットで取り付けます。

取り付けるシムの順番は、厚さが薄いシムから順に取り付け、最後に厚いシムを取り付けます。



- 6** レンズマウントを取り付けます。

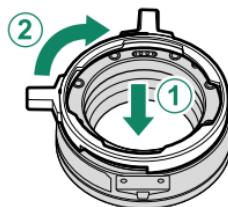
8 力所のネジを付属の六角レンチ (2 mm) を使用して図のように対角で順番に取り付けます。8 力所のネジは少し緩めに締めてください。



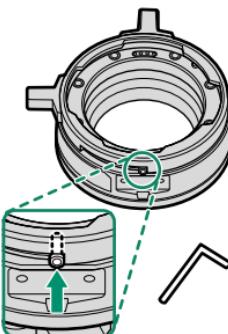
7 8 力所のネジを手順 6 の順番に増し締めします。

付属の六角レンチ (2mm) で締めてください。トルクレンチを使用する場合は、トルクを 0.36N・m に設定してください。

8 バヨネットリングを PL マウントアダプターに取り付け (①)、止まるまで時計回りに回します (②)。



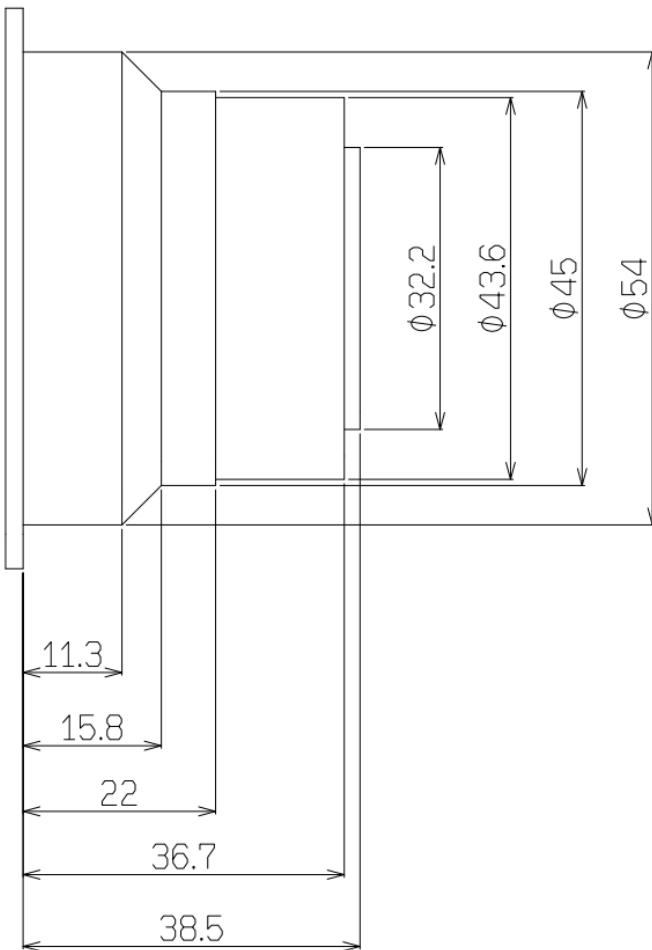
9 スッパーネジ穴が見える位置まで半分ほど反時計周りに回し、スッパーのネジを付属の六角レンチ (1.5 mm) で取り付けます。



PL マウントレンズの最大寸法

PL マウントレンズを使用する場合、ケガおよびカメラやレンズの損傷を防ぐため、次の寸法を超えないレンズのみを使用してください。

unit : mm



外部機器との接続

カメラ本体の端子に外部機器を接続できます。

 レンズ接続用 12 ピン端子、SDI OUT 端子、HDMI OUT 端子、DC OUT 12V 端子は、カメラの電源が AC パワーアダプターまたは V マウントバッテリーのときのみ出力します。同梱バッテリーのときは出力されません。

レンズ接続用 12 ピン端子

12 ピン端子があるレンズと接続してレンズサーボの電源供給ができます。

SDI OUT 端子 (BNC 型)

モニターの **SDI/HDMI 出力設定** > **SDI 出力を ON** にすると映像を出力できます。 **SDI/HDMI 出力設定** で解像度や画面表示、制御信号のオンとオフの設定ができます。

HDMI OUT 端子 (Type A)

モニターの **SDI/HDMI 出力設定** > **HDMI 出力を ON** にすると映像を出力できます。 **SDI/HDMI 出力設定** で解像度や画面表示、制御信号のオンとオフの設定ができます。

TC IN/TC OUT 端子 (BNC 型)

外部機器が出力するタイムコードの同期信号を入力したり、同期信号を出力したりできます。 **タイムコード** > **タイムコード端子設定** で設定を切り替えることができます。

LAN 端子

LAN ケーブルを接続する端子です (図 102)。

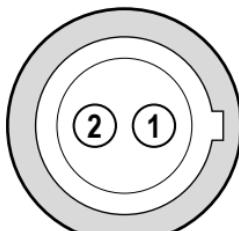
Genlock 端子 (BNC 型)

レコーディング > GENLOCK を ON にすると外部機器と映像の位相を合わせることができます。

DC OUT 12V 端子

カメラの電源がオンのときに、12V の DC 電源を出力します。コネクタ形状やピン端子の配置は図のとおりです。

- ① Ground
- ② 12V



図：コネクタの前面



- 定格出力は 12V、3A です。定格出力を超えた場合は出力を停止します。
- FGG.0B.302.CLAD35Z が接続できます。
- 機器の接続や取り外しを行う前にカメラの電源をオフにしてください。電源がオンのまま行うとカメラの動作が停止する場合があります。
- 端子同士や端子とカメラの外装をショートさせたり、端子に電圧をかけないでください。カメラを破損するおそれがあります。



- DC OUT 12V 端子に機器を接続すると、V マウントバッテリーの消費が早くなります。
- DC OUT 12V 端子を使用するときは、AC パワーアダプターまたは定格出力 10A 以上の V マウントバッテリーを使用することをおすすめします。

Vマウントバッテリー

市販のVマウントバッテリーを使用すると、ACパワーアダプターのかわりにカメラに給電したり、同梱バッテリーを充電したりできます。

 Vマウントバッテリーで同梱バッテリーを充電しながら撮影すると、Vマウントバッテリーの消費が早くなります。

使用できるVマウントバッテリー

このカメラでは次の仕様のVマウントバッテリーが使用できます。

- 入力電圧範囲：11.0～17.0V

 Vマウントバッテリーの寸法によっては、カメラに取り付けているケーブルなどと干渉する場合があります。あらかじめ干渉しないことを確認してから使用してください。

 DC OUT 12V端子を使用するときは、定格出力10A以上のVマウントバッテリーまたはACパワーアダプターを使用することをおすすめします。

Vマウントバッテリーを取り付ける

VマウントバッテリーをVマウントバッテリー取り付け部に上から差し込みます。Vマウントバッテリー取り外しボタンが出るまで下にスライドさせてください。

Vマウントバッテリーを取り出すときは

Vマウントバッテリー取り外しボタンを押しながらVマウントバッテリーを上にスライドさせて取り外してください。



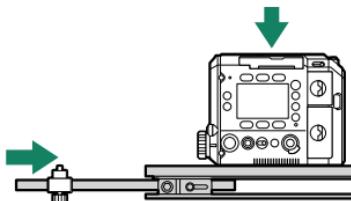
- カメラの電源がオンのときにACパワーアダプターやVマウントバッテリーを取り外して同梱バッテリーのみになった場合、画面表示や端子の出力がオフになり、カメラの電源をオフにする以外の操作ができません。ACパワーアダプターやVマウントバッテリーを再度取り付けると元に戻ります。
動画記録中に取り外した場合、その時点で動画記録を停止します。
- 同梱バッテリーの残量が少ないときや低温環境下で使用しているときにVマウントバッテリーを取り外すと、カメラに同梱バッテリーが入っていてもカメラの動作が停止する場合があります。

サポートロッドへの取り付け方

カメラやレンズ、PLマウントアダプターのマウントを保護するために、市販のブリッジプレートとレンズサポートを使用してください。

- !
取り付けは確実に行ってください。カメラやレンズが落下するおそれがあります。特に高所使用時の落下は重大な事故の原因となります。

1 ブリッジプレートにカメラとレンズサポートを取り付けます。



- !
取り付け方はブリッジプレートやレンズサポートの取扱説明書を参照してください。

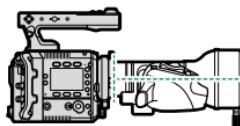
2 レンズやPLマウントアダプターをカメラのマウントに取り付けます
([47](#))。

-
- 3** レンズを手で支えながら、横から見てレンズが水平になるようにレンズサポートの高さと位置を調整して、レンズやPLマウントアダプターカバーの支持枠とレンズサポートを固定します。

! カメラやレンズ、PLマウントアダプターのマウントに無理な力がかかるないよう、レンズサポートの高さと位置は慎重に調整してください。カメラやレンズ、PLマウントアダプターのマウントを破損するおそれがあります。

 PLマウントアダプターカバーの支持枠をPLマウントアダプターに取り付けて使用することもできます(図51)。

-
- 4** 横から見てレンズが水平になっていることを確認してください。



MEMO

10

資料

■ カメラで使えるアクセサリー

このカメラでは、以下の富士フイルム製アクセサリーを使用できます。最新情報やその他のアクセサリーについては「対応情報」<https://fujifilm-x.com/ja-jp/support/compatibility/cameras/> をご覧ください。

充電式バッテリー NP-W235：リチウムイオンタイプの大容量充電式電池です。

デュアルバッテリーチャージャー BC-W235：充電式バッテリー NP-W235 を 2 個同時に充電できます。充電時間は約 200 分（+25℃において）です。30W 以上の出力に対応した給電機器を使用することで充電時間が最短約 150 分になります。

GF シリーズレンズ：FUJIFILM G マウント専用の交換レンズです。

マウントアダプター H MOUNT ADAPTER G：GX645AF 用の交換レンズ SUPER EBC FUJINON HC レンズ 9 本とテレコンバータ 1 本をカメラボディに装着するためのマウントアダプターです。

マクロエクステンションチューブ MCEX-18G WR/MCEX-45G WR：カメラボディと交換レンズの間に装着することで、高い撮影倍率でマクロ撮影が可能となります。

ビューカメラアダプター VIEW CAMERA ADAPTER G：「CM FUJINON」など、往年のフジノン大判カメラ用レンズなどを使用して撮影を行う際に使用するビューカメラアダプターです。

リモートレリーズ RR-100：三脚と併用してブレを軽減したいときなどにお使いください（ ϕ 2.5 mm 端子）。

ボディキャップ BCP-002：カメラのレンズ取り付け部の蓋です。

■ カメラで使えるソフトウェア・サービス

このカメラでは、以下のソフトウェアやサービスを使用できます。最新情報については、<https://fujifilm-x.com/ja-jp/support/compatibility/cameras/>をご覧ください。

Frame.io Camera to Cloud

ネットワークを通してカメラから Frame.io のプラットフォームへ静止画や動画を直接転送できます。

<https://frame.io/>

お取り扱いにご注意ください

ご使用前に必ずお読みください

安全上のご注意

このたびは弊社製品をお買上げいただき、ありがとうございます。

- ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとは大切に保管してください。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や障害の程度を次の表示で説明しています。

 **警告** この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

 **注意** この表示の欄は「障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で説明しています。

 このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

 このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

 このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

△警告

 **異常が起きたら電源を切り、電池・バッテリーや AC パワーアダプター、USB ケーブルを外す。**

煙が出ている、異臭がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。

- 富士フィルムデジタルカメラサポートセンターにご相談ください。

カメラ内部や接続コードに水や異物を落とさない。

カメラ内部や接続コードを水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹼水などの液体で濡らした場合は、使用しないでください。

 **水・異物が内部に入ったら、電源を切り、電池・バッテリーや AC パワーアダプター、USB ケーブルを外す。**

そのまま使用すると、ショートして火災・感電の原因になります。

- 富士フィルムデジタルカメラサポートセンターにご相談ください。



風呂、シャワー室では使用しない。

 **風呂、シャワー室での使用禁止**

火災・感電の原因になります。



分解や改造は絶対にしない（ケースは絶対に開けない）。

 **分解禁止**

火災・感電の原因になります。

△警告

落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れない。

感電したり、破損部でケガをする原因になります。



接触禁止

- 感電やケガに注意して速やかに電池・バッテリーを取り出し、富士フィルムデジタルカメラサポートセンターにご相談ください。

接続コードの上に重い物をのせたり、加工したり、無理に引き曲げたり、加熱したりしない。



コードに傷がついて、火災・感電の原因になります。

- コードに傷がついた場合は、富士フィルムデジタルカメラサポートセンターにご相談ください。

- 一度端子部分が曲がってしまったコネクターは使用しないでください。



不安定な場所に置かない。

バランスがくずれて倒れたり落下したりして、ケガの原因になります。

移動中の使用はしない。



自動車などの乗り物を運転しながらの撮影、再生などの操作はしないでください。

転倒、交通事故などの原因になります。歩き撮りをする場合には、周囲の状況に注意してください。



雷が鳴りだしたら金属部分に触れない。

落雷すると誘電雷により感電の原因になります。



指定外の方法で電池・バッテリーを使用しない。

電池は極性（ $+$ $-$ ）表示どおりに入れてください。

電池・バッテリーを分解、加工、加熱しない。

電池・バッテリーを落としたり、たたいたり、投げたり、強い衝撃や変形を与えない。

電池・バッテリーの液漏れ、変形、変色、その他異常に気が付いたときは使用しない。

リチウム電池やアルカリ電池は充電しない。



電池・バッテリーをショートさせない。

電池・バッテリーを金属製品と一緒に保管しない。

バッテリーを指定以外の充電器で充電しない。

電池・バッテリーの発熱・発火・破裂・液漏れにより、火災・ケガ・やけどの原因になります。

指定外の電池・バッテリーや AC パワーアダプターを使用しない。



表示された電源電圧以外の電圧で使用しない。

火災の原因になります。

電池・バッテリーの液が漏れて、目に入ったり、皮膚や衣服に付着したときは、



失明やケガのおそれがあるので、ただちにきれいな水で洗い流し、すぐに医師の治療を受ける。

⚠ 警告

カメラの温度が高い部分に長時間触れない。

電源を入れたまま長時間、身体の同じ個所に直接触れて使用しない。

低温やけどの原因になる場合があります。特に以下の場合は、三脚などをお使いください。

- ・長時間ご使用になる場合
- ・気温の高い環境でご使用になる場合
- ・血行の悪い方、皮膚感覚の弱い方などがご使用になる場合

バッテリーが正しく交換されていないと、爆発の危険があります。交換には同一のものだけを使用してください。

⚠ 可燃性 / 爆発性ガス / 粉塵のある場所で使用しない。

電池・バッテリーを廃棄する場合や保存する場合には、端子部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼る。

他の金属や電池と混じると発火、破裂の原因になります。

メモリーカードやシューカバーなどの小さな付属品は乳幼児に触れさせない。

⚠ メモリーカードやシューカバーなど小さな付属品は、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

小さいお子様の手の届くところに置かない。

⚠ 誤って、ストラップを首に巻きつけ窒息の原因になったり、カメラ動作などによるケガの原因になることがあります。

飛行機内、病院での使用は、航空会社、病院の指示に従う。

⚠ 本製品が出す電磁波が計器や医療機器などに影響を与える恐れがあります。

△ 注意



油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない。

火災・感電の原因になることがあります。

異常な高温になる場所に置かない。



窓を閉めきった自動車の中や、直射日光が当たる場所に置かないでください。

火災の原因になることがあります。



本製品の上に重いものを置かない。

バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、ケガの原因になることがあります。

AC パワーアダプターを接続したまま移動しない。AC パワーアダプターを抜くときは、接続コードを引っ張らない。

電源コードやケーブルが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。



本製品や AC パワーアダプターや充電器を布や布団でおおったりしない。

熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。



電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。

火災・感電の原因になることがあります。



お手入れの際や長時間使用しないときは、電池・バッテリーや AC パワー アダプターを外し、電源プラグを抜く。

火災・感電の原因になることがあります。



充電終了後は充電器をコンセントから抜く。

電源プラグを抜く

コンセントにつけたままにしておくと火災の原因になることがあります。

メモリーカードを取り出す場合、カードが飛び出す場合がありますので、指で受け止めた後にカードを引き抜くこと。

飛び出したカードが当たり、ケガの原因になることがあります。

撮影直後にメモリーカードに触れない。



メモリーカードが高温になり、やけどの原因となることがあります。

温度が下がってからメモリーカードを取り出してください。

定期的な内部点検・清掃を依頼する。



本製品の内部にはこりがたまり、火災や故障の原因になることがあります。

- 2年に1度くらいは、内部清掃を富士フィルムデジタルカメラサポートセンターにご相談ください。



本製品を廃棄する場合の処理方法については最寄りの自治体の手順に従うこと。



吸気口や排気口をテープなどでふさがない。吸気口や排気口のそばに遮蔽物を置かない。

冷却性能が低下したり、故障の原因になったりすることがあります。

電源についてのご注意

※ ご使用になるカメラの電池の種類をお確かめの上お読みください。

電池・バッテリーを上手に長くお使いいただくため、下記をお読みください。使い方を誤ると、電池・バッテリーの寿命が短くなるばかりか、液漏れ、発熱・発火の恐れがあります。

充電式リチウムイオンバッテリー使用機種

※ バッテリーは出荷時にはフル充電されていません。お使いになる前に必ず充電してください。

※ バッテリーを持ち運ぶときは、カメラに取り付けるか、ソフトケースに入れてください。

■ バッテリーの特性

- ・バッテリーは使わなくても、少しずつ放電しています。撮影の直前（1～2日前）に充電したバッテリーを用意してください。
- ・バッテリーを長く持たせるには、できるだけこまめに電源を切ることをおすすめします。
- ・寒冷地や低温時では撮影できる枚数が少なくなります。充電済みの予備バッテリーをご用意ください。また、使用時間を長くするために、バッテリーをポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前にカメラに取り付けてください。カイロなどをお使いになる場合は、直接バッテリーに触れないようにご注意ください。

■ 充電について

- ・カメラと付属のACパワーアダプターを使用するか、別売のデュアルバッテリーチャージャーBC-W235を使用して充電できます。
 - 充電は周囲の温度が+5°C～+40°Cの範囲で可能です。この範囲外では充電できないことがあります。
 - +10°C～+35°Cの温度範囲外で充電する場合、バッテリーの性能を劣化させないために充電時間が長くなることがあります。充電は+10°C～+35°Cの温度範囲で行ってください。
- ・充電式リチウムイオンバッテリーは充電の前に放電したり、使い切ったりする必要はありません。
- ・充電が終わったあとや使用直後に、バッテリーが熱を持つことがあります、異常ではありません。
- ・充電が完了したバッテリーを再充電しないでください。

■ バッテリーの寿命について

- ・使用できる時間が著しく短くなったときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。
- ・バッテリーを長期間充電しないとバッテリーの品質が保持できなくなり、充電できなくなるおそれがあります。定期的に充電することをおすすめします。

■ 保存上のご注意

- ・長期保管の場合は、電池容量の $\frac{2}{3}$ から半分程度の電池残量で常温保管をお勧めいたします。
- ・使用しないときは必ずバッテリーをカメラや、バッテリーチャージャーから取り外してください。
- ・涼しいところで保存してください。
 - 周囲の温度が $+15^{\circ}\text{C} \sim +25^{\circ}\text{C}$ くらいの乾燥したところをおすすめします。
 - 暑いところや極端に寒いところは避けてください。

① 危険ですので、次のことにご注意ください



バッテリーの金属部分に、他の金属が触れないようにしてください。



火気に近づけたり、火の中に投げ込んだりしないでください。



分解したり、改造したりしないでください。



バッテリーは、過度な低気圧中に放置しないでください。

- ・強い衝撃を与えるたり、落としたりしないでください。
- ・水にぬらさないようご注意ください。
- ・端子は常にきれいにしておいてください。
- ・長時間高温の場所に置かないでください。また、長時間、バッテリーで使用していると、カメラ本体やバッテリーが熱を帯びますが、故障ではありません。長時間の撮影、再生には AC パワーアダプターをお使いください。

■ 電池の廃棄について

- ・電池を捨てるときは、地域の条例に従って処分してください。
- ・電池は、機械的に押し潰し、又は切断しないでください。

■ 小形充電式電池のリサイクルについて



小形充電式電池（リチウムイオンバッテリーまたはニッケル水素電池など）はリサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済みの電池は、端子を絶縁するためにセロハンテープなどを貼るか、個別にポリ袋に入れて最寄りの排出協力店・排出協力自治体へお持ちください。詳細は、「一般社団法人 JBRC」のホームページをご参照ください。

<https://www.jbrc.com/>

■ AC パワーアダプター使用機種

- 接続コードのプラグをしっかり差し込んでください。
- 接続コードを抜くときは、カメラの電源を切って、プラグを持って抜いてください（コードを引っ張らないでください）。
- 使用中、AC パワーアダプターが熱くなるときがありますが故障ではありません。
- 分解したりしないでください。危険です。
- 高温多湿のところでは使用しないでください。
- 落としたり、強いショックを与えないでください。
- 内部で発振音がすることがありますが、異常ではありません。
- ラジオの近くで使用すると、雑音が入る場合がありますので、離してお使いください。

カメラをお使いになる前のご注意

■ 撮影の前には試し撮りをしましょう

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）をするときには、必ず試し撮りをし、画像を再生して撮影されていることを確認してください。

※ 本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および撮影により得るであろう利益の喪失など）については補償いたしかねます。

■ 著作権についてのご注意

あなたがカメラで記録したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像やファイルの記録されたメモリーカードの転送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意願います。

■ 製品の取り扱いについて

画像記録中にカメラ本体に衝撃を与えると、画像ファイルが正常に記録されないことがありますのでご注意ください。

■ 液晶について

液晶パネルが破損した場合、中の液晶には十分にご注意ください。万一のときは、応急処置を行ってください。

- ・ 皮膚に付着した場合：付着物をふき取り、水で流し、石けんでよく洗浄してください。
- ・ 目に入った場合：きれいな水でよく洗い流し、最低 15 分間洗浄したあと、医師の診断を受けてください。
- ・ 飲み込んだ場合：水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出したあと、医師の診断を受けてください。

液晶パネルは非常に高精度の技術で作られておりますが、黒い点や常時点灯する点などが存在することがあります。これは故障ではなく、記録される画像には影響ありません。

■ 商標について

- デジタルスプリットイメージ、Digital Split Image は、富士フィルム（株）の商標または登録商標です。
- デジタルマイクロプリズム、Digital Micro Prism は、富士フィルム（株）の商標または登録商標です。
- DynaFont は、DynaComware Taiwan Inc. の登録商標です。
- Apple、iPhone、iPad、Mac、Mac OS X、OS X、macOS、Lightning、Apple ProRes は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。
- Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Android は、Google LLC の商標または登録商標です。
- Adobe、Adobe ロゴ、Camera to Cloud、Frame.io、Lightroom ならびに Photoshop は Adobe の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- Wi-Fi®、Wi-Fi CERTIFIED ロゴおよび、Wi-Fi Protected Setup® は、Wi-Fi Alliance® の商標または登録商標です。
- Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、富士フィルム株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- SDHC ロゴ、SDXC ロゴは、SD-3C,LLC の商標です。
- CFexpress は CFA (CompactFlash Association) の商標です。
- HDMI ロゴは HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。
- QR コードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- USB Type-C® および USB-C® は、USB Implementers Forum の登録商標です。
- AirGlu™ は Atomos の商標または登録商標です。
- その他の社名、商品名などは、日本および海外における各社の商標または登録商標です。

■ ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意

- 本製品は、一般財団法人 VCCI 協会の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。
- 本製品を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A
- 本製品を飛行機や病院の中で使用しないでください。使用した場合、飛行機や病院の制御装置などの誤作動の原因になることがあります。

カメラの使用上のご注意

カメラを強い光源（晴天時の太陽や人工的な強い光源など）に向けないでください。撮像素子や ND フィルターが破損する場合があります。

■ 避けて欲しい保存場所

次のような場所での本製品の使用・保管は避けてください。

- ・雨天下、湿気やゴミ、ほこりの多いところ
- ・直射日光の当たるところや夏場の密閉した自動車内など、高温になるところ
- ・極端に寒いところ
- ・振動の激しいところ
- ・油煙や湯気の当たるところ
- ・強い電磁場の発生するところ（放送塔、送電線、レーダー、モーター、トランス、磁石のそばなど）
- ・防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品に長時間接触するところ

■ 冠水、浸水、砂かぶりにご注意（防水機能付機種を除く）

水や砂は本製品の大敵です。海辺、水辺などでは、水や砂がかからないようにしてください。また、水でぬれた場所の上に、本製品を置かないでください。水や砂が本製品の内部に入りますと、故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。

■ 結露（つゆつき）にご注意

本製品を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなどに、本製品内外部やレンズなどに水滴がつくこと（結露）があります。このようなときは電源を切り、水滴がなくなるまでからお使いください。また、メモリーカードに水滴がつくことがあります。このようなときはメモリーカードを取り出し、しばらくたってからお使いください。

■ 長時間お使いにならないときは

本製品を長時間お使いにならないときは、バッテリーまたは電池、メモリーカードを取り外して保管してください。

■ 海外で使うとき

- ・このカメラは国内仕様です。付属している保証書は、国内に限られています。旅行先で万一、故障、不具合が生じた場合は、持ち帰ったあと国内の富士フィルムデジタルカメラサポートセンターにご相談ください。
- ・航空会社等に預入するお手荷物にカメラを入れないでください。預入したお手荷物の荷扱いによっては、大きな衝撃を受けて、外観には変化がなくても内部の部品の故障原因になることがあります。

メモリーカードについてのご注意

詳細は、使用説明書をお読みください。

■ メモリーカード取扱いのご注意

- メモリーカードは、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
- メモリーカードをカメラに入れるときは、まっすぐに挿入してください。
- メモリーカードの記録中、消去（フォーマット）中は、絶対にメモリーカードを取り出したり、機器の電源を切ったりしないでください。メモリーカードが破壊されることがあります。
- 指定以外のメモリーカードはお使いになれません。無理にご使用になるとカメラの故障の原因になります。
- 強い静電気、電気的ノイズの発生しやすい環境でのご使用、保管は避けてください。
- 静電気を帯びたメモリーカードをカメラに入れるとき、カメラが誤作動する場合があります。このような場合はいったん電源を切ってから、再び電源を入れ直してください。
- ズボンのポケットなどに入れないでください。座ったときなどに大きな力が加わり、壊れる恐れがあります。
- 長時間お使いになったあと、取り出したメモリーカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- メモリーカードにはラベル類は一切はらないでください。メモリーカードの出し入れの際、故障の原因になります。

■ メモリーカードをパソコン 컴퓨터で使用する場合のご注意

- パソコンコンピューターで使用したあとのメモリーカードを使って撮影する場合は、カメラでフォーマットしなおしてください。
- カメラでフォーマットして撮影、記録すると、自動的にフォルダが作成されます。画像ファイルは、このフォルダ内に記録されます。
- パソコンコンピューターでメモリーカードのフォルダ名、ファイル名の変更、消去などの操作を行わないでください。メモリーカードがカメラで使用できなくなることがあります。
- 画像ファイルを編集する場合は、画像ファイルをハードディスクなどにコピーまたは移動し、コピーまたは移動した画像ファイルを編集してください。

レンズとアクセサリーについてのご注意

- レンズを取り付ける際はカメラの使用説明書やレンズの説明書をよく読み、レンズを正しく取り付けてください。誤った取り付けによって生じた事故や故障につきましては保証いたしかねます。
- アクセサリー取り付けネジ穴には、ネジの長さが外形寸法に示した穴深さ以下の製品をご使用ください（図 242）。
- 他社製品と組み合わせて使用した際の性能や、それによって生じた事故や故障につきましては保証いたしかねます。

無線 LAN/Bluetooth 機器使用上の注意事項

重要！ 本製品に搭載されている無線 LAN/Bluetooth 機器をご使用になる前に必ずお読みください。

- ① 本製品は、米国輸出規則(EAR)の対象となり、米国禁輸出国への輸出や持ち出しには、米国商務省、財務省等当局の許可が必要となりますのでご注意ください。

■ 本製品は無線 LAN/Bluetooth 機器としてお使いください。

無線 LAN/Bluetooth 機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、当社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。無線 LAN/Bluetooth 機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときはご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全に行ってください。

■ 無線 LAN/Bluetooth 機能はお買い求め頂いた国での利用を前提としています。

本製品の無線 LAN/Bluetooth 機能はお買い求め頂いた国の電波に関する法律に準拠しております。ご使用の際は、お使い頂く国の法律を遵守してください。お買い求め頂いた国以外でのご使用上のトラブル等については、弊社では一切の責任を負いかねます。

■ 磁場、静電気、電波障害が発生するところでは本製品を使用しないでください。

電子レンジ付近などの磁場、静電気、電波障害が発生するところでは本製品を使用しないでください（環境により電波が届かないことがあります）。また、2.4GHz 付近の電波を使用しているものの近くで使用すると双方の処理速度が落ちる場合があります。

■ セキュリティについて

無線 LAN/Bluetooth 機能は電波を使って通信するため、有線 LAN よりもセキュリティに注意する必要があります。

- 本製品に使用権限のない（知らない）ネットワークが表示されても接続しないでください。接続すると不正アクセスとみなされるおそれがあります。使用権限のあるネットワークだけをお使いください。
- 電波によるデータの送受信は傍受される可能性があります。あらかじめご了承ください。
- 本製品を電気通信事業者（移動通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダ等）の通信回線（公衆無線 LAN を含む）に直接接続しないでください。

■ 本製品は「電波法」に基づく技術基準適合証明を受けた無線設備を内蔵し、証明ラベルは無線設備上に表示または、画面で確認することができます。以下の行為は法律で罰せられることがあります。

- 本製品を分解、または改造すること
- 本製品上の証明ラベルをはがすこと

■ 本製品の使用する無線チャンネルは、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。

- 産業・科学・医療用機器
- 工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局
 - (1) 構内無線局（免許を要する無線局）
 - (2) 特定小電力無線局（免許を要しない無線局）

■ 本製品を使用する場合は、前項の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。

無線局が運用されていないことを確認してください。

万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに場所を変更するか、または電波の使用を停止してください。

その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、富士フィルムデジタルカメラサポートセンターへお問い合わせください。

• 2.4GHz 帯使用時の注意事項（日本国内向け）



本製品が 2.4GHz 周波数帯を使用する DSSS と OFDM 変調方式を採用した無線設備で、与干渉距離が約 40m であることを意味しています。



本製品が 2.4GHz 周波数帯を使用するその他の変調方式を採用した無線設備で、与干渉距離が約 80m であることを意味しています。

• 5GHz 帯使用時の注意事項（日本国内向け）

IEEE802.11b/g/n			
IEEE802.11a/n/ac			
W52	W52	W53	W56

5GHz の周波数帯においては、5.2GHz/5.3GHz/5.6GHz 帯（W52/W53/W56）の 3 種類の帯域を使用することができます。

5.2GHz/5.3GHz 帯（W52/W53）を使って屋外で通信を行うことは、電波法で禁止されています。

当該無線設備の送信は 5.2GHz 帯高出力データ通信システムの基地局、または陸上移動中継局と通信する場合を除き屋内においてのみ可能です。

■ 本製品を飛行機の中で使用しないでください。

本製品の飛行機内での使用については航空会社の指示に従ってください。

レンズをご使用前に必ずお読みください

安全上のご注意

本文は、レンズまたはレンズを取り付けたカメラを安全に取り扱うための注意内容です。

- ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとは大切に保管してください。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や障害の程度を次の表示で説明しています。

 **警告** この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

 **注意** この表示の欄は「障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で説明しています。

 このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

 このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

 このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

 **水をかけたり、水にぬらしたりしない。**

風呂、シャワー
室での使用禁止 火災・感電の原因になります。

 **分解や改造は絶対にしない（ケースは絶対に開けない）。**

火災・感電の原因になります。

分解禁止 また、異常動作を起こしてケガの原因になります。

 **落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れない。**

感電したり、破損部でケガをする原因になります。

接触禁止  **感電やケガに注意して速やかにカメラの電池・バッテリーを取り出し、お買上げ店または弊社デジタルカメラサポートセンター、修理サービスセンターにご相談ください。**

 **不安定な場所に置かない。**

バランスがくずれて倒れたり落下したりして、ケガの原因になります。

 **レンズまたはカメラで直接太陽を見ない。**

失明や視力障害になる恐れがあります。

⚠ 注意

- 🚫 油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない。
火災・感電の原因になることがあります。
- 🚫 異常な高温になる場所に置かない。
窓を閉めきった自動車の中や、直射日光が当たる場所に置かないでください。
火災の原因になることがあります。
- ⚠ 小さいお子様の手の届くところに置かない。
ケガの原因になることがあります。
- 🚫 濡れた手で触らない。
感電の原因になることがあります。
- ⚠ 逆光撮影では、画角から太陽を十分にはずす。
太陽光がカメラ内部に直接入ることで、カメラ内で焦点を結び、火災ややけどの原因になることがあります。
- ⚠ 使用しない時は、レンズにキャップをつけ、太陽光のあたらない場所に保管する。
太陽光が内部で焦点を結び、火災ややけどの原因になることがあります。
- 🚫 三脚にカメラやレンズを取り付けたまま移動しない。
転倒したり、ぶつけたりしてケガの原因になることがあります。

お手入れについて

長くご愛用いただくために、カメラおよびアクセサリーをご使用になったあとは次のようにお手入れすることをおすすめします。

- カメラ本体およびアクセサリーは、乾いた柔らかい布などで拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジンおよび殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。変質、変形したり、塗料がはげたりするなどの原因になります。
- カメラ本体およびアクセサリーに液体が付着した場合は、すぐに乾いた柔らかい布などで拭き取ってください。
- LCD モニター表面などの汚れはプロワー／ブラシなどでほこりを払い、乾いた柔らかい布などで軽く拭いてください。それでも取れないときは、富士フィルムのレンズクリーニングペーパーにレンズクリーニングリキッドを少量つけて軽く拭いてください。
- LCD モニター表面などは傷つきやすいので、固いものでこすったりしないでください。
- センサーのクリーニングはセットアップのメンテナンス > センサークリーニングで行えます。
- カメラを保管するときは、ボディキャップを取り付けてください。
- レンズのガラス面の清掃はほこりを拭う程度にしてください。指紋がついたときは、レンズクロスやレンズペーパーに少量のレンズクリーナーを含ませて、レンズの中心から外周へ渦巻状に、拭きムラ、拭き残りのないように注意して拭いてください。

ファームウェアの更新

ファームウェアがアップデートされ、機能が追加／変更されたときはファームウェアを更新してください。



最新のファームウェアに更新した場合、カメラの機能は本書に記載されている内容と一部異なる場合があります。

ファームウェアのダウンロード

あらかじめ最新のファームウェアをダウンロードして、メモリーカードに保存してください。ファームウェアのダウンロード方法などは下記ホームページをご覧ください。

<https://fujifilm-x.com/ja-jp/support/download/firmware/cameras/>

ファームウェアの更新方法

ファームウェアは次の方法で更新できます。

1 新しいファームウェアが入ったメモリーカードをカメラに入れます。

2 撮影時に **MENU** ボタンを押します。

側面モニターに **MENU** 画面が表示されます。



3 セットアップ > フームウェアアップデートを選びます。

4 フームウェアを更新する対象を選びます。

5 確認画面が表示されます。

2つの**実行** (スクリーンボタン4とスクリーンボタン6) を押すと、更新されます。

- !**
- ・ フームウェアの更新作業には十分に充電したバッテリーを使用し、更新中は電源を切ったりカメラを操作したりしないでください。フームウェアの更新中にカメラの電源が切れると、カメラが正常に動作しなくなるおそれがあります。
 - ・ フームウェアの更新にかかる時間は、フームウェアの容量によって変わります。最大で約10分かかる場合があります。
 - ・ フームウェア更新後は、更新前のバージョンに戻すことはできません。
 - ・ フームウェアの更新中にエラーメッセージが表示された場合は、下記をご覧ください。

<https://fujifilm-x.com/ja-jp/support/download/error-message/>

トラブルシューティング /FAQ

カメラの動作がおかしいときは、まず次の表の内容をご確認ください。処置を行っても改善されない場合は、富士フイルムデジタルカメラサポートセンターにご相談ください。

電源とバッテリー

バッテリー、電源について

症状	処置
電源スイッチを「」に合わせても電源がオンになりません。	<ul style="list-style-type: none">ご購入時には同梱バッテリーは充電されていません。バッテリーを充電してからお使いください。同梱バッテリー使用時は、充電済みのバッテリーを使ってください（図 32）。同梱バッテリー使用時は、バッテリーを正しい方向で入れ直してください（図 32）。V マウントバッテリー使用時は、充電済みのバッテリーを正しい方向で入れ直してください。AC パワーアダプター使用時は、AC パワーアダプターおよび AC ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
同梱バッテリーの消耗が早いです。	セットアップのメンテナンス > バッテリー劣化度 を確認し、劣化している場合は、新しいバッテリーと交換してください。
使用中に電源がオフになってしましました。	<ul style="list-style-type: none">バッテリーの残量が不足していないかどうか確認してください（図 57）。カメラの温度が高くなると、自動的にオフになります。

撮影時

基本撮影について

症状	処置
<p>REC ボタンを押しても撮影できません。</p>	<ul style="list-style-type: none">メモリーカードの空き容量を確認してください。外部機器で録画するときは、外部機器が録画可能になっているか確認してください。

動画撮影について

症状	処置
<p>動画撮影が勝手に終了してしまいました。</p>	<p>記録メディアの書き込み速度が遅い場合には、録画が停止する場合があります。対応する記録メディアについては、富士フイルムのホームページに掲載しています。詳しくは「対応情報（カメラ）」を参照してください。</p> <p>https://fujifilm-x.com/ja-jp/support/compatibility/cameras/</p>

撮影した動画の異常について

症状	処置
<p>音声が記録できません。 ノイズが入ります。</p>	<ul style="list-style-type: none">オーディオの各設定を確認してください。撮影時にマイクをふさいでいないか確認してください。

再生時

動画再生について

症状	処置
動画が再生できません。	他のカメラやパーソナルコンピューターでファイル名やフォルダ名を変更したクリップや、編集したクリップは再生できないことがあります。

無線通信

無線 LAN 機能のトラブルシューティングについては、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://digitalcamera-support-ja.fujifilm.com/>

ファイルの転送について

症状	処置
ファイルの転送ができません。	<ul style="list-style-type: none"> ネットワーク設定が正しいかどうか確認してください。 電波の状態が悪い可能性があります。カメラを移動して再度試してください。 カメラ本体の日付設定が正しい日時に設定されていることを確認してください。

その他

カメラの動作などについて

症状	処置
カメラのボタンなどを操作しても動きません。	<ul style="list-style-type: none">バッテリーをいったん取り外して、取り付け直してから操作してください（図32）。ロックスイッチでロックを解除してください（図15）。
カメラが正常に作動しなくなってしまいました。	バッテリーやカメラに接続しているアクセサリーなどをいったん取り外し、最小限のアクセサリーなどを取り付けてから、バッテリーを取り付けて操作してください（図32）。それでも復帰できないときは、富士フイルムデジタルカメラサポートセンターにご相談ください。

警告表示

画面に表示される警告には、以下のものがあります。

警告表示	警告内容	処置
 (赤点灯)	バッテリーの残量が少なくなっています。	新しいバッテリーまたは充電済みのバッテリーと交換してください。
 (赤点灯)	バッテリーの残量がありません。	
!AF (赤点灯) AF フレームの形は撮影メニューの設定によって異なります	ピント合わせができません。	同じ距離の他の被写体でピントを合わせてください。
絞り、シャッタースピード表示 (赤点灯)	被写体が明るすぎる、または暗すぎるために適正な明るさで撮影できません。	適切な明るさ（露出）ではありませんが撮影できます。
フォーカスエラー レンズ制御エラー 電源を入れ直してください	カメラが誤作動または故障しています。	<ul style="list-style-type: none">電源を入れ直してください。電源のオン / オフを繰り返してください。それでも復帰できないときは、富士フィルムデジタルカメラサポートセンターにご相談ください。
フォーマットされていません	メモリーカードがフォーマットされていません。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください。
	メモリーカードがパソコン用コンピューターでフォーマットされています。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください。
	メモリーカードの接触面（金色の部分）が汚れています。	メモリーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などでよく拭いてください。また、フォーマットが必要な場合があります。それでも警告表示が消えない場合はメモリーカードを交換してください。
	カメラが故障しています。	富士フィルムデジタルカメラサポートセンターにご相談ください。

警告表示	警告内容	処置
メディアエラー	メモリーカードがカメラでフォーマットされていません。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください。
	メモリーカードの接触面（金色の部分）が汚れています。	メモリーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などでよく拭いてください。 また、フォーマットが必要な場合があります。それでも警告表示が消えない場合はメモリーカードを交換してください。
	カメラが故障しています。	富士フィルムデジタルカメラサポートセンターにご相談ください。
	非対応のメモリーカードです。 メモリーカードが壊れています。	弊社動作確認済みのメモリーカードを挿入してください。
プロテクトされたメディアです	SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっています。	SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチを元に戻し、誤記録防止のロックを外してください。
空き容量がありません	メモリーカードに空き容量がないため、ファイルを記録できません。	ファイルを消去するか、空き容量のあるメモリーカードを使用してください。
記録できませんでした	メモリーカードとカメラ本体の接触異常またはメモリーカードの異常のため記録できません。	メモリーカードを入れ直すか電源のオン／オフを繰り返してください。それでも復帰できないときは、富士フィルムデジタルカメラサポートセンターにご相談ください。
	ファイルを記録する空き容量がありません。	ファイルを消去するか、空き容量のあるメモリーカードを使用してください。
	動画を記録中にメモリーカードを取り出しました。	記録中はメモリーカードを取り出さないでください。
	書き込み速度の遅いメモリーカードを使用してのため記録できません。	動画撮影時は、設定に適した速度のカードをご使用ください。

警告表示	警告内容	処置
再生できません	正常に記録されていないファイルを再生しようとした。もしくは他のカメラで記録した動画を再生しようとした。	このファイルは再生できません。
	メモリーカードの接触面（金色の部分）が汚れています。	メモリーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などでよく拭いてください。また、フォーマットが必要な場合があります。それでも警告表示が消えない場合はメモリーカードを交換してください。
	カメラが故障しています。	富士フィルムデジタルカメラサポートセンターにご相談ください。
!! (黄) 温度上限に近づいています 持ち続けないでください	カメラの温度が上限に近づいています。低温やけどの恐れがありますので、カメラを持ち続けないでください。	電源をオフにして、しばらくたってからご使用ください。カメラの温度が上昇すると、画像にノイズが多くなる場合があります。
!! (赤) 温度上限に到達しました シャットダウンします	温度が上限に達したため自動的に電源がオフになります。	

エラー表示

画面に  が表示されたときは、ネットワーク > エラー情報でエラー表示を確認し、処置を行ってください。

エラー表示	ここをチェック！	処置
無線 LAN 経由でネットワークに接続されていません	アクセスポイントに接続できていますか？	アクセスポイントの電源が入っていることを確認してください。 アクセスポイントの設定や IP アドレスの設定を確認してください。 電波を妨害している機器から離してください。 アクセスポイントの近くに移動してください。
	アクセスポイントへ接続するための設定は正しいですか？	アクセスポイントのパスワードが正しく設定されていることを確認してください。 アクセスポイントと同じ暗号化方式を設定してください。 SSID が正しく設定されていることを確認してください。
DHCP サーバーから IP アドレスが取得できないか、IP アドレスの設定に問題があります	ネットワーク上に DHCP サーバーはありますか？	DHCP サーバーが無い場合は IP アドレスなどを手動で設定してください。
	DHCP サーバーが停止していませんか？	ネットワーク管理者に問い合わせください。
CA ルート証明書が有効ではありません	ルート証明書が期限切れになっていますか？	カメラ本体の日付設定が正しい日に設定されていることを確認の上、更新された CA ルート証明書を読み込んでください。

エラー表示	ここをチェック！	処置
Frame.io と接続できません	Frame.io のサーバーに問題が生じていませんか？	Frame.io サーバーの状態を確認してください。
	カメラ本体の日付設定は正しいですか？	カメラ本体の日付設定が正しい日時に設定されていることを確認してください。
	ネットワークは正しく設定されていますか？	接続しているネットワークの設定を確認してください。
	—	カメラの電源を入れ直してください。 ネットワーク管理者に問い合わせください。
予期しないエラーが発生しました	—	カメラの電源を入れ直してください。 ネットワーク管理者に問い合わせください。

標準撮影時間

標準撮影時間はおおよその目安です。実際の撮影時間は、撮影条件やメモリーカードの種類により変動します。また、LCD モニターに表示される時間は規則正しく減少しないことがあります。

設定	記録媒体	SD メモリーカードまたは CFexpress カード 512GB
ProRes HQ 4K 24P		約 85 分
H.265 720Mbps		約 100 分



- 設定によって使用できるメモリーカードが異なります（図 42）。
- 32GB 以下のメモリーカード使用時は、ビットレート設定に応じて動画ファイルが分割されることがあります。その他のメモリーカード使用時でも、1 時間以上の長時間動画を連続して撮影した場合に動画ファイルが分割されて記録されることがあります。ファイル分割時も動画撮影は一時中断することなく続けます。

主な仕様

システム

製品名	FUJIFILM GFX ETERNA 55
製品型番	FF250002
撮像素子	43.8 mm × 32.9 mm BA、原色フィルター採用
記録メディア	SD/SDHC/SDXC メモリーカード、CFexpress Type B カード (弊社推奨品)
メモリーカードスロット	<ul style="list-style-type: none">SD カード (UHS-II 対応) × 1CFexpress カード (Type B) × 1
記録方式	<ul style="list-style-type: none">コンテナフォーマット：MOV、MXFコーデック：HEVC/H.265、ProRes 規格準拠音声：LPCM (2ch : 24bit 48kHz サンプリング)音声 (XLR マイクアダプター使用時)：LPCM (2ch : 24bit 48kHz サンプリング、4ch : 24bit 48kHz サンプリング)静止画：JPEG 準拠
レンズマウント	FUJIFILM G マウント
撮影感度	ISO400 ~ 12800 (1/3 段ステップ)、AUTO、ISO100、320、25600 は拡張モード
測光方式	<ul style="list-style-type: none">TTL256分割測光マルチ、中央部重点、スポット、アベレージ
露出補正	-2 EV ~ +2 EV (1/4段ステップ)

システム

シャッター	<ul style="list-style-type: none"> 電子シャッター シャッタースピード：1/8000 秒～1/8 秒 シャッターアングル：5.6°～360°
フォーカス	<ul style="list-style-type: none"> モード：コンティニュアス AF、マニュアルフォーカス（リング回転式） AF 方式：インテリジェントハイブリッド AF（TTL コントラスト AF + 位相差 AF） AF フレーム選択：オートエリア、トラッキング、エリア選択
ホワイトバランス	オート（ホワイト優先、AUTO、雰囲気優先）、色温度（2000K～11000K）設定、CC（-16.00～+16.00）、カスタム
セルフタイマー	OFF、3秒、5秒、10秒
LCD モニター	3型カラー液晶モニター、720×480 ドット、タッチパネル付き
内蔵 ND フィルター	<ul style="list-style-type: none"> CLEAR 電子式可変 ND フィルター：0.6（ND4）～2.1（ND128）
動画 (ステレオ音声付き)	<ul style="list-style-type: none"> 解像度：8K2.76:1、8K2.39:1、8K16:9、8K17:9、6.3K16:9、5.8K2.39:1、5.4K17:9、4.8K3:2、4.8K16:9、4.6K1.38:1、4K4:3、4K16:9、4K17:9、4K1.195:1、FHD16:9、FHD17:9 <p>（！）動画フォーマットの設定により選べるサイズが異なります。</p> <ul style="list-style-type: none"> フレームレート：59.94P、50P、48P、47.95P、29.97P、25P、24P、23.98P 記録形式： <ul style="list-style-type: none"> H.265（MOV/MXF、4:2:2 10bit、720/360/200/100/50Mbps） ProRes 422 HQ / ProRes 422 / ProRes 422 LT（MOV/MXF、4:2:2 10bit） 出力形式： <ul style="list-style-type: none"> HDMI/SDI（4:2:2 10bit、Atomos 社製外部レコーダーおよび Blackmagic 社製外部レコーダー用 RAW 出力に対応）

入出力端子

マイク入力端子	ø 3.5 mm ステレオミニジャック
ヘッドホン出力端子	ø 3.5 mm ステレオミニジャック
リモートトレリーズ端子	ø 2.5 mm 3 極ミニジャック
デジタル入出力	USB 端子：USB Type-C® USB 10Gbps
LAN 端子	1000BASE-T、100BASE-TX、10BASE-T
SDI 端子	BNC 型
HDMI 出力	HDMI 端子 (Type A)
TC IN/TC OUT 端子	BNC 型
Genlock 端子	BNC 型
レンズ接続用端子	12 ピン
DC OUT 端子	LEMO 2 ピン、12V、3A
DC IN 端子	4 ピン

電源部、その他

電源	<ul style="list-style-type: none"> 充電式バッテリー NP-W235 (付属) V マウントバッテリー (別売) AC アダプター AC-15VS (付属)
消費電力	<ul style="list-style-type: none"> 標準消費電力 : 21W (レンズ付、4K16:9、59.94P、ProRes HQ、冷却ファン設定 AUTO1、LCD モニター・ハンドル以外の周辺機器を含まない) 最大消費電力 : 49W (レンズ付、4K16:9、59.94P、ProRes HQ、冷却ファン設定 高速、周辺機器を含む、DC OUT 12V 端子非接続)
本体外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	110.8mm × 138.2mm × 176.8mm
本体質量	約 2.0kg (付属バッテリー、メモリーカード含まず)
動作環境	<ul style="list-style-type: none"> 温度 : -10°C ~ +40°C (バッテリー充電時 : +5°C ~ +40°C) 湿度 : 10% ~ 80% (結露しないこと)

ワイヤレス通信

無線 LAN (Wi-Fi)

準拠規格	IEEE802.11a/b/g/n/ac (無線 LAN 標準プロトコル)
使用周波数範囲 (中心周波数)	<ul style="list-style-type: none"> アメリカ合衆国、カナダ、ブラジル、中国、インド、韓国、マレーシア、インドネシア <ul style="list-style-type: none"> : 2412 MHz ~ 2462 MHz (11 ch) : 5180 MHz ~ 5320 MHz (W52、W53) : 5745 MHz ~ 5825 MHz (UNII-3) EU 加盟国、イギリス、日本、オーストラリア、ノルウェー、ニュージーランド、トルコ、香港、フィリピン、ベトナム、シンガポール、タイ、UAE、ロシア、台湾、サウジアラビア、カタール、バーレーン、オマーン、エジプト、イラン、クウェート、レバノン、ウズベキスタン、イスラエル <ul style="list-style-type: none"> : 2412 MHz ~ 2462 MHz (11 ch) : 5180 MHz ~ 5320 MHz (W52、W53) : 5500 MHz ~ 5700 MHz (W56)
アクセス方式	インフラストラクチャーモード

Bluetooth®

準拠規格	Bluetooth Ver.4.2 (Bluetooth low energy)
使用周波数範囲 (中心周波数)	2402 MHz ~ 2480 MHz

バッテリー NP-W235

公称電圧	7.2V
公称容量	2350mAh
定格容量	2200mAh
使用温度	0°C~+40°C
本体外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	38.92 mm × 22.8 mm × 52.26 mm
質量	約 79g

AC パワーーアダプター AC-15VS

定格入力	AC 100V ~ 240V 50/60Hz
定格出力	DC15.0V 10A
使用温度	-10°C~+40°C
本体外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	66 mm × 34.8 mm × 164.5 mm (突起部含まず)
質量	約 500g (電源コードを除く)

LCD モニター VF-GFXC1

LCD モニター	5型カラー液晶モニター、約622万ドット、チルト式、タッチパネル付き
本体外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	142.5mm × 85.1mm × 30.6mm (ケーブルを除く)
質量	約310g

ハンドル RH-GFXC1

ホットシュー	あり
本体外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	197.4mm × 87.5mm × 69.8mm (ケーブルを除く)
質量	約505g

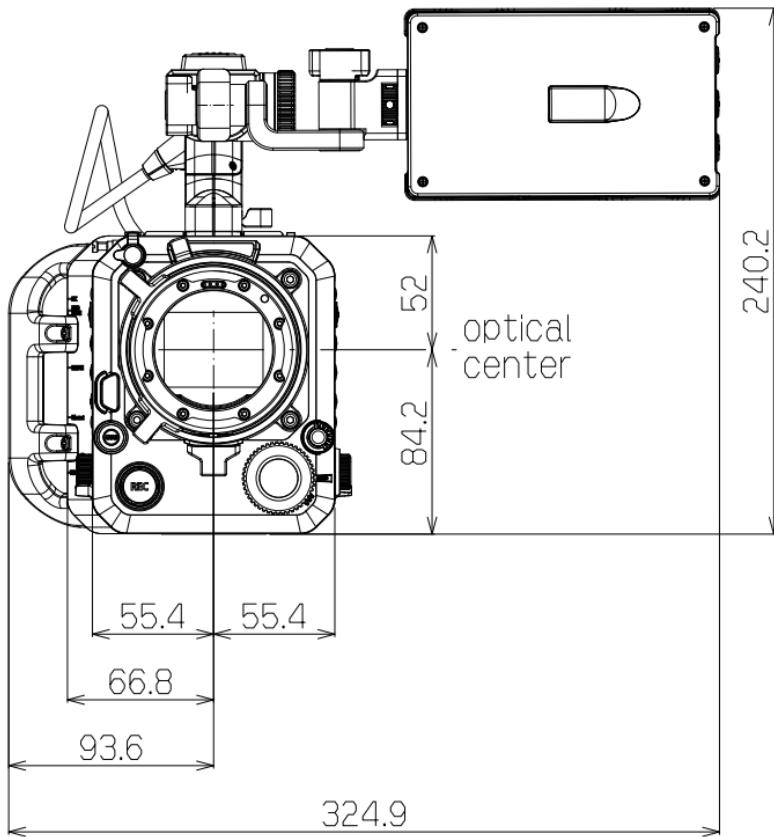
PL マウントアダプター PL MOUNT ADAPTER G

本体外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	94.2mm (PLロックレバー含む) × 81.4mm (PLロックレバー含まず) × 37.1mm (本体)
質量	約246g (本体のみ)

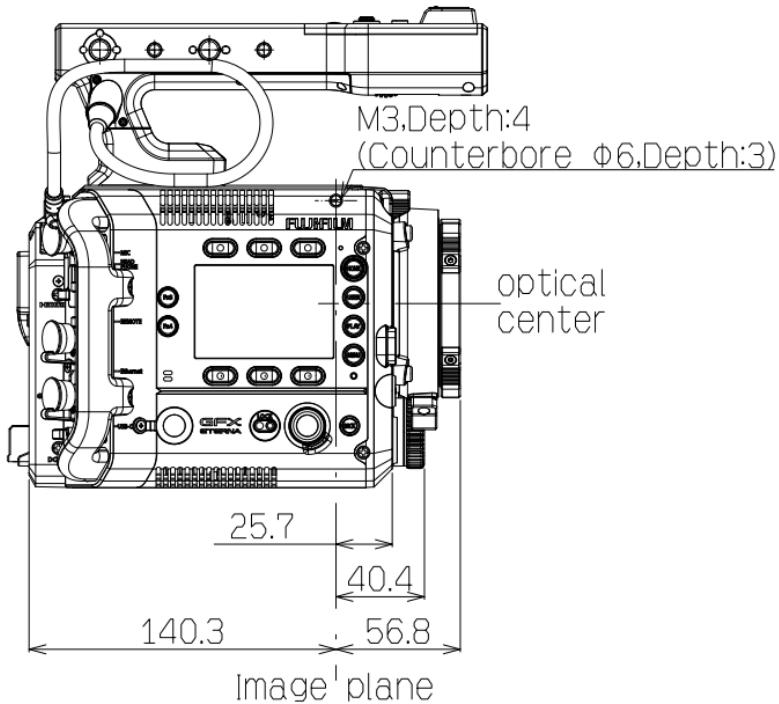
- ① 仕様、性能は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。使用説明書における記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。説明中の表記は、カメラ本体の表示と異なる場合があります。

外形寸法

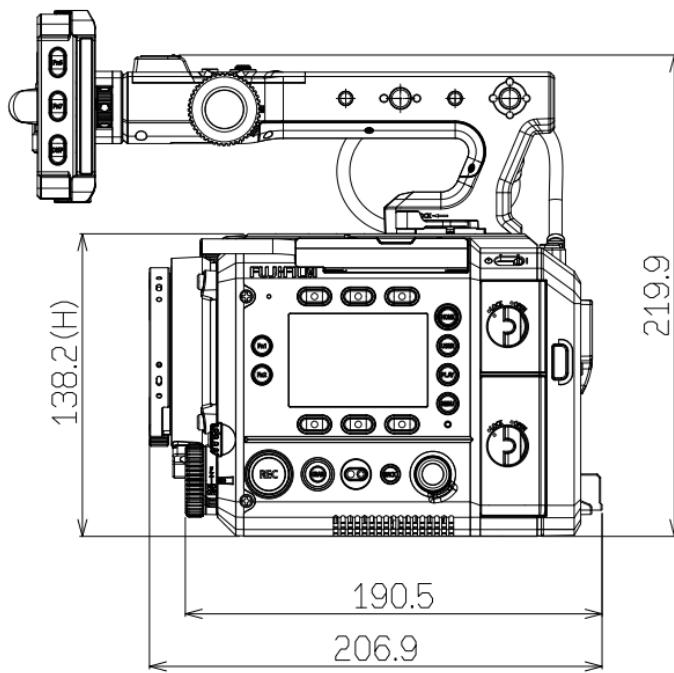
unit : mm



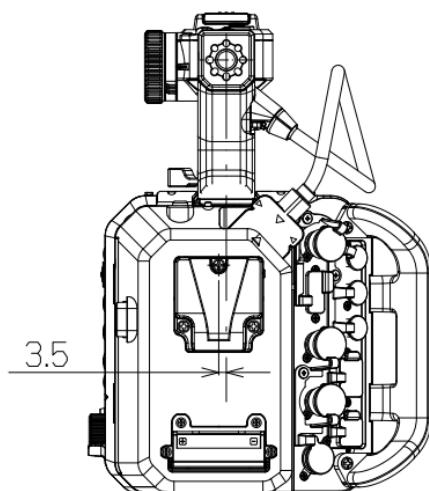
unit : mm



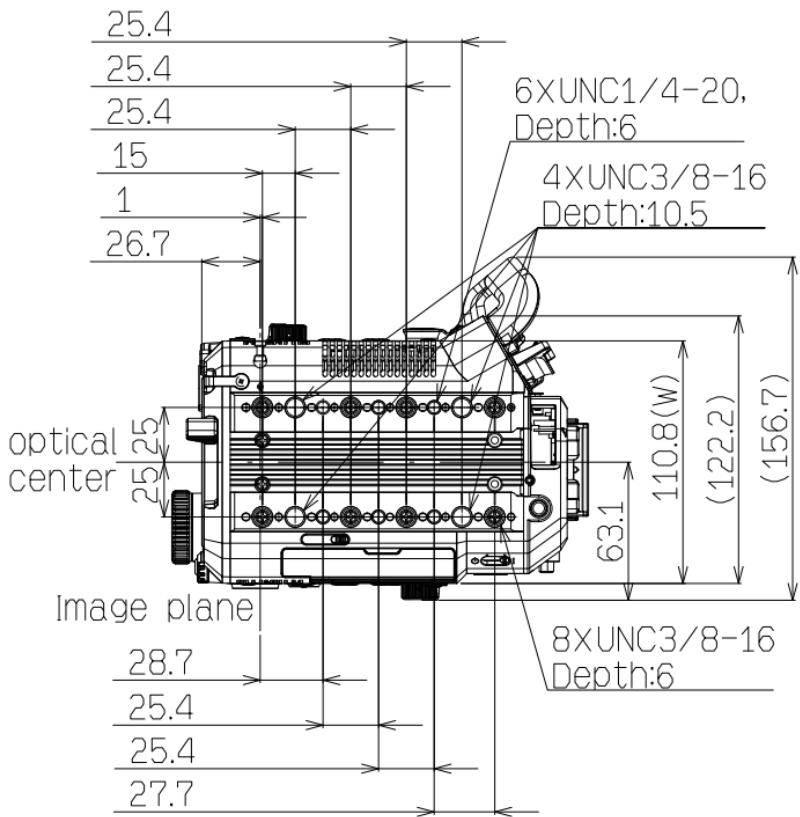
unit : mm



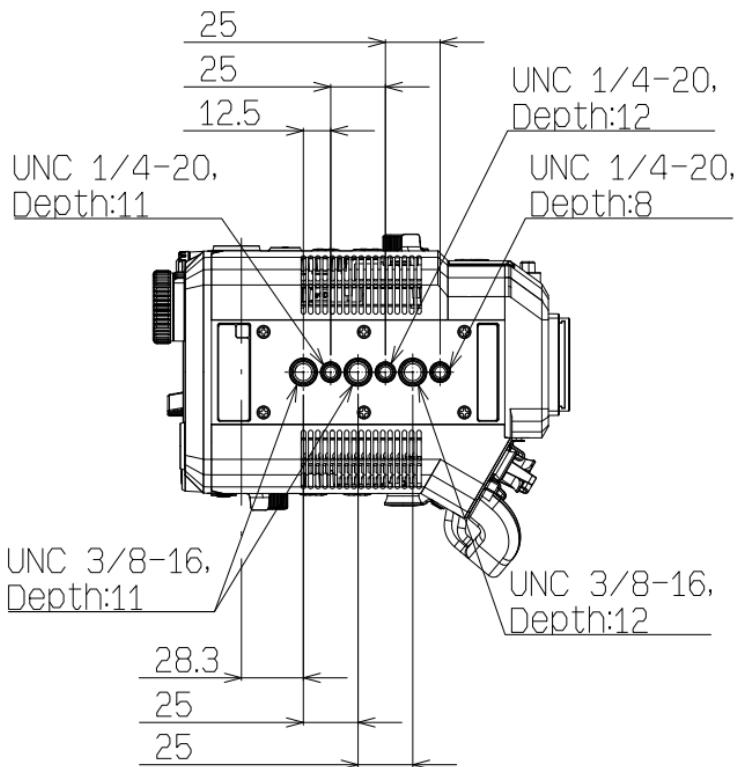
unit : mm



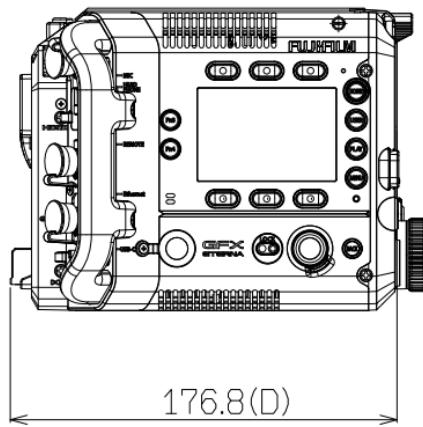
unit : mm

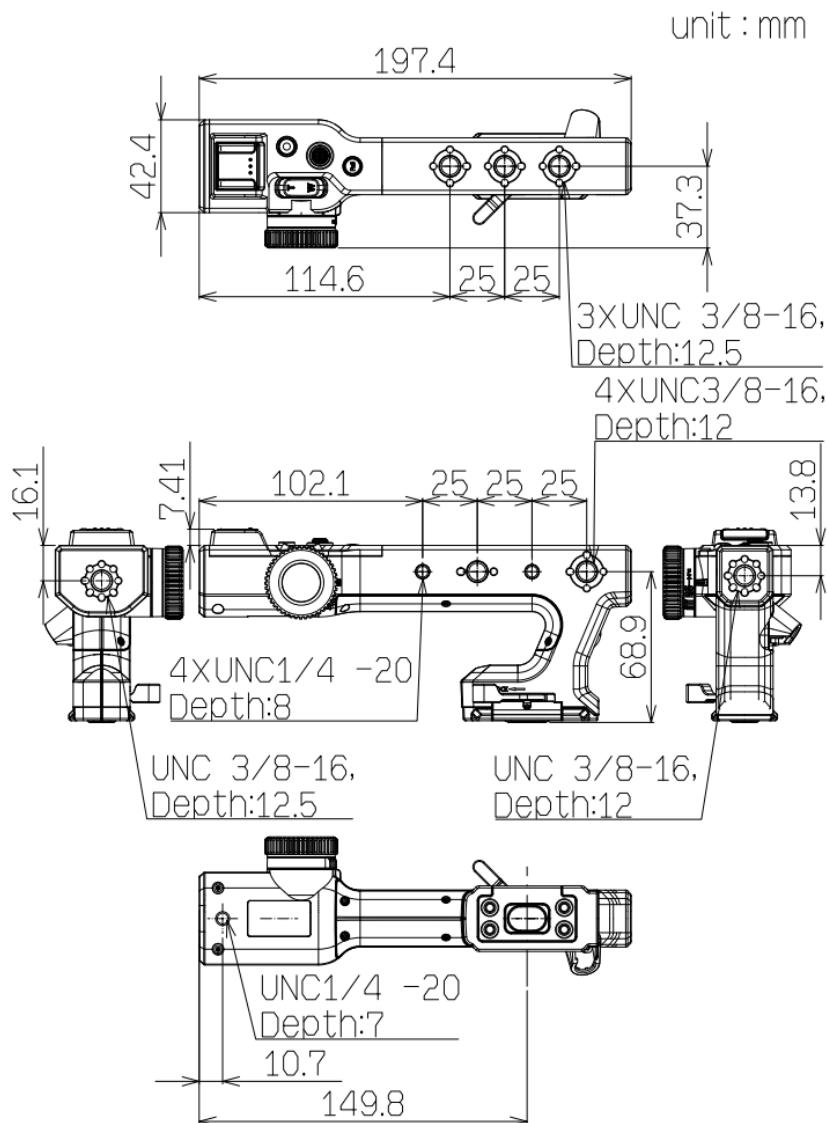


unit : mm

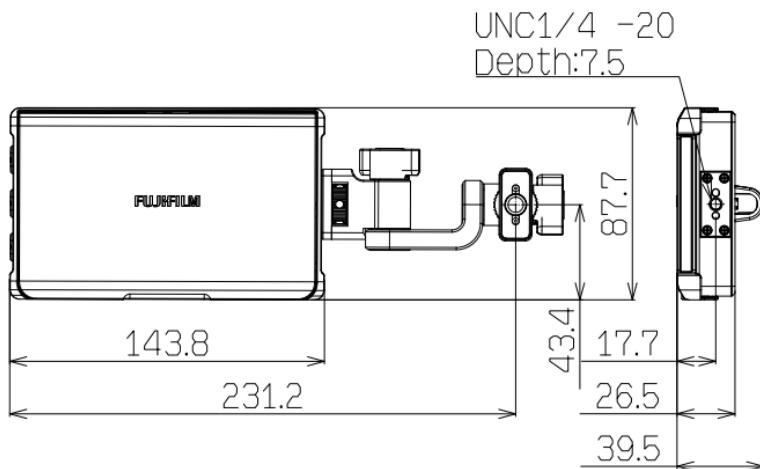


unit : mm



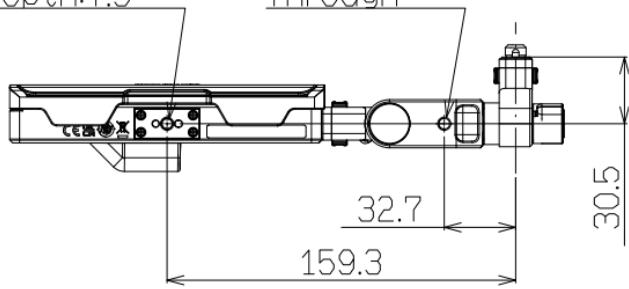


unit : mm



UNC1/4 -20
Depth:7.5

UNC1/4 -20
Through



索引

【数字】

4ch 音声再生、96

【A～Z】

AC パワーアダプター、37

AF + MF、138

AF-C カスタム設定、135

AF 警告、229

AF モード、80

BACK ボタン、11

Bluetooth 設定、169

CFexpress Type B カード、42

DISP ボタン、23

Fn (ファンクション) ボタン、181

F-Log2/C D レンジ優先、133

F-Log/HLG/Raw、120

Frame.io、103

Frame.io Camera to Cloud、165, 206

GENLOCK、130

GRAB ボタン、13

HDMI 出力、95, 148

HDMI レックコントロール、149

HOME ボタン、9

HTTPS、106

ISO 感度、71

LCD アタッチメント、17, 22, 54

LCD ケーブル接続端子カバー、19

LCD 設定、177

LCD モニター、6, 23, 26, 54, 92

LCD モニター表示反転設定、159

LED 音設定、176

LOOK、74

LUT、74

LUT 選択、124

MENU ボタン、9

ND フィルター、73

PLAY ボタン、9

PL マウントアダプター、47, 192

PL マウントレンズの最大寸法、195

ProRes、125

REC ボタン、13

REC 枠表示、157

SD/SDHC/SDXC メモリーカード、42

SDI/HDMI 出力 RAW 設定、121

SDI/HDMI 出力解像度、95, 149

SDI/HDMI 出力情報表示、149

SDI/HDMI 出力設定、148

SDI/HDMI 設定、95

SDI/HDMI タイムコード出力、146

SDI 出力、95, 148

SDI レックコントロール、148

SSD、44

USER ボタン、9, 187

V マウントバッテリー、175, 198

W235 撮影モード、34

Wi-Fi アンテナ、21

XLR マイクアダプター、63

XLR マイクアダプター設定、144

【あ】

アイリス、83

アウトサイド、4

アクセサリー取り付けネジ穴、17, 22, 24

アベレージ (測光)、85

インサイド、2

インジケーターランプ、16, 98

ウェーブフォーム / ベクトルスコープ、151

エラー情報、170

エリア選択、80

オプション品 (別売アクセサリー)、204

お手入れについて、222

オートエリア、80

オートフォーカス撮影、80

温度保護機能、63

【か】

海外で使うとき、216

開始時間設定、146

解像度、119

外部機器との接続、196

外部マイク、63

外部マイク設定、142

カウントアップ設定、146

風音低減、143

カスタムホワイトバランス、77

カメラで使えるソフトウェア・サービス、
206

画面のカスタマイズ、158

カラー、131

感度、71

吸気口、20

距離指標の単位、159

クリップ名設定、126

言語、60, 171

交換レンズ、45, 190

コンテナフォーマット、124

【さ】

再生音量、96

再生時デスクイーズ表示、96

再生時の表示画面、90

再生方法、90

撮影時デスクイーズ表示、119

撮影時の表示画面、26

撮影フレームレート、70

サポートロッド、200

三脚プレート取り付け穴、17

絞り（アイリス）、83, 127

シム交換、192

シャープネス、131

シャッターアングル、72

シャッタースピード、72

周辺光量補正、129

ショートカット機能、180

初期化、170, 172

初期設定、58

ズーム、84

ズームレバー、22

スクリーンボタン、10

スクリーンボタンの割り当て変更、188

スポット（測光）、85

ゼブラ設定、153

セルフタイマー、128

セレクターダイヤル、11

センサークリーニング、173, 222

側面モニター、8, 28, 90

側面モニターのタッチ操作、12

測光、85

ソフトウェア、206

【た】

タイムコード端子設定、147

タイムコード同期設定、147

タッチパネル設定、162

タッチパネルモード、141

中央部重点（測光）、85

電源、56

電子水準器設定、157

電力設定、175

動画再生、64

動画撮影、62

動画フォーマット、118

同梱バッテリー、32

トーンカーブ、131

トラッキング、80

ドロップフレーム、146

【な】

- 内蔵マイク設定、142
日時設定 / 日時変更、60, 171
認証、178
ネットワーク設定以外を初期化、172
ネットワーク設定初期化、170
ノイズリダクション、132

【は】

- ハードウェア情報、170
排気口、20
バッテリー、57
バッテリー劣化度、173
ハンドル、7, 52
ピクセルマッピング、173
被写体検出 AF 設定、136
ビットレート、125
標準撮影時間、234
ファームウェアアップデート、178
ファームウェアの更新、223
ファンクション (Fn) 設定、185
ファンクション (Fn) ボタン、181
フィルムシミュレーション、122
フォーカスチェック、140
フォーカスチェックロック、140
フォーカスピーキング、152
フォーカスポイント循環、134
フォーカスマード切換レバー、13, 80, 82
フォーカスリミッター、138
フォーカスレバー、21
フォーカスレバー設定、162
フォーマット (初期化)、172
フレーミングガイド、153
フレーム間ノイズリダクション、132
ブレ防止設定、128
プロジェクト FPS、119
ペアリング、169

別売アクセサリー、204

- ヘッドホン音量、144
ホワイトバランス、76

【ま】

- マイク端子設定、143
マイクレベルリミッター、143
マウントアダプター設定、129
マニュアルフォーカス撮影、82
マルチ (測光)、85
マルチファンクション切替ダイヤル、14
マルチファンクションダイヤル、14
無線 LAN 設定、99
銘板プレート、25
メジャーフック、20
メディア記録設定、124
メモリーカード、39, 41
メンテナンス、173
モノクローム カラー、133

【や】

- 有線 LAN 設定、102

【ら】

- リモート録画機能、105, 168
ルート証明書、106
冷却ファン設定、174
レンズ (取付)、45
レンズ (交換レンズ)、190
レンズズーム / フォーカス設定、160
ローカットフィルター、144
露出補正、127
ロックスイッチ、15

【わ】

- ワンプッシュ時の AF 動作、138

■ ソフトウェアのお問い合わせ

以下の手順でお問い合わせください。

1 お問い合わせの前にお確かめください。

ソフトウェアのインストールや使い方は使用説明書（本書）やソフトウェアのヘルプから調べることができます。

2 富士フィルム製品 Q&A・お問い合わせをご覧ください。

<https://fujifilm-x.com/ja-jp/support/> をご覧ください。

3 卷末のお問い合わせ先にFAX、電話でお問い合わせください。

より早く正確な回答のために、下記の情報をご用意ください。

- カメラの機種名
- ソフトウェアのバージョン
- エラーメッセージ
- どのようなときにトラブルが発生しますか？

トラブルが発生する直前の操作は？

カメラの状態は？

トラブルが発生する頻度は？

- ご使用のPC機種名、OSバージョン、他の接続機器名

ご質問によっては回答するまでに時間を要する場合もありますので、あらかじめご了承ください。

あらかじめ「アフターサービスについて」の項の「個人情報の取扱について」をご確認ください。

アフターサービスについて

保証書

- 保証書はお買上げ時に所定事項を記入していただき、大切に保存してください。
- 保証期間中は、保証書の記載内容に基づいて無償修理をさせていただきます。保証規定に基づく修理をご依頼になる場合には、必ず保証書を添付してください。なお、修理をご依頼いただく際の運賃などの諸費用は、お客様にてご負担願います。

修理

■ 調子が悪いときはまずチェックを

デジタルカメラ Q&A または本書の「トラブルシューティング/FAQ」をご覧ください。使い方の問題か、故障か迷うときは、富士フィルムデジタルカメラサポートセンターへお問い合わせください。電話番号が巻末に記載されています。

デジタルカメラ Q&A :

<https://digitalcamera-support-ja.fujifilm.com/>

■ 故障と思われるときは

富士フィルムデジタルカメラサポートセンターまたはフジフィルムイメージングサービスカウンターにご相談ください。富士フィルムデジタルカメラサポートセンターのご案内が巻末にあります。

■ 修理ご依頼に際してのご注意

- 本書巻末にある「修理依頼票」をコピーしていただき、必要事項をご記入の上、製品に添付してください。「修理依頼票」は、故障箇所を正確に把握し、迅速な修理を行うための貴重な資料になります。
- 修理料金の見積をご希望の場合には、必要事項に記入をお願いします。なお、見積は有料となる場合があります。
- 落下・衝撃、砂・泥かぶり、冠水・浸水などにより、修理をしても機能の維持が困難な場合には、修理をお断りする場合もあります。

■ 修理部品について

- 本製品の補修用部品は、製造打ち切り後 7 年を目安に保有しておりますので、この期間中は原則として修理をお引き受けいたします。ただしこの期間中であっても、部品都合等により、同等の製品などに交換させていただく場合もあります。その場合、旧機種でご使用の消耗品や付属品をご使用いただけないことや、対応 OS が変更になることがあります。
- 本製品の修理の際には、環境に配慮し再生部品や再生部品を含むユニットと交換させていただく場合があります。交換した部品およびユニットは回収いたします。交換部品が必要な場合には、修理をご依頼されるときにその旨をお伝えください。

個人情報の取扱について

当社は、お客さまの個人情報を大切に保護するため、個人情報保護に関する法令を遵守いたします。

1. お問い合わせ時あるいは修理依頼時にお客さまからご提供いただいた、お客さまの
お名前・住所・電話番号・メールアドレスなどの個人情報は、以下に定める目的の範囲
内で利用いたします。
 - ① お客さまからいただいたお問い合わせに対する回答
 - ② 修理・サポート及び関連する製品・サービスの情報提供
 - ③ お客さま応対品質向上のため、及び製品・サービスに関する企画、開発、販促、
その他事業活動のためのアンケート調査の実施
 - ④ 製品カタログなどの資料発送
 - ⑤ 個人情報保護法その他法令で認められた利用目的
2. 弊社指定の宅配業者、修理業務担当会社、その他の協力会社に当社が作業を委託する場合、
委託作業実施のために必要な範囲内でお客様の個人情報を開示することがございます。
開示にあたりましては、盗難・漏洩などの事故を防止し、また当社より委託した作業以外
の目的に使用しないよう、適切な監督を行います。
3. お問い合わせいただいた内容により、当社製品・サービスを提供する当社関係会社にて
対応することが適切と当社で判断した場合、上記利用目的の範囲内でお客さまの個人
情報を当社関係会社に開示することがありますので、あらかじめご了承ください。
4. 当社における個人情報の取り扱いについては、「プライバシーポリシー」をご覧ください。
<https://www.fujifilm.com/jp/ja/privacy>
5. お問い合わせ時あるいは修理依頼時の内容などにつきましては、個人を特定できないよ
う統計的なデータに加工した上で、サービス向上のために利用いたします。
6. ご提供いただいたお客様の個人情報に関するお問い合わせなどは、富士フィルムデジタル
カメラサポートセンター等のお問合せ先またはフジフィルム イメージングサービスカウ
ンターにお願いいたします。

修理依頼票

- ※ あらかじめ「個人情報の取扱について」または「[プライバシーポリシー](#)」をご確認ください。
- ※ 点検・修理時に各種設定が工場出荷状態に戻る可能性がございます。
- ※ 本紙はA4サイズ（推奨）の用紙に印刷またはコピーしてお使いください。
- ※ 保証期間内の場合は、保証書と購入日の分かる納品書等を添付してください。
- ※ 下表の□は、該当する項目にチェック（✓）を入れてください。

プライバシーポリシーはこちら



フリガナ				電話番号	
お名前				携帯番号	
				FAX番号	
フリガナ					
Eメール アドレス	<small>※読み間違えやすい英文字、数字（ゼロとオー、小文字のエルと大文字のアイなど）はフリガナをご記入ください。</small>				
ご住所 ※建物名も ご記入 ください。	〒 - <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 会社				
製品名 (型番)			ボディ番号（機番） <small>保証書あるいは本体に記載 してある8桁の番号です。</small>		
見積連絡	<input type="checkbox"/> 要（修理金額		円以上の見積り）	<input type="checkbox"/> 不要	
連絡方法	<input type="checkbox"/> SMS <input type="checkbox"/> Eメール <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> FAX				
故障症状 (故障時の様子)					
修理履歴	<input type="checkbox"/> 初回 <input type="checkbox"/> 再依頼（前回修理依頼： 年 月）				
発生 状況	発生頻度	<input type="checkbox"/> 常時 <input type="checkbox"/> 時々 <input type="checkbox"/> まれに <input type="checkbox"/> 1回のみ			
	他機との接続	<input type="checkbox"/> スマホ接続時 <input type="checkbox"/> テザー撮影時 <input type="checkbox"/> 外部フラッシュ使用時			

MEMO

MEMO

MEMO

●本製品に関するお問い合わせは…

富士フイルムデジタルカメラサポートセンター

TEL 0570-04-1060

■上記電話番号がご利用いただけない場合 ■FAX

03-6625-2809

050-3786-2060

※メールでのお問い合わせ、窓口の受付時間などはこちらをご覧ください。

<https://fujifilm-x.com/ja-jp/support/contact/>



●本製品以外の富士フイルム製品のお問い合わせは…

お客様コミュニケーションセンター TEL 0570-04-1711

※各窓口の受付時間、サービス内容は予告なく変更する場合があります。最新の情報は弊社ホームページでご確認ください。

FUJIFILM

FUJIFILM Corporation

7-3, AKASAKA 9-CHOME, MINATO-KU, TOKYO 107-0052, JAPAN

<https://fujifilm-x.com>



Bluetooth®

HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE